



SUPER  
FORMULA

# 2019 SUPER FORMULA MEDIA GUIDE



Series Partner

**HONDA TOYOTA**

Series Supporter

**YOKOHAMA**

Promotion Partner

**HITACHI**  
Inspire the Next  
©日立オートモティブシステムズ

**SONY**  
RX0

**WENKI-ICHI**  
人気酒造

Broadcasting Partner

**BSフジ J SPORTS**

# 2019 SUPER FORMULA Media Guide

2019開催日程	3
エントリーリスト	4
賞典	5
メディア配信	6
車両規定抜粋	7
スポーティングレギュレーション抜粋	8
チーム&ドライバー紹介	9
サーキットガイド	32
2018 レースリザルト	35
1996-2018 ポイントランキング	37
歴代チャンピオン	49
SUPER FORMULA記録集	51
肖像権について	54

**SUPER FORMULA Official Website** メディア会員にご登録ください。

<http://superformula.net> ⇒ メディア

メディア会員専用ページでは、メディアの方向けの広報写真、予選速報、プレスリリース等のサービスを行っております。ご登録の上、ご活用ください。



# 2019 SUPER FORMULA SCHEDULE

## 2019 SUPER FORMULA 開催日程

ラウンド	日程	開催地	予選方式	レース	チケット販売開始日	備考
第1戦	4/20 (土) ~21 (日)	鈴鹿サーキット 三重県	ノックアウト	250km	2/17 (日)	・全日本フォーミュラ3選手権第1戦・第2戦 ・MFJ全日本ロードレース選手権 (JSB1000) ・Enjoy Honda※1
第2戦	5/18 (土) ~19 (日)	オートポリス 大分県	ノックアウト	250km	3/1 (金)	・全日本フォーミュラ3選手権第3戦・第4戦・第5戦 ・TCRジャパンシリーズ第1戦
第3戦	6/22 (土) ~23 (日)	スポーツランドSUGO 宮城県	ノックアウト	250km	4/20 (土)	・全日本フォーミュラ3選手権第9戦・第10戦 ・TCRジャパンシリーズ第2戦 ・Enjoy Honda※1
第4戦	7/13 (土) ~14 (日)	富士スピードウェイ 静岡県	ノックアウト	250km	5/16 (木)	・全日本フォーミュラ3選手権第11戦・第12戦 ・TCRジャパンシリーズ第3戦
第5戦	8/17 (土) ~18 (日)	ツインリンクもてぎ 栃木県	ノックアウト	250km	6/22 (土)	・全日本フォーミュラ3選手権第16戦・第17戦・第18戦 ・MFJ全日本ロードレース選手権 (JSB1000) ・Enjoy Honda併催※1
第6戦	9/28 (土) ~29 (日)	岡山国際サーキット 岡山県	ノックアウト	250km	8/26 (月) 予定	・全日本フォーミュラ3選手権第19戦・第20戦 ・TCRジャパンシリーズ第4戦 ・Enjoy Honda※1
第7戦	10/26 (土) ~27 (日)	鈴鹿サーキット 三重県	ノックアウト	250km	9/1 (日)	・FIA ワールド・ツーリングカーカップ (WTCR)同日開催 ・TCRジャパンシリーズ第5戦

※1 Enjoy Hondaとは、ホンダ主催の「見て」「遊んで」「体感できる」家族みんなで楽しむイベントです。

※2 レース距離は暫定。



# 2019 SUPER FORMULA ENTRY LIST

## 2019年エントリーリスト

No.	ドライバー	車名	チーム名(読み)	監督	エンジン
1	<b>山本 尚貴</b> Naoki Yamamoto 1988/7/11生 日本/栃木県	DOCOMO DANDELION M1S SF19	DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)	村岡 潔	HONDA/M-TEC HR-417E
5	<b>福住仁嶺</b> Nirei Fukuzumi 1997/1/24生 日本/徳島県	DOCOMO DANDELION M5Y SF19			
3	<b>山下 健太</b> Kenta Yamashita 1995/8/3生 日本/千葉県	ORIENTALBIO KONDO SF19	KONDO RACING (コンドーレーシング)	近藤 真彦	TOYOTA/TRD Biz-01F
4	<b>国本 雄資</b> Yuji Kunimoto 1990/9/12生 日本/神奈川県	ORIENTALBIO KONDO SF19			
7	<b>アーテム・マルケロフ</b> Artem Markelov 1994/9/10生 ロシア	UOMO SUNOCO SF19	UOMO SUNOCO TEAM LEMANS (ウオモ スノコ チーム ルマン)	片岡 龍也	TOYOTA/TRD Biz-01F
8	<b>大嶋 和也</b> Kazuya Oshima 1987/4/30生 日本/群馬県	UOMO SUNOCO SF19			
15	<b>ダニエル・ティクトゥム</b> Daniel Ticktum 1999/6/8生 イギリス	TEAM MUGEN SF19	TEAM MUGEN (チーム・ムゲン)	中野 信治	HONDA/M-TEC HR-417E
16	<b>野尻 智紀</b> Tomoki Nojiri 1989/9/15生 日本/茨城県	TEAM MUGEN SF19			
17	<b>塚越 広大</b> Koudai Tsukakoshi 1986/11/20生 日本/栃木県	REAL SF19	REAL RACING (リアルレーシング)	金石 勝智	HONDA/M-TEC HR-417E
18	<b>小林 可夢偉</b> Kamui Kobayashi 1986/9/13生 日本/兵庫県	KCMG Elyse SF19	carrozzeria Team KCMG (カロッツェリア チーム ケーシーエムジー)	松田 次生	TOYOTA/TRD Biz-01F
19	<b>関口 雄飛</b> Yuhi Sekiguchi 1987/12/29生 日本/東京都	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF19	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL (イトウチュウエネクス チーム インパル)	星野 一義	TOYOTA/TRD Biz-01F
20	<b>平川 亮</b> Ryo Hirakawa 1994/3/7生 日本/広島県	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF19			
36	<b>中嶋 一貴</b> Kazuki Nakajima 1985/1/11生 日本/愛知県	VANTELIN KOWA TOM'S SF19	VANTELIN TEAM TOM'S (バンテリン チーム トムス)	館 信秀	TOYOTA/TRD Biz-01F
37	<b>ニック・キャシディ</b> Nick Cassidy 1994/8/19生 ニュージーランド	VANTELIN KOWA TOM'S SF19			
38	<b>石浦 宏明</b> Hiroaki Ishiura 1981/4/23生 日本/東京都	JMS P.MU/CERUMO・INGING SF19	JMS P.MU/CERUMO・INGING (ジェームス ピーエムユーセルモインギング)	立川 祐路	TOYOTA/TRD Biz-01F
39	<b>坪井 翔</b> Sho Tsuboi 1995/5/219生 日本/埼玉県	JMS P.MU/CERUMO・INGING SF19			
50	<b>ルーカス・アウアー</b> Lucas Auer 1994/9/11生 オーストリア	Red Bull SF19	B-Max Racing with motopark (ビーマックス・レーシング ウィズ モトパーク)	本山 哲	HONDA/M-TEC HR-417E
51	<b>ハリソン・ニューウェイ</b> Harrison Newey 1998/7/25生 イギリス	GOLDEX TAIROKU RACING SF19			
64	<b>アレックス・パロウ</b> Alex Palou 1997/4/1生 スペイン	TCS NAKAJIMA RACING SF19	TCS NAKAJIMA RACING (ティーシーエス・ナカジマレーシング)	中嶋 悟	HONDA/M-TEC HR-417E
65	<b>牧野 任祐</b> Tadasuke Makino 1997/6/28生 日本/大阪府	TCS NAKAJIMA RACING SF19			

ホンダエンジン使用チーム:5チーム9台 トヨタエンジン使用チーム:6チーム11台 タイヤ:ヨコハマ

## シリーズ賞典

スーパーフォーミュラは各レースでの入賞成績に応じてポイントが与えられ、年間の合計でシリーズチャンピオンを決定。ドライバーとチームの2部門に全日本スーパーフォーミュラ選手権のタイトルが懸けられ、チャンピオン獲得者には下記賞典が授与されます。



### 年間チャンピオンチーム

正賞	副賞	
経済産業大臣杯 (経済産業省)	賞金 (JRP)	日本の産業の基幹である自動車産業を広く内外に示し、フォーミュラカーレースを通して自動車振興に寄与したことを表し授与される。

### 年間チャンピオンチーム

正賞	副賞	
ドライバーズチャンピオンカップ	賞金 (JRP)	
観光庁長官杯 (観光庁)		自動車競技を通じ、体力の向上ならびに心身の健全育成に寄与し、国内の交流ならびに国際親善、観光振興への貢献を称え授与される。
自由民主党モータースポーツ振興議員連盟杯 (自由民主党)		日本の自動車産業育成およびモータースポーツの普及と育成への貢献を表して授与される。 ※自由民主党モータースポーツ振興議員連盟とは、日本国内の自動車産業ならびに自動車文化の向上、またモータースポーツを通じて社会貢献を行い、その他様々な活動を行うことを目指して設立された連盟。

### ルーキー・オブ・ザ・イヤー

正賞	副賞	
トロフィー	賞金 (JRP)	当該年度初参戦となるルーキードライバーが3名以上存在する場合、その中で年間獲得ポイント最上位の選手に贈られる。(ルーキー：スーパーフォーミュラの決勝レース出走回数が積算で4戦未満のドライバー)

## シリーズパートナー / シリーズサポーター / プロモーションパートナー

### Series Partner

# HONDA

本田技研工業株式会社  
<http://www.honda.co.jp/>

# TOYOTA

トヨタ自動車株式会社  
<http://www.toyota.co.jp/>

### Series Supporter

横浜ゴム株式会社  
<http://www.y-yokohama.com>

### Promotion Partner

**HITACHI**  
 Inspire the Next

日立オートモティブシステムズ

<http://www.hitachi-automotive.co.jp/>

**SONY**

**RX0**

ソニー株式会社

<http://www.sony.jp/actioncam/>

**人気酒造**

人気酒造株式会社  
<http://www.ninki.co.jp/>

### Broadcasting Partner

**BSフジ**

株式会社BSフジ

<http://www.bsfuji.tv/>

**J SPORTS**

株式会社ジェイ・スポーツ

<http://www.jsports.co.jp/>

**TV放映**

	シリーズ全7戦の決勝の様様をレース当日の17時~18時55分という、より視聴者の多い時間帯で録画放送します(最終戦のみ生放送14:00~15:55を予定)。
	「スーパーフォーミュラ」の情報番組としてリニューアル。今シーズンは国内外から多くの若手ルーキードライバーなど注目のドライバーにフォーカスを当て、彼らにゆかりのある選手や監督をゲストに迎えてお送りします。ナレーターは乃木坂46の樋口日奈が担当。
	シリーズ全7戦の予選と決勝の様様をライブで中継。再放送やレースダイジェストも放送します。

**映像配信**

	大会終了10日後よりスーパーフォーミュラの決勝レースを全戦オンデマンドにて無料配信。
	スーパーフォーミュラ公式サイト及び公式FACEBOOKで配信。

**インターネット/SNS**

スーパーフォーミュラオフィシャルWEBサイト <a href="http://superformula.net">http://superformula.net</a>	「スーパーフォーミュラ」で 
スーパーフォーミュラオフィシャルfacebook <a href="https://www.facebook.com/superformula.official">https://www.facebook.com/superformula.official</a>	「スーパーフォーミュラfacebook」で 
スーパーフォーミュラオフィシャルTwitter <a href="https://twitter.com/super_formula">https://twitter.com/super_formula</a>	「スーパーフォーミュラtwitter」で 
スーパーフォーミュラオフィシャルInstagram <a href="https://www.instagram.com/superformula_official">https://www.instagram.com/superformula_official</a>	「スーパーフォーミュラInstagram」で 
スーパーフォーミュラ公式Lime Timingアプリ iOS, Android対応無料ライブタイピングアプリ	「SUPERFORMULA」で 

**プロモーションサポーター**

 <p><b>ピエール 北川</b> オフィシャルコメンテーター レースの状況や場内の興奮、バトルの迫力を臨場感あふれる熱い語り口で伝える名レースアナウンサー。2014年からスーパーフォーミュラの全戦で場内実況アナウンサーを務め、JRP主催のトークショーなどの司会進行も担当する。</p>	 <p><b>水村 リア</b> オフィシャルステージMC スーパーフォーミュラ・オフィシャルステージで、毎戦様々なトークショーやイベントの司会進行を担当。得意の英語力を活かし外国人ドライバーとのトークもこなせば、テクノロジー・ラボラトリーからレースクイーンオンステージまで、硬軟すべての場面で持ち前のバイタリティーを発揮し会場を盛り上げる。</p>
 <p><b>千代 勝正</b> 中継レポーター 2006年NDDP(ニッサン・ドライバー・デベロップメント・プログラム)のオーディションに参加しスカラシップを獲得。2011年には全日本F3選手権Nクラスシリーズチャンピオン。その後スーパーGTでもGT300、GT500で活躍。2019年はプランバンGT等に参戦しながらSUPER FORMULA PITレポーターに初挑戦。レーシングドライバーの観点からレポートをお届けします。</p>	 <p><b>笠原 美香</b> オフィシャルステージMC BSフジ「カンニングのDAI★吉日!」の石浦宏明選手応援企画ミューラ子として、2015年開幕戦鈴鹿にピンクのつなぎとヘルメット、のほりを持って初登場。その年最終戦、石浦選手のチャンピオンがかかったレーススタート後、感極まり涙をながしたのが語り草。翌年からは、中嶋一貴選手、ピエール・ガスリー選手など、シリーズに参戦する選手を精力的に取材を重ね、モータースポーツファンからも一目置かれる存在に。</p>
 <p><b>両角 岳彦</b> TECHNOLOGY LABO.主筆 公式ウェブ「TECHNOLOGY LABORATORY」主筆、及びステージイベント「テクラボ」メイン解説者。「エンジニアたちの作戦計画」では、毎回エンジニアたちの見えない戦いを浮き彫りにします。「マシン」「タイヤ」「エンジン」「空力」など自動車評論家としての独自目線で深掘りし、レースの真髄を解き明かします。</p>	

**ファンクラブ**

<p><b>オフィシャルファンクラブ「CLUB F」</b></p>	<p>ファンクラブに入会いただくと、前売観戦券や年間パスの会員特別価格での購入やオリジナルグッズのプレゼントなどの会員特典があります。</p>
------------------------------------	---

詳しくは公式サイト <http://superformula.net>をご覧ください。

## 2019 SUPER FORMULA 車両規定抜粋

以下はスーパーフォーミュラの基本的な車両規則です。  
正確な内容は2019年JAF国内競技車両規則をご覧ください。

### シャシー

JAF が認めたスーパーフォーミュラ車両製造者から供給された車両で、イタリアのダラーラ製 SF19 を今年度から使用している。

メーカー	ダラーラ・オートモービル (イタリア)
全長	5,233mm
全幅	1,910mm
全高	960mm
ホイールベース	3,115mm
最低重量	670kg (ドライバー込み)
車体	カーボンコンポジット製
ミッション	6速パドルシフト式 (リカルド製)
ブレーキ	カーボンディスクローター (ブレンボ製)



### エンジン

エンジンは直噴直列4気筒ターボ、排気量2000cc以下で、現在はHondaとトヨタが開発したNRE (ニッポン・レース・エンジン) を使用する。燃料供給の流量は燃料流量リストラクターによって制限される。



Honda/M-TEC HR-417E



TOYOTA/TRD Biz-01F

### タイヤ

横浜ゴム製のワンメイク F:270/620R13 R:360/620R13 (スリックタイヤ)

### オーバーテイクシステム

スーパーフォーミュラでは独自のシステムのひとつとして、決勝中にエンジンのパワーが増すオーバーテイクシステム (OTS) を採用している。これはオーバーテイクボタンを押すと燃料流量が増えて (10kg/h) パワーアップする。1レースで100秒まで使用できるが、1度使うと100秒間は使えない。ドライバーの後ろのマシン上部にオーバーテイクランプがついており、使用時間が残り20秒までは緑、20秒を切ると赤が点灯する。OTS作動中は高速で点滅し、100秒間の使用制限中はゆっくり点滅する。またマシン後部にあるランプも連動して光る。



# 2019 SUPER FORMULA 競技規則抜粋

以下はスーパーフォーミュラの基本的な競技規則です。

正確な内容は 2019 年全日本スーパーフォーミュラ選手権統一規則をご覧ください。

## ■車両／エンジン／タイヤの使用制限

### 車両

スペアカーは使用できない。

### エンジン

同じエンジンを4大会連続で使用しなければならない。

### エンジンを交換した場合

車検開始前	予選結果から10グリッド降格
車検後～決勝日フリー走行終了後1時間まで	予選結果から10グリッド降格
決勝日フリー走行終了後1時間過ぎ～スタート手順開始まで	グリッド最後尾(当該車両の当初のグリッドは空けたまま)
上記3つの場合による2回以上のエンジン交換	決勝レースはピットスタート

### タイヤ

1大会で1台につき使用できるドライタイヤは6セット（ニュータイヤ4セット、持ち込みタイヤ2セット）、ウエットタイヤは4セット。タイヤウォーマーの使用は禁止される。決勝レースで2種類（ソフトタイヤ、ミディアムタイヤ）の使用が義務付けされている。

## ■予選方法

予選は全戦ノックアウト方式で行われる。予選をQ1、Q2、Q3の3つのセッションに分け、Q1の上位14台の車両がQ2に進める。そしてQ2の上位8台がQ3に進み、上位8台の最終的な順位を決定する。1大会2レース制の場合、第1レースのグリッドはQ1の結果に基づく。予選通過基準はQ1で記録された1位のタイムの107%以内とする。

## ■スタート

スタートはスタンディングスタートで、グリッドは1×1のスタaggerドフォーメーション。正式スタートの前に1周のフォーメーションラップを行う。フォーメーションラップに発進できなかった車両は最後尾かピットスタートとなる。ただし、発進が出遅れた車両で最後尾の車両がスタートラインを通過する前までに動き出せた場合は、フォーメーションラップ走行中に自ポジションまで戻ることができる。各車がグリッドに戻ったのちスタートシグナルのレッドライトが点灯し、その消灯がスタートとなる。



## ■ポイントシステム

各レースの成績に応じてドライバーとチームに得点が与えられ、年間の合計で最高得点者が全日本選手権保持者（チャンピオン）となる（チームの得点は同一チームの車両のうち上位2台が対象）。同点の場合の順位は高得点を得た回数が多い順に決定。それでも同じ場合は、最終戦の前の大会の得点で決定する。それでも同じ場合は、さらにその前の大会の得点と遡って決める。得点の基準は以下のとおり。

- ・予選 ポールポジション（ドライバーのみ）：1点
- ・決勝 各レースの1位から8位までに下記のとおり。また最終戦に限り、1位の者に通常得点とは別に3点が与えられる（ドライバーのみ）

	PP	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
ポイント	1	10	8	6	5	4	3	2	1

### レースが途中で中止になった場合の扱い

先頭車両が2周終了前	得点は与えられない
先頭車両が2周以上～レース距離の75%未満	通常得点の半分
先頭車両がレース距離の75%以上	通常得点





# 2019 SUPER FORMULA 参加チーム&ドライバー

 SUZUKA CIRCUIT



# DOCOMO TEAM DANDELION RACING

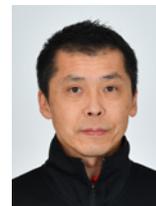


1999年にトップフォーミュラ参戦を開始したダンディライアンは、2004年にドライバータイトル、12年にはチームタイトルを獲得するなどしており、ホンダ勢きっての強豪チームの地位を確立した。ここ2シーズンは予選での素晴らしいスピードを勝利に結びつけられない展開が続いているが、今季は心機一転、ドライバー布陣を変えてさらなる速さの練磨と強さの実現を期す。加入したのは昨季チャンピオン“ホンダのエース”山本尚貴と若手鋭い福住仁嶺、兩名そろってチーム無限から移籍した。実力と話題性を兼ね備えたふたりとともに頂点を狙う。

チーム名	<b>DOCOMO TEAM DANDELION RACING</b> ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング
監督	村岡 潔
会社名	有限会社ダンディライアン
所在地	〒662-0076 兵庫県西宮市松生町18-24-101 TEL:0798-70-0048 FAX:0798-70-0049
広報担当	
Website	<a href="http://www.dandelion-racing.com/">http://www.dandelion-racing.com/</a>



チーム監督  
村岡 潔



1号車エンジニア  
杉崎 公俊



5号車エンジニア  
吉田 則光

## Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
1999	R.デルフレー	17位(2回)	9位	—/0ポイント	
2000	道上 龍	2位	7位	—/0ポイント	
2001	野田英樹/J.ヴィエルチューク/光貞秀俊	3位	11位	—/0ポイント	
2002	J.コシェ/R.ライアン	6位	2位	6位/6ポイント	
2003	R.ライアン/服部尚貴	3位(2回)	優勝	6位/23ポイント	
2004	R.ライアン/服部尚貴	PP(6回)	優勝(2回)	3位/40ポイント	★
2005	R.ライアン/服部尚貴	PP(2回)	優勝	2位/37ポイント	
2006	B.ビルドハイム/平中克幸/井出有治	4位	2位	5位/13.5ポイント	
2007	B.ビルドハイム/F.カルボーン	6位	2位	6位/20ポイント	
2008	松浦孝亮/土屋武士	3位	優勝	11位/7.5ポイント	
2009	R.ライアン/伊沢拓也	2位(2回)	2位	6位/25ポイント	
2010	L.デュバル/伊沢拓也	PP(2回)	優勝(2回)	4位/40.5ポイント	
2011	伊沢拓也/塚越広大	PP	3位(2回)	3位/36.5ポイント	
2012	伊沢拓也/塚越広大	PP(3回)	優勝(3回)	1位/78.5ポイント	☆
2013	伊沢拓也/武藤英紀	PP	優勝	7位/14ポイント	
2014	野尻智紀/武藤英紀	2位(2回)	優勝	6位/14ポイント	
2015	野尻智紀/N.カーティケヤン	2位(3回)	3位(3回)	5位/25ポイント	
2016	野尻智紀/S.バンドーン	PP(2回)	優勝(2回)	4位/36.5ポイント	
2017	野尻智紀/伊沢拓也	PP	6位	8位/6ポイント	
2018	野尻智紀/松下信治	PP	3位	5位/18.5ポイント	

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル

## 1 山本 尚貴

Naoki Yamamoto

DOCOMO DANDELION M1S SF19  
Honda/M-TEC HR-417E



- 生年月日 1988年7月11日
- 出身地 栃木県
- 血液型 B型
- Website <http://www.naoki-yamamoto.com/>

### Race Career

2002	全日本カート選手権FAクラス(7戦中5勝) チャンピオン
2003	ARTA(AUTOBACS RACING TEAM AGURI)加入 全日本カート選手権東地域FAクラス第1・3戦に参戦 2戦共優勝
2004	FIK イタリアンオープンマスターズFAクラス シリーズ29位 CIK-FIA アジアパシフィック選手権ICAクラス 6位
2005	FIK イタリアンオープンマスターズFAクラス シリーズ5位 CIK-FIA 世界カート選手権FAクラス・ボルトガル大会12位
2006	鈴鹿サーキットレーシングスクール・フォーミュラ(SRS-F)
2007	フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ2位
2008	全日本F3選手権 シリーズ5位
2009	全日本F3選手権Nクラス シリーズチャンピオン
2010	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ7位 ルーキー・オブ・ザ・イヤー獲得 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ8位 プロ・スポーツ大賞新人賞獲得
2011	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ11位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ9位
2012	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ11位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ5位
2013	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズチャンピオン SUPER GT (GT500クラス) シリーズ4位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ9位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ4位
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ5位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ3位
2016	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ7位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ14位
2017	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ9位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ7位
2018	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズチャンピオン SUPER GT (GT500クラス) シリーズチャンピオン

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2010	No.31 NAKAJIMA RACING	7 (20.5)	—
2011	No.16 TEAM 無限	11 (5)	—
2012	No.16 TEAM 無限	11 (4)	—
2013	No.16 TEAM 無限	1 (37)	1
2014	No.1 TEAM 無限	9 (14.5)	—
2015	No.16 TEAM 無限	5 (26)	1
2016	No.16 TEAM 無限	7 (15.5)	1
2017	No.16 TEAM MUGEN	9 (10.5)	—
2018	No.16 TEAM MUGEN	1 (38)	3

## 5 福住仁嶺

Nirei Fukuzumi

DOCOMO DANDELION M5Y SF19  
Honda/M-TEC HR-417E



- 生年月日 1997年1月24日
- 出身地 徳島県
- 血液型 B型
- Website [https://twitter.com/nirei\\_fukuzumi](https://twitter.com/nirei_fukuzumi)

### Race Career

2010	鈴鹿選手権シリーズJ-RMC チャンピオン
2011	鈴鹿選手権シリーズJ-RMC チャンピオン、ARTA Jr シリーズチャンピオン
2012	鈴鹿選手権シリーズRMCシリーズ チャンピオン、ARTAチャレンジ シリーズチャンピオン
2013	全日本カート選手権 KF1クラス シリーズチャンピオン 鈴鹿サーキットレーシングスクール・フォーミュラ(SRS-F)卒業
2014	フォーミュラ4 FCクラス チャンピオン
2015	全日本F3選手権 4位
2016	GP3 シリーズ7位
2017	GP3 シリーズ3位
2018	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 参戦 FIAフォーミュラ2選手権 シリーズ17位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2018	No.15 TEAM MUGEN	— (0)	—

# KONDO RACING



モータースポーツと芸能活動、その両方に常に全力投球の近藤真彦がチームを率いる。チーム創設の2000年には、トップフォーミュラ現役だった近藤自身が自チームのマシンのステアリングを握って参戦した。その後、チームは着々と進化を続け、昨年ついにスーパーフォーミュラのタイトル争いの主役となり、チームタイトルを初獲得。今季はチーム在籍3年目の山下健太と、セルモインギングから移籍してきた国本雄資が組む。開幕前のテストで他陣営が警戒する速さを見せた山下と、2016年に王者となった実績を誇る国本、魅力的な新コンビだ。

チーム名	<b>KONDO RACING</b> コンドーレーシング
監督	近藤 真彦
会社名	株式会社エムケイカンパニー
所在地	〒107-0052 東京都港区赤坂2-23-1 アークヒルズフロントタワー-RoP1104 TEL:03-6459-1360 FAX:03-6459-1306
広報担当	葉山秀樹
Website	<a href="http://www.matchy.co.jp/">http://www.matchy.co.jp/</a>
facebook	<a href="https://www.facebook.com/KONDORacing">https://www.facebook.com/KONDORacing</a>



チーム監督  
近藤 真彦



3号車エンジニア  
田中 耕太郎



4号車エンジニア  
米林 慎一

## Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
2000	近藤真彦 / 土屋武士 (Rd.9)	14位	7位	— / 0ポイント	
2001	立川祐路 / 金石勝智	4位	2位	5位 / 34ポイント	
2002	荒 聖治 / 金石勝智	6位	4位	7位 / 3ポイント	
2003	立川祐路 / D.シュワガー	9位	7位	— / 0ポイント	
2004	道上 龍 / 立川祐路	3位	3位	6位 / 10ポイント	
2005	山本左近 / J.ヤニス (~Rd.3) / R.クインタレッリ (Rd.4~)	3位	2位	4位 / 21ポイント	
2006	山本左近 (Rd.3~) / 荒 聖治 (Rd.4~) / 柳田真孝	5位	4位	10位 / 4.5ポイント	
2007	柳田真孝 / J.P.デ・オリベイラ	3位	3位	7位 / 18ポイント	
2008	横溝直輝 / J.P.デ・オリベイラ	PP	優勝	5位 / 44ポイント	
2010	松田次生 (Rd.4~)	8位	8位	9位 / 1ポイント	
2011	A.カルダレッリ	10位	9位	— / 0ポイント	
2012	安田裕信	8位	9位	— / 0ポイント	
2013	安田裕信	13位	6位	9位 / 3.5ポイント	
2014	J.ロスター	3位	2位	5位 / 22ポイント	
2015	J.ロスター / W.ブラー	3位	6位	8位 / 5ポイント	
2016	J.ロスター / W.ブラー	4位	5位 (2回)	8位 / 12ポイント	
2017	N.キャッシュディ / 山下健太	PP (2回)	3位	7位 / 12.5ポイント	
2018	N.キャッシュディ / 山下健太	PP	優勝	1位 / 47.5ポイント	☆

☆: チームタイトル ★: ドライバータイトル

## 3 山下健太

Kenta Yamashita

ORIENTALBIO KONDO SF19  
TOYOTA/TRD Biz-01F



- 生年月日 1995年8月3日
- 出身地 千葉県
- 血液型 AB型
- Website <http://kentayamashita.jp>

### Race Career

2007	モバラ 5StarCup(YAMAHA JUNIOR) シリーズチャンピオン
2008	Open Masters Kart (KRP JUNIOR) シリーズチャンピオン
2009	NTC CUPシリーズ(Jr.MAX) シリーズチャンピオン
2010	Open Masters Kart(ARTAチャレンジ) シリーズ2位
2011	全日本カート選手権(S-KF) シリーズ4位 JAF地方選手権スーパーFJもてぎシリーズ チャンピオン
2012	CIK/FIA World Karting Championship KF1クラス出場 FINAL1-5位 2013フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズチャンピオン JAF地方選手権F4東日本シリーズ シリーズチャンピオン
2014	全日本F3選手権 シリーズ2位 全日本F3選手権シリーズ2位
2015	SUPER GT (GT300クラス) シリーズ20位 インタープロトシリーズ シリーズ7位
2016	全日本F3選手権 シリーズチャンピオン F3マカオGP 4位 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ11位
2017	SUPER GT (GT500クラス) スポット参戦(Rd.2) シリーズ20位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ5位 インタープロトシリーズ シリーズ2位
2018	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ8位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ11位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2017	No.4 KONDO RACING	11 (6.5)	—
2018	No.4 KONDO RACING	8 (11.5)	—

## 4 国本 雄資

Yuji Kunimoto

ORIENTALBIO KONDO SF19  
TOYOTA/TRD Biz-01F



- 生年月日 1990年9月12日
- 出身地 神奈川県
- 血液型 B型
- Website <http://mobile.twitter.com.yujikunimoto>

### Race Career

2004	全日本カート選手権 ICAクラス シリーズ7位
2005	全日本カート選手権 ICAクラス東地域チャンピオン 全日本カート選手権 ICAクラス シリーズ3位
2006	全日本カート選手権 FAクラス シリーズ8位
2007	フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ4位 フォーミュラトヨタ スポット参戦
2008	フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズチャンピオン マカオグランプリフォーミュラBMWクラス5位
2009	全日本F3選手権Cクラス シリーズ3位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ8位
2010	全日本F3選手権Cクラス シリーズチャンピオン SUPER GT (GT300クラス) シリーズ4位
2011	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ10位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ7位
2012	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ13位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ13位
2013	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ10位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ5位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ7位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ7位
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ9位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ9位 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズチャンピオン
2016	日本プロスポーツ大賞功労賞獲得 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ4位 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ8位
2017	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ14位 FIA世界耐久選手権 スポット参戦(Rd.2, 3) シリーズ29位
2018	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ9位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ11位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2011	No.33 Project μ/cerumo・INGING	10 (6.5)	—
2012	No.39 Project μ/cerumo・INGING	13 (2)	—
2013	No.39 P.MU/CERUMO・INGING	10 (10)	—
2014	No.39 P.MU/CERUMO・INGING	7 (19.5)	—
2015	No.39 P.MU/CERUMO・INGING	9 (7.5)	—
2016	No.2 P.MU/CERUMO・INGING	1 (33)	2
2017	No.1 P.MU/CERUMO・INGING	8 (16)	—
2018	No.2 JMS P.MU/CERUMO・INGING	9 (11.5)	—

# UOMO SUNOCO TEAM LEMANS



日本レース界有数の老舗名門チーム。フォーミュラ・ニッポン誕生当初期には1996年と98年にダブルタイトルを獲得し、黄金時代を築いた。2000年代後半からは苦戦期もあったが、エンジニアリング面の継続的なスタッフ強化策等により復調、13年～14年はチーム部門で2年連続2位に。その後は一進一退というような流れが続いているが、今年はチームの大黒柱でありレギュラー復帰3年目の大嶋和也、FIA-F2で2年連続のシリーズ上位実績を残したアテム・マルケロフという編成で上昇を狙う。昨季の“王者エンジニア”阿部和也氏の加入も話題。

チーム名	UOMO SUNOCO TEAM LEMANS ウオモ スノコ チーム ルマン
監督	片岡 龍也
会社名	株式会社チームルマン
所在地	〒412-0046 静岡県御殿場市保土沢1157-340 TEL:0550-88-5888 / FAX:0550-88-5889
広報担当	
Website	<a href="http://www.teamlemans.co.jp/">http://www.teamlemans.co.jp/</a>
facebook	<a href="https://www.facebook.com/teamlemans.official">https://www.facebook.com/teamlemans.official</a>



チーム監督  
片岡 龍也



7号車エンジニア  
森藤 健吾



8号車エンジニア  
阿部 和也

## Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル	
1996	服部尚貴 / R.シューマッハー	PP(3回)	優勝(5回)	1位 / 78ポイント	☆	★
1997	N.フォンタナ / E.トゥエロ	2位	優勝	3位 / 23ポイント		
1998	N.フォンタナ / 本山 哲	PP(3回)	優勝(4回)	1位 / 66ポイント	☆	★
1999	本山 哲 / 山西康司	PP(3回)	優勝(3回)	2位 / 52ポイント		
2000	野田英樹 / 五十嵐勇大	PP	2位	5位 / 16ポイント		
2001	A.ユーン / 五十嵐勇大 / 山西康司	6位	5位	9位 / 2ポイント		
2002	影山正美 / 土屋武士 / D.シュワガー	PP(4回)	2位(3回)	5位 / 29ポイント		
2003	金石年弘 / 土屋武士	PP(2回)	優勝	2位 / 38ポイント		
2004	脇阪寿一 / 土屋武士 / 片岡龍也	PP	2位	4位 / 37ポイント		
2005	片岡龍也 / 土屋武士	2位	2位	5位 / 20ポイント		
2006	片岡龍也 / 高木虎之介	5位	3位(3回)	6位 / 13ポイント		
2007	片岡龍也 / 高木虎之介	9位	7位(2回)	8位 / 8ポイント		
2008	本山 哲 / 石浦宏明	PP(2回)	3位	7位 / 22ポイント		
2009	国本京佑 / 石浦宏明	2位	3位	5位 / 31ポイント		
2010	K.コッツォリーノ / 石浦宏明	3位	3位	5位 / 24ポイント		
2011	大嶋和也 / 石浦宏明(大嶋和也はTeam LeMansとして参戦)	PP	2位	4位 / 32ポイント		
2012	大嶋和也 / L.デュバル(大嶋和也はTeam LeMansとして参戦)	2位	3位	5位 / 21.5ポイント		
2013	平川 亮 / L.デュバル(Rd.1,7はA.カルダレツリ)	PP(2回)	優勝	2位 / 42ポイント		
2014	平川 亮 / L.デュバル(Rd.3はA.カルダレツリ)	PP	優勝	2位 / 46ポイント		
2015	平川 亮 / 小林可夢偉	2位	2位	4位 / 33ポイント		
2016	N.カーティケヤン / 小林可夢偉	6位	3位	10位 / 16ポイント		
2017	F.ローゼンクヴィスト / 大嶋和也	6位	2位(2回)	4位 / 34.5ポイント		
2018	P.フィッティバルディ(Rd.2以降はT.ディルマン) / 大嶋和也	11位(2回)	4位	7位 / 11ポイント		

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル

## 7 アーテム・マルケロフ

Artem Markelov

UOMO SUNOCO SF19  
TOYOTA/TRD Biz-01F



- 生年月日 1994年9月10日
- 出身地 ロシア
- 血液型 O型
- Website <http://amarkelov.com/en/>

### Race Career

2011	ADAC Formel Masters 4位 Formula 3 Euro Series スポット参戦
2012	ATS Formula 3 Germany 7位
2013	ATS Formula 3 Germany 2位
2014	GP2 Series 24位 GP2 Series 13位
2015	Toyota Racing Series 8位 GP2 Series 10位
2016	Toyota Racing Series 8位
2017	FIA Formula2 Championship 2位
2018	フォーミュラ1 Renault Sport F1 Team Test driver FIA Formula2 Championship 5位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win

## 8 大嶋 和也

Kazuya Oshima

UOMO SUNOCO SF19  
TOYOTA/TRD Biz-01F



- 生年月日 1987年4月30日
- 出身地 群馬県
- 血液型 A型
- Twitter [https://twitter.com/oshima\\_kazuya](https://twitter.com/oshima_kazuya)

### Race Career

2001	全日本カート選手権FAクラスチャンピオン
2004	フォーミュラトヨタ シリーズ2位
2005	フォーミュラトヨタ シリーズチャンピオン
2006	全日本F3選手権 シリーズ2位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ15位
2007	全日本F3選手権 シリーズチャンピオン
2008	ユーロF3シリーズ参戦
2009	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ9位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ9位
2010	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ6位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ6位
2011	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ5位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ11位
2012	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ7位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ10位 ニルブルクリンク24時間レース クラス優勝 パンセン4時間耐久レース 総合優勝
2013	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ5位 ニルブルクリンク24時間レース クラス2位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ7位
2014	ニルブルクリンク24時間レース クラス優勝 ニル耐久レースシリーズ クラス優勝 全日本選手権スーパーフォーミュラ スポット参戦 (Rd.2)
2015	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ9位 ニルブルクリンク24時間レース クラス優勝
2016	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ2位 ニルブルクリンク24時間レース クラス優勝 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ12位
2017	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ3位 インタープロトシリーズ シリーズ13位
2018	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ12位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ10位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2009	No.37 PETRONAS TEAM TOM'S	9(13)	—
2010	No.37 PETRONAS TEAM TOM'S	6(24)	1
2011	No.7 Team LeMans	5(19)	—
2012	No.7 Team LeMans	7(21.5)	—
2017	No.8 SUNOCO TEAM LEMANS	12(6)	—
2018	No.8 UOMO SUNOCO TEAM LEMANS	12(6)	—

# TEAM MUGEN



F1にもエンジンを供給、優勝した実績もある無限。「チーム無限」としてのトップフォーミュラ参戦は2010年からで、今季が10シーズン目ということに。11年に加入した山本尚貴とともに地力を上げ、13年には山本がドライバーズチャンピオンに輝く。そして昨年、山本が5年ぶり2度目の戴冠を果たした。今季は元F1ドライバーの中野信治が監督に就任、ドライバー体制もリフレッシュして新たな戦いに臨む。今季の無限コンピはホンダが誇る快速男・野尻智紀、そしてレッドブルのF1候補生で昨季スポットで2レース戦ったダニエル・ティクトゥムだ。

チーム名	TEAM MUGEN チーム・ムゲン
監督	中野 信治
会社名	株式会社M-TEC
所在地	〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11 TEL:048-462-3151 FAX:048-462-3155
広報担当	
Website	<a href="http://www.mugen-power.com/">http://www.mugen-power.com/</a>
facebook	<a href="https://www.facebook.com/mugen1973/">https://www.facebook.com/mugen1973/</a>



監督  
中野 信治



15号車エンジニア  
星 学文



16号車エンジニア  
一瀬 俊浩

## Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
2010	井出有治	8位	8位(2回)	10位/1ポイント	
2011	山本尚貴	PP	5位	7位/4ポイント	
2012	山本尚貴/佐藤琢磨(Rd.6,7)	4位	7位	8位/4ポイント	
2013	山本尚貴/佐藤琢磨(Rd.1,6,7)/小林崇志(Rd.2-4)	PP(2回)	優勝	4位/32.5ポイント	★
2014	山本尚貴/中山友貴	PP(2回)	5位	7位/12.5ポイント	
2015	山本尚貴	PP(2回)	優勝	6位/21ポイント	
2016	山本尚貴	PP	優勝	6位/14.5ポイント	
2017	P.ガスリー/山本尚貴	3位(2回)	優勝(2回)	2位/43.5ポイント	
2018	福住仁嶺(Rd.2は坂口晴南、Rd.3-4はD.ティクトゥム)/山本尚貴	PP(2回)	優勝(3回)	3位/33ポイント	★

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル

## 15 ダニエル・ティクトウム

Daniel Ticktum

TEAM MUGEN SF19  
Honda/M-TEC HR-417E



- 生年月日 1999年6月8日
- 出身地 イギリス
- 血液型 A型
- Website <https://danticktum.com/>

### Race Career

2016	BRDC Formula3 Autumn Trophy Championship 2位
2017	Formula Renault Eurocup 7位 マカオグランプリFIA F3 ワールドカップ 優勝
2018	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ スポット参戦 FIA Formula3 European Championship 2位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2018	TEAM MUGEN	-(0)	-

## 16 野尻 智紀

Tomoki Nojiri

TEAM MUGEN SF19  
Honda/M-TEC HR-417E



- 生年月日 1989年9月15日
- 出身地 茨城県
- 血液型 B型
- Twitter [https://twitter.com/tomoki\\_nojiri](https://twitter.com/tomoki_nojiri)

### Race Career

2008	鈴鹿サーキットレーシングスクール・フォーミュラ(SRS-F) 首席卒業
2009	フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ5位 F4西日本シリーズ5位
2010	フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ5位
2011	全日本F3選手権 Nクラス シリーズ2位
2012	全日本F3選手権 シリーズ5位
2013	全日本F3選手権 シリーズ4位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ10位 ルーキー・オブ・ザ・イヤー獲得 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ10位
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ7位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ14位
2016	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ9位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ15位
2017	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ17位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ9位
2018	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ7位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ3位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2014	No.40 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	10(10)	1
2015	No.40 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	7(19)	-
2016	No.40 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	9(14.5)	-
2017	No.40 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	17(2)	-
2018	No.40 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	7(12.5)	-

# REAL RACING



チームを率いるのは、フォーミュラ・ニッポンでも優勝経験があり、日本のトップカテゴリーで長く活躍した名選手・金石勝智。チーム母体としてのこのカテゴリーへの参戦開始は2009年で、参戦2年目の10年シーズンには早々に塚越広大が2位を獲得する殊勲を達成した。13年に塚越がチーム復帰してからは通年2台体制で戦っていたが、17年以降は塚越の1台にチームのリソースを集中するスタイルにスイッチして継戦。今季開幕戦は新鋭トリスタン・シャルバンティエとともに戦ったが、第2戦からは塚越が復帰し、あらためてジャンプアップを狙う。

チーム名	<b>REAL RACING</b> リアルレーシング
監督	金石 勝智
会社名	株式会社リアル
所在地	東京都港区赤坂3-21-15 東都赤坂ビル5F TEL:03-5114-6045 FAX:03-6277-7011
広報担当	
Website	<a href="http://www.real-racing.jp/">http://www.real-racing.jp/</a>
facebook	<a href="https://www.facebook.com/realracingweb/">https://www.facebook.com/realracingweb/</a>



チーム監督  
金石 勝智



17号車エンジニア  
田坂 泰啓

## Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
2009	塚越広大	3位(4回)	4位(2回)	7位/20ポイント	
2010	塚越広大	5位	2位	6位/9ポイント	
2011	小林崇志 / 武藤英紀 (Rd.4,7)	9位	9位	—/0ポイント	
2012	金石年弘 / 中山友貴 (Rd.4,5)	11位	7位	9位/2ポイント	
2013	塚越広大 / 中山友貴	7位	6位	8位/4ポイント	
2014	塚越広大 / V.リウツィ	4位	4位	8位/10ポイント	
2015	塚越広大 / 伊沢拓也	5位	7位	9位/4.5ポイント	
2016	塚越広大 / 伊沢拓也	3位	2位	7位/14.5ポイント	
2017	塚越広大	5位	6位	9位/3ポイント	
2018	塚越広大	5位(3回)	6位(2回)	10位/6ポイント	

☆: チームタイトル ★: ドライバータイトル

## 17 塚越 広大 Koudai Tsukakoshi

REAL SF19  
Honda/M-TEC HR-417E



- 生年月日 1986年11月20日
- 出身地 栃木県
- 血液型 AB型
- Website <http://www.tsukakoshikoudai.net/>

### Race Career

2003	全日本カート選手権FSAクラスシリーズチャンピオン フォーミュラ・ドリーム(4戦3勝 年間最多勝) シリーズ5位
2004	F4西日本シリーズ チャンピオン 鈴鹿レーシングスクール・フォーミュラ(SRS-F) 首席卒業 フォーミュラ・ドリーム(全戦優勝) シリーズチャンピオン
2005	全日本F3選手権参戦
2006	全日本F3選手権 シリーズ5位
2007	全日本F3選手権 シリーズ5位 F3マカオGP 2位
2008	F3ユーロシリーズ 7位
2009	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ7位 ルーキー・オブ・ザ・イヤー獲得 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ5位
2010	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ9位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ3位
2011	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ4位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ4位
2012	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ2位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ12位
2013	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ15位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ2位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ11位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ12位
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ SUPER GT (GT500クラス) シリーズ8位
2016	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ11位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ11位
2017	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ15位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ10位
2018	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ13位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ7位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2009	No.10 HFDP RACING	7(20)	—
2010	No.10 HFDP RACING	9(9)	—
2011	No.41 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	4(26.5)	—
2012	No.41 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	2(43)	1
2013	No.10 HP REAL RACING	15(3)	—
2014	No.10 HP REAL RACING	11(8.5)	—
2015	No.10 REAL RACING	—(0)	—
2016	No.10 REAL RACING	11(11)	—
2017	No.10 REAL RACING	15(3)	—
2018	No.17 REAL RACING	13(6)	—

# carrozzeria Team KCMG



KCMGは全日本トップフォーミュラのみならず多角的にモータースポーツに取り組んできた陣営で、フォーミュラ・ニッポン～スーパーフォーミュラへの参戦は2010年から。手強い先輩チームたちを相手に1カーで奮闘してきたKCMGにとって、小林可夢偉という強力なドライバーを得た17年シーズンは大きな転機となった。入賞常連となり、最高位は2位、優勝目前に迫った局面も。昨季も最高2位、今季こそチームと可夢偉にとっての初優勝を実現したい。2007、08年にフォーミュラ・ニッポンを連覇した松田次生の初采配にも大きな注目が集まる。

チーム名	carrozzeria Team KCMG カロツツェリア チーム ケーシーエムジー
監督	松田 次生
会社名	株式会社ディーティーエム
所在地	〒410-1116 静岡県裾野市千福72-1 TEL:055-992-7000 FAX:055-922-7001
広報担当	石塚麻衣 ishizuka@dtm-racing.com
Website	http://www.kcmg.com.hk/
facebook	https://www.facebook.com/KCMGItD



チーム監督  
松田 次生



18号車エンジニア  
ライアン・ディングル

## Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
2010	平中克幸	8位	7位 (2回)	12位 / 4ポイント	
2011	A.インベラトーリ	12位	7位	9位 / 2.5ポイント	
2012	折目 遼	16位	15位	— / 0ポイント	
2013	R.ブラッドレー	18位	13位	— / 0ポイント	
2014	中山雄一	11位	10位	— / 0ポイント	
2015	中山雄一	4位	6位	11位 / 1.5ポイント	
2016	中山雄一	7位	9位	— / 0ポイント	
2017	小林可夢偉	2位	2位	6位 / 16.5ポイント	
2018	小林可夢偉 (Rd.5は中山雄一)	2位 (2回)	2位	9位 / 7ポイント	

☆: チームタイトル ★: ドライバータイトル

## 18 小林 可夢偉

Kamui Kobayashi

KCMG Elyse SF19  
TOYOTA/TRD Biz-01F



- 生年月日 1986年9月13日
- 出身地 兵庫県
- 血液型 AB型
- Website <http://www.kamui-kobayashi.com/>

### Race Career

2001	フォーミュラトヨタ・レーシングスクール(FTRS)受講 スカラシップ生に選出
2002	フォーミュラトヨタ参戦
2003	フォーミュラトヨタ シリーズ2位
2004	フォーミュラルノーイタリア選手権 シリーズ7位(2勝)
2005	フォーミュラルノーイタリア選手権 シリーズチャンピオン(6勝) フォーミュラルノーユーロ選手権 シリーズチャンピオン(5勝)
2006	F3ユーロシリーズ 8位 F3マカオGP-予選レース優勝・ポールポジション獲得
2007	F3ユーロシリーズ 4位(1勝) GP2アジアシリーズ6位(2勝:日本人初優勝) GP2シリーズ16位(1勝:日本人初優勝)
2008	F1世界選手権(バナソニック・トヨタ・レーシング)サードドライバー F1世界選手権(バナソニック・トヨタ・レーシング) シリーズ18位
2009	GP2アジア シリーズチャンピオン(2勝) GP2 シリーズ16位(3位 表彰台1回)
2010	F1世界選手権(BMWザウバーF1チーム) シリーズ12位
2011	F1世界選手権(ザウバーF1チーム) シリーズ12位
2012	F1世界選手権(ザウバーF1チーム) シリーズ12位
2013	FIA世界耐久選手権(LMGTE) シリーズ7位
2014	F1世界選手権(ケータハムF1チーム) シリーズ22位
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ6位 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ17位
2016	FIA世界耐久選手権 シリーズ3位(優勝1回) 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ7位 FIA世界耐久選手権 シリーズ5位
2017	SUPER GT (GT500クラス) スポット参戦(Rd.6) シリーズ17位 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ11位
2018	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ13位 ル・マン24時間レース LMP1クラス 2位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2015	No.8 KYGNUS SUNOCO Team LeMans	6(20)	-
2016	No.8 SUNOCO Team LeMans	17(1)	-
2017	No.18 KCMG	7(16.5)	-
2018	No.18 carrozzeria Team KCMG	11(7)	-

# ITOCHU ENEX TEAM IMPUL



元祖日本一速い男にして“闘将”の異名も有する星野一義が率いる。2001～10年には、10シーズンでドライバーとチームの両タイトルを計7度ずつ獲得という圧倒的な強さを誇り、4冠王・本山哲もこのチームで3度の戴冠を果たした。近年は王座から遠ざかっているが、アグレッシブさを信条とする関口雄飛がルーキーイヤーの16年からの3シーズン毎年勝って通算5勝、シリーズの核となっている。そして昨季加わった平川亮も初優勝目前の充実ぶりを見せた。今季、2台そろってドライバー不動なチームはこのみ。継続性も武器に覇権奪回を担う。

チーム名	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL イトウチュウエネクス チーム インパル
監督	星野 一義
会社名	有限会社ホシノレーシング
所在地	〒156-0054 東京都世田谷区桜丘5-32-3 TEL:03-3439-1122(代) FAX:03-3439-5522
広報担当	
Website	<a href="http://www.impul.co.jp/">http://www.impul.co.jp/</a>
facebook	<a href="https://www.facebook.com/IMPUL.official">https://www.facebook.com/IMPUL.official</a>



チーム監督  
星野 一義



19号車エンジニア  
柏木 良仁



20号車エンジニア  
中村 成人

## Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
1996	鈴木利男 / 星野一義	PP (2回)	優勝	2位 / 38ポイント	
1997	黒澤琢弥 / 影山正彦	PP	優勝	2位 / 44ポイント	
1998	黒澤琢弥 / 影山正彦	PP	優勝 (2回)	4位 / 27ポイント	
1999	影山正美 / 野田英樹	2位	優勝	3位 / 24ポイント	
2000	本山 哲	PP	優勝	3位 / 34ポイント	
2001	本山 哲 / N.カーティケヤン	PP (3回)	優勝 (4回)	2位 / 51ポイント	★
2002	本山 哲 / M.クルム	PP	優勝 (5回)	2位 / 60ポイント	
2003	本山 哲 / B.トレレイエ	PP (5回)	優勝 (6回)	1位 / 91ポイント	☆ ★
2004	B.トレレイエ / 井出有治	PP (2回)	優勝 (3回)	1位 / 62ポイント	☆
2005	B.トレレイエ / 井出有治 / 本山 哲	PP (5回)	優勝 (6回)	1位 / 101ポイント	☆ ★
2006	B.トレレイエ / 松田次生	PP (4回)	優勝 (5回)	1位 / 88ポイント	☆ ★
	本山 哲 / 星野一樹	2位 (4回)	3位 (4回)	4位 / 16ポイント	
2007	B.トレレイエ / 松田次生	PP (4回)	優勝	1位 / 91ポイント	☆ ★
	本山 哲 / M.クルム	PP	優勝 (3回)	3位 / 50ポイント	
2008	松田次生 / B.トレレイエ	PP (5回)	優勝 (4回)	1位 / 114.5ポイント	☆ ★
	平手晃平 (Rd.7はR.ライアン)	4位 (2回)	優勝	6位 / 42ポイント	
2009	松田次生 / B.トレレイエ	PP	優勝	3位 / 50ポイント	
	平手晃平	PP	3位	4位 / 31ポイント	
2010	J.P.デ・オリベイラ / 平手晃平	PP (2回)	優勝 (3回)	1位 / 68ポイント	☆ ★
2011	J.P.デ・オリベイラ / 平手晃平	PP (2回)	優勝	2位 / 41ポイント	
2012	J.P.デ・オリベイラ / 松田次生	PP (3回)	優勝	3位 / 51.5ポイント	
2013	J.P.デ・オリベイラ / 松田次生	2位 (2回)	2位	3位 / 37.5ポイント	
2014	J.P.デ・オリベイラ / N.カーティケヤン	PP (2回)	優勝 (3回)	4位 / 39.5ポイント	
2015	J.P.デ・オリベイラ / A.カルダレッリ	PP	優勝	3位 / 37ポイント	
2016	J.P.デ・オリベイラ / 関口雄飛	PP (2回)	優勝 (3回)	3位 / 42ポイント	
2017	関口雄飛 / J.マーデンポロー	PP (2回)	優勝 (2回)	5位 / 27.5ポイント	
2018	関口雄飛 / 平川 亮	PP (2回)	優勝	4位 / 33ポイント	

☆: チームタイトル ★: ドライバータイトル

## 19 関口 雄飛

Yuhi Sekiguchi

ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF19  
TOYOTA/TRD Biz-01F



- 生年月日 1987年12月29日
- 出身地 東京都
- 血液型 AB型
- Website <http://yuhi-muteki.net/>

### Race Career

2002	全日本カート選手権・ICAクラス シリーズチャンピオン
2004	フォーミュラ・トヨタ シリーズ3位
2005	フォーミュラ・トヨタ シリーズ5位
2006	フォーミュラ・トヨタ シリーズチャンピオン FCJ シリーズチャンピオン
2007	全日本F3選手権 シリーズ7位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ10位
2008	SUPER GT (GT300クラス) シリーズ37位
2009	全日本F3選手権(Nクラス) シリーズ5位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ22位
2010	全日本F3選手権(Cクラス) シリーズ2位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ9位
2011	全日本F3選手権(Cクラス) シリーズチャンピオン SUPER GT (GT300クラス) シリーズ13位
2012	SUPER GT (GT300クラス) シリーズ6位
2013	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ12位 インタープロトシリーズ シリーズ2位
2014	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ13位
2015	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ11位 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ3位
2016	日本プロスポーツ大賞新人賞受賞 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ4位 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ4位
2017	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ13位 インタープロトシリーズ シリーズチャンピオン
2018	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ4位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ5位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2016	No.20 ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	3 (28.5)	2
2017	No.19 ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	4 (25)	2
2018	No.19 ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	4 (18)	1

## 20 平川 亮

Ryo Hirakawa

ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF19  
TOYOTA/TRD Biz-01F



- 生年月日 1994年3月7日
- 出身地 広島県
- 血液型 O型
- Twitter <https://twitter.com/ryohirakawa>

### Race Career

2008	全日本ジュニアカート選手権 ジュニアクラス シリーズチャンピオン 全日本カート選手権 KF2クラスシリーズ フォーミュラトヨタ・レーシングスクール (FTRS) 受講 フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ6位
2009	スーパーFJ 日本一決定戦優勝 JAF地方選手権スーパーFJ岡山シリーズチャンピオン フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ2位 F4 西日本シリーズチャンピオン
2012	全日本F3選手権Cクラス シリーズチャンピオン フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ2位 ボルシェカレラカップジャパン シリーズチャンピオン
2013	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ11位 インタープロトシリーズ プロフェッショナルクラスチャンピオン
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ8位 SUPER GT (GT500クラス) スポット参戦 (Rd.2, 3) シリーズ20位 スーパー耐久 (ST-1クラス) シリーズチャンピオン インタープロトシリーズ プロフェッショナルクラスチャンピオン
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ8位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ5位 インタープロトシリーズ プロフェッショナルクラスチャンピオン
2016	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ9位 ヨーロピアン・ルマンシリーズ (LMP2) シリーズ5位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズチャンピオン
2017	ヨーロピアン・ルマンシリーズ (LMP2) シリーズ4位 インタープロトシリーズ シリーズ8位
2018	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ5位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ2位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2013	No.7 KYGNUS SUNOCO Team LeMans	11 (9)	—
2014	No.7 KYGNUS SUNOCO Team LeMans	8 (16.5)	—
2015	No.7 KYGNUS SUNOCO Team LeMans	8 (13)	—
2018	No.20 ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	5 (17)	—

# VANTELIN TEAM TOM'S



日本レース界を代表する強豪レーシングチームだ。トップフォーミュラへの継続的フル参戦開始は比較的最近で、2006年のこと。初年度から初優勝するなど、すぐに上位常連となり、11年には初のダブルタイトルに輝く。そこから15年までの5シーズンでドライバータイトル3回、チームタイトル4回を獲得し、一大王朝期を展開した。しかしここ3年は無冠。復権を期す今季は、このチームで2度の王座獲得経験を誇る中嶋一貴と、昨季シリーズ2位で移籍加入のニック・キャッシュのコンビで臨む（キャッシュはSUPER GTでは元来のチームドライバー）。

チーム名	VANTELIN TEAM TOM'S バンテリン チーム トムス
監督	舘 信秀
会社名	株式会社トムス
所在地	〒412-0017 静岡県御殿場市塚原149-6 テクニカルセンター(第1工場) TEL:0550-89-8347 FAX:0550-89-8349
広報担当	
Website	<a href="https://www.tomsracing.co.jp/">https://www.tomsracing.co.jp/</a>
facebook	<a href="https://www.facebook.com/TOMSRacing.co.jp">https://www.facebook.com/TOMSRacing.co.jp</a>



チーム監督  
舘 信秀



36号車エンジニア  
東條 力



37号車エンジニア  
小枝 正樹

## Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル	
2006	A.ロッテラー／土屋武士	5位(2回)	優勝(2回)	2位／32ポイント		
2007	A.ロッテラー／荒 聖治	4位(2回)	優勝	4位／48ポイント		
2008	A.ロッテラー／荒 聖治	3位	優勝	3位／58ポイント		
2009	A.ロッテラー／大嶋和也	2位	優勝	2位／52ポイント		
2010	A.ロッテラー／大嶋和也	PP	優勝(2回)	2位／67ポイント		
2011	A.ロッテラー(Rd.2は井口卓人)／中嶋一貴	PP(2回)	優勝(6回)	1位／96ポイント	☆	★
2012	A.ロッテラー／中嶋一貴	PP(2回)	優勝(4回)	2位／76.5ポイント		★
2013	中嶋一貴／A.ロッテラー(Rd.1,7はJ.ロシター)	PP(2回)	優勝(4回)	1位／58.5ポイント	☆	
2014	A.ロッテラー(Rd.4はA.カルダレリ)／中嶋一貴	PP(4回)	優勝(4回)	1位／79.5ポイント	☆	★
2015	中嶋一貴(Rd.2は大嶋和也)／A.ロッテラー	PP(2回)	優勝(4回)	1位／80.5ポイント	☆	
2016	A.ロッテラー／中嶋一貴	PP	2位(5回)	2位／51ポイント		
2017	A.ロッテラー／中嶋一貴	PP(2回)	優勝(2回)	3位／41ポイント		
2018	中嶋一貴(Rd.5はJ-P.デ・オリベイラ)／J.ロシター	3位	3位	6位／15ポイント		

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル

## 36 中嶋 一貴

Kazuki Nakajima

VANTELIN KOWA TOM'S SF19  
TOYOTA/TRD Biz-01F



- 生年月日 1985年1月11日
- 出身地 愛知県
- 血液型 A型
- Website <http://www.kazuki-nakajima.com/>

### Race Career

2001	全日本カート選手権FAクラス シリーズ7位
2002	全日本カート選手権FAクラス シリーズ3位
2003	フォーミュラトヨタ シリーズチャンピオン(3勝)
2004	全日本F3選手権 シリーズ5位(2勝)
2005	全日本F3選手権 シリーズ2位
2006	SUPER GT (GT300クラス) シリーズ8位
2007	ユーロF3シリーズ 7位(1勝)
2007	GP2シリーズ(フランスDAMS) シリーズ5位
2008	AT&Tウイリアムズテストドライバー/F1世界選手権最終戦ブラジルGP出場
2008	F1世界選手権(AT&Tウイリアムズ) シリーズ15位
2009	F1世界選手権(AT&Tウイリアムズ) シリーズ20位
2011	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ2位 ルーキー・オブ・ザ・イヤー獲得
2011	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ8位
2012	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズチャンピオン
2012	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ7位
2012	FIA世界耐久選手権(LMP1) シリーズ13位
2013	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ4位
2013	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ3位
2013	FIA世界耐久選手権(LMP1) シリーズ12位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズチャンピオン
2014	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ5位
2014	FIA世界耐久選手権(LMP1) シリーズ8位
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ2位
2015	FIA世界耐久選手権 シリーズ7位
2016	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ6位
2016	FIA世界耐久選手権 シリーズ8位
2017	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ5位
2017	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ6位
2017	FIA世界耐久選手権 シリーズ2位
2018	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ6位
2018	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ6位
2018	ル・マン24時間レース LMP1クラス 優勝

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2011	No.37 PETRONAS TEAM TOM'S	2(42)	1
2012	No.2 PETRONAS TEAM TOM'S	1(46)	2
2013	No.1 PETRONAS TEAM TOM'S	4(24)	2
2014	No.37 PETRONAS TEAM TOM'S	1(46)	2
2015	No.1 PETRONAS TEAM TOM'S	2(45.5)	1
2016	No.37 VANTELIN TEAM TOM'S	6(22)	-
2017	No.37 VANTELIN TEAM TOM'S	5(22)	1
2018	No.36 VANTELIN TEAM TOM'S	6(15)	-

## 37 ニック・キャシディ

Nick Cassidy

VANTELIN KOWA TOM'S SF19  
TOYOTA/TRD Biz-01F



- 生年月日 1994年8月19日
- 出身地 ニュージーランド
- 血液型 B型
- Website <http://easyinstagram.com/nickcassidy>

### Race Career

2008	New Zealand Formula First Winter Series シリーズチャンピオン
2009	New Zealand Formula First シリーズ2位(新人賞獲得)
2010	New Zealand Formula Ford シリーズ2位(新人賞獲得)
2011	Toyota Racing Series シリーズ2位(新人賞獲得)
2012	Toyota Racing Series シリーズチャンピオン
2013	Toyota Racing Series シリーズチャンピオン
2014	Eurocup Formula Renault 2.0 & FIA ヨーロッパF3選手権 スポット参戦
2014	F3マカオGP 3位
2015	全日本F3選手権 シリーズチャンピオン
2015	F3マカオGP 12位
2016	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ5位
2016	FIA ヨーロッパF3選手権 シリーズ4位
2017	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ10位
2017	SUPER GT (GT500クラス) シリーズチャンピオン
2018	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ2位
2018	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ2位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2017	No.3 KONDO RACING	10(8)	-
2018	No.3 KONDO RACING	2(37)	1

# JMS P.MU/CERUMO・INGING



フォーミュラ・ニッポン以前の時代からトップフォーミュラで戦ってきたセルモと2006年参戦開始のインギングが共闘体制を組んだのは08年。現在の監督は“セルモのエース”として知られ、SUPER GTでは現役第一線にあり続けている立川祐路だ。近年の充実ぶりが顕著で、15年から石浦宏明～国本雄資～石浦と3年連続で王者を輩出し、16～17年はチーム王座も獲得。昨年こそ無冠も、“SF14時代”の最強陣営であったことは疑いない。新車SF19でも覇権確立を狙ってゆく。石浦の新相棒となった昨年全日本F3王者・坪井翔の走りにも期待が高まる。

チーム名	<b>JMS P.MU/CERUMO・INGING</b> ジェームス ピーエムユーセルモインギング
監督	立川 祐路
会社名	株式会社インギング
所在地	〒745-0868 山口県周南市南浦山町2-2 TEL:0834-22-5248 FAX:0834-22-5212
広報担当	田邊善隆
Website	<a href="http://www.inging.co.jp/">http://www.inging.co.jp/</a>
facebook	<a href="https://www.facebook.com/ingingmotorsport">https://www.facebook.com/ingingmotorsport</a>



チーム監督  
立川 祐路



38号車エンジニア  
村田 卓児



39号車エンジニア  
菅沼 芳成

## Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
1996	羽根幸浩	14位	12位	—/0ポイント	
1997	光貞秀俊/S.カヴァナ/柴原眞介/M.クルム	3位(2回)	3位(3回)	5位/20ポイント	
1998	野田英樹/飯田 章	PP	3位	7位/11ポイント	
1999	立川祐路/飯田 章	4位	4位	10位/6ポイント	
2000	立川祐路/J.ヴィエルチューク	3位(3回)	4位(3回)	7位/9ポイント	
2001	影山正美/荒 聖治	7位(2回)	3位	7位/16ポイント	
2002	B.トレルイエ/立川祐路	8位(2回)	6位	9位/1ポイント	
2003	松田次生/井出有治	3位	2位	5位/26ポイント	
2004	松田次生/影山正美	5位	4位(2回)	7位/7ポイント	
2005	平中克幸/高木虎之介	2位	6位(2回)	7位/2ポイント	
2006	立川祐路(CERUMO)	5位	4位(2回)	8位/10ポイント	
	R.クインタレッリ/横溝直輝(INGING)	2位	4位	9位/6ポイント	
2007	立川祐路(CERUMO)	4位	5位	9位/7ポイント	
	立川祐路/佐々木孝太(RECKLESS CERUMO)	7位	6位	11位/4ポイント	
2008	R.クインタレッリ/横溝直輝(INGING)	2位	優勝	5位/27ポイント	
	R.クインタレッリ/立川祐路	5位	3位	4位/52.5ポイント	
2009	立川祐路	8位	5位	10位/1ポイント	
2010	井口卓人	13位	6位	8位/3ポイント	
2011	国本雄資	8位	4位	6位/6.5ポイント	
2012	平手晃平/国本雄資	4位	5位	6位/10ポイント	
2013	平手晃平/国本雄資	2位	2位	5位/21ポイント	
2014	石浦宏明/国本雄資	2位	2位(2回)	3位/45.5ポイント	
2015	石浦宏明/国本雄資	PP(3回)	優勝(2回)	2位/56ポイント	★
2016	石浦宏明/国本雄資	PP(3回)	優勝(3回)	1位/54ポイント	☆ ★
2017	国本雄資/石浦宏明	PP(2回)	優勝	1位/47.5ポイント	☆ ★
2018	石浦宏明/国本雄資	PP	優勝	2位/35.5ポイント	

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル

## 38 石浦 宏明

Hiroaki Ishiura

JMS P.MU/CERUMO・INGING SF19  
TOYOTA/TRD Biz-01F



- 生年月日 1981年4月23日
- 出身地 東京都
- 血液型 AB型
- Website <http://ameblo.jp/ishiura/>

### Race Career

2003	フォーミュラトヨタ シリーズ4位
2004	フォーミュラトヨタ シリーズ6位
2005	フォーミュラトヨタ シリーズ3位 GC-21シリーズチャンピオン
2006	全日本F3選手権 シリーズ9位
2007	全日本F3選手権 シリーズ4位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズチャンピオン 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ16位
2008	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ15位
2009	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ6位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ9位
2010	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ8位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ6位
2011	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ6位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ7位 ニュルブルクリンク24時間レース クラス3位
2012	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ3位 ニュルブルクリンク24時間レース クラス優勝
2013	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ7位 ニュルブルクリンク24時間レース クラス2位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ5位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ13位 ニュルブルクリンク24時間レース クラス優勝
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズチャンピオン SUPER GT (GT500クラス) シリーズ4位 インタープロトシリーズ シリーズ3位 ニュルブルクリンク24時間レース SP-PROクラス優勝 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ5位
2016	日本プロスポーツ大賞功労賞受賞 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ6位 インタープロトシリーズ シリーズ5位
2017	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズチャンピオン SUPER GT (GT500クラス) シリーズ4位 インタープロトシリーズ シリーズ5位
2018	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ3位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ4位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2008	No.8 Team LeMans	16(9)	—
2009	No.8 Team LeMans	6(30)	—
2010	No.8 Team LeMans	8(16)	—
2011	No.8 Team KYGNUS SUNOCO	6(17)	—
2014	No.38 P.MU/CERUMO・INGING	5(26)	—
2015	No.38 P.MU/CERUMO・INGING	1(51.5)	2
2016	No.1 P.MU/CERUMO・INGING	5(27)	1
2017	No.2 P.MU/CERUMO・INGING	1(33.5)	1
2018	No.1 P.MU/CERUMO・INGING	3(25)	1

## 39 坪井 翔

Sho Tsuboi

JMS P.MU/CERUMO・INGING SF19  
TOYOTA/TRD Biz-01F



- 生年月日 1995年5月21日
- 出身地 埼玉県
- 血液型 A型
- Website <http://xyz-one.jp/tsuboi/>

### Race Career

2012	フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ7位
2013	フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ5位
2014	F4地方選手権 シリーズチャンピオン
2015	FIA F4選手権 シリーズチャンピオン インタープロトシリーズ 9位
2016	全日本F3選手権 シリーズ3位 インタープロトシリーズ 2位 全日本F3選手権 シリーズ2位
2017	SUPER GT (GT300クラス) シリーズ3位 スーパー耐久シリーズ ST4クラス チャンピオン インタープロトシリーズ 3位
2018	全日本F3選手権 シリーズチャンピオン SUPER GT (GT300クラス) シリーズ7位 スーパー耐久シリーズ ST4クラス チャンピオン インタープロトシリーズ 5位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
------	------	------------	-----

# B-Max Racing with motopark



全日本F3やSUPER GTでも活躍するB-Max RacingはF3ドライバーでもある“DRAGON”こと組田龍司が率いる陣営で、スーパーフォーミュラには2017年から参戦。今季は欧州の強豪チームとタッグを組み、「B-Max Racing with motopark」として2カーに体制を拡大しての挑戦となる。ドライバーは元大物F1選手ゲルハルト・ベルガーの甥であるルーカス・アウアーと、有名F1技術者エイドリアン・ニューウェイの息子ハリソン・ニューウェイ。チーム監督は、スーパーフォーミュラの前身フォーミュラ・ニッポンで4度タイトルを獲得した本山哲が務める。

チーム名	<b>B-Max Racing with motopark</b> ビーマックス・レーシング ウィズ モトパーク
監督	本山 哲
会社名	B-MAX RACING 株式会社
所在地	〒252-1107 神奈川県綾瀬市深谷中8-8-2 TEL:0467-39-5960 FAX:0467-39-5940
広報担当	
Website	<a href="http://www.b-maxracingteam.com">http://www.b-maxracingteam.com</a>



チーム監督  
本山 哲



50号車エンジニア  
アンドレアス・コーラー



51号車エンジニア  
ニコラウス・ラー

## Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
2017	小暮卓史	11位	12位	—/0ポイント	
2018	千代勝正	13位	10位	—/0ポイント	

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル

## 50 ルーカス・アウアー

Lucas Auer

Red Bull SF19  
Honda/M-TEC HR-417E



- 生年月日 1994年9月11日
- 出身地 オーストリア
- 血液型
- Website <https://www.instagram.com/luggiauer>

### Race Career

2012	German Formula3 Championship シリーズ2位 Toyota Racing Series 6位
2013	FIA Formula3 European Championship シリーズ4位
2014	FIA Formula3 European Championship シリーズ4位
2015	ドイツツーリングカー選手権 (DTM) シリーズ23位
2016	ドイツツーリングカー選手権 (DTM) シリーズ12位
2017	ドイツツーリングカー選手権 (DTM) シリーズ6位
2018	ドイツツーリングカー選手権 (DTM) シリーズ7位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win

## 51 ハリソン・ニューウェイ

Harrison Newey

GOLDEX TAIROKU RACING SF19  
Honda/M-TEC HR-417E



- 生年月日 1998年7月25日
- 出身地 イギリス
- 血液型 O型
- Website <https://www.harrisonnewey.com>

### Race Career

2014	BRDC Formula4 Winter Championship 9位 French F4 Championship 20位
2015	BRDC Formula4 Championship 2位
2015-16	MRF Challenge Formula 2000 Championship 7位
2016	FIA Formula European Championship 18位
2016-17	MRF Challenge Formula 2000 Championship 1位
2017	FIA Formula3 European Championship 11位
2017-18	Asian Le Mans Series 1位
2018	European Le Mans Series 12位 24Hours of Le Mans LMP2クラス10位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win

# TCS NAKAJIMA RACING



日本人初のF1フルタイムドライバーとして広く知られる英雄・中嶋悟が率いるチームで、フォーミュラ・ニッポン時代には4度のダブルタイトル獲得歴を誇る名門。高木虎之介や小暮卓史といったスターを輩出してきた歴史も有する。2010年開幕戦を最後に優勝がないが、チームはエンジニアリングスタッフ強化策を講じたりしながら、名門復活を目指し進んでいる最中だ。今季はダブル新人というフレッシュな布陣で躍進を目指す。テストから快速ぶりを発揮したアレックス・パロウト、ホンダ期待の若手・牧野任祐、競い合いつつ上昇気流に乗りたい。

チーム名	TCS NAKAJIMA RACING ティーシーエス・ナカジマレーシング
監督	中嶋 悟
会社名	有限会社中嶋企画
所在地	東京都渋谷区渋谷3-5-1 渋谷グランドハイツ1104号 TEL:03-3486-4258 FAX:03-3486-4259
広報担当	
Website	<a href="http://www.nakajim racing.co.jp/">http://www.nakajim racing.co.jp/</a>
facebook	<a href="https://www.facebook.com/nakajim racing">https://www.facebook.com/nakajim racing</a>



チーム監督  
中嶋 悟



64号車エンジニア  
加藤 祐樹



65号車エンジニア  
岡田 淳

## Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
1996	高木虎之介 / 黒澤琢弥	PP(4回)	優勝(2回)	3位 / 35ポイント	
1997	高木虎之介 / 山西康司	PP(3回)	優勝	4位 / 20ポイント	
1998	山西康司 / T.コロネル	2位	4位	8位 / 10ポイント	
1999	T.コロネル / 光貞秀俊	PP(5回)	優勝(5回)	1位 / 81ポイント	☆ ★
2000	高木虎之介 / 松田次生	PP(6回)	優勝(9回)	1位 / 113ポイント	☆ ★
2001	松田次生 / R.ファーマン	PP(2回)	優勝(2回)	4位 / 37ポイント	
2002	R.ファーマン / 松田次生	PP(2回)	優勝(4回)	1位 / 81ポイント	☆ ★
2003	小暮卓史 / A.ロッテラー	PP	2位(3回)	3位 / 33ポイント	
2004	A.ロッテラー / 小暮卓史	2位	優勝(3回)	2位 / 50ポイント	
2005	A.ロッテラー / 小暮卓史	PP	優勝(2回)	3位 / 35ポイント	
2006	L.デュバル / 武藤英紀	4位	優勝(2回)	3位 / 26ポイント	
2007	L.デュバル / 小暮卓史	PP(4回)	優勝(3回)	2位 / 72ポイント	
2008	L.デュバル / 小暮卓史	2位(2回)	優勝(2回)	2位 / 103ポイント	
2009	L.デュバル / 小暮卓史	PP(5回)	優勝(6回)	1位 / 93ポイント	☆ ★
2010	山本尚貴 / 小暮卓史	PP(2回)	優勝(1回)	3位 / 56.5ポイント	
2011	中嶋大祐 / 小暮卓史	2位	2位	5位 / 18.5ポイント	
2012	中嶋大祐 / 小暮卓史	5位	4位	7位 / 4ポイント	
2013	中嶋大祐 / 小暮卓史	2位(2回)	2位(2回)	5位 / 21ポイント	
2014	中嶋大祐 / 小暮卓史	10位	5位	9位 / 4ポイント	
2015	中嶋大祐 / B.バゲット	3位	5位	7位 / 7ポイント	
2016	中嶋大祐 / B.バゲット	4位(2回)	2位	5位 / 15ポイント	
2017	中嶋大祐 / N.カーティケヤン	4位	7位	10位 / 2ポイント	
2018	N.カーティケヤン / 伊沢拓也	4位(2回)	5位(2回)	8位 / 8ポイント	

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル

## 64 アレックス・パロウ

Alex Palou

TCS NAKAJIMA RACING SF19  
Honda/M-TEC HR-417E



- 生年月日 1997年4月1日
- 出身地 スペイン
- 血液型 A型
- Website <https://www.instagram.com/alexpalou>

### Race Career

2011	Spanish Campeones KF3 1位
2012	Copan Campeones K3 1位
2013	Copan Campeones Kz 1位
2014	Euro Formula Open Championship 3位 Spanish Formula3 Championship 2位
2015	GP3 Series 10位
2016	GP3 Series 15位
2017	全日本F3選手権 Cクラス シリーズ3位
2018	FIA F3 European Championship シリーズ7位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win

## 65 牧野 任祐

Tadasuke Makino

TCS NAKAJIMA RACING SF19  
Honda/M-TEC HR-417E



- 生年月日 1997年6月28日
- 出身地 大阪府
- 血液型 O型
- Website <http://team-tadasuke.com/>

### Race Career

2011	全日本カート選手権 FS125クラスシリーズ チャンピオン
2012	全日本カート選手権 KF-1クラスシリーズ 4位
2013	全日本カート選手権 KF-1クラスシリーズ 6位
2014	JAF地方選手権Super-J 岡山シリーズ チャンピオン Super-FJ ドリームカップレース 優勝 Super-FJ 日本一決定戦 優勝 FIA F4選手権 シリーズ 2位
2015	JAF F4 東日本シリーズ チャンピオン JAF F4 西日本シリーズ チャンピオン JAF F4 日本一決定戦 優勝
2016	全日本F3選手権 Cクラス シリーズ 5位 SUPER GT (GT300クラス) スポット参戦
2017	FIA Formula3 European Championship 15位
2018	FIA Formula2 Championship 13位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win

## 鈴鹿サーキット

### SUZUKA CIRCUIT

第1戦 4月20日(土)・21日(日) / 第7戦 10月26日(土)・27日(日)

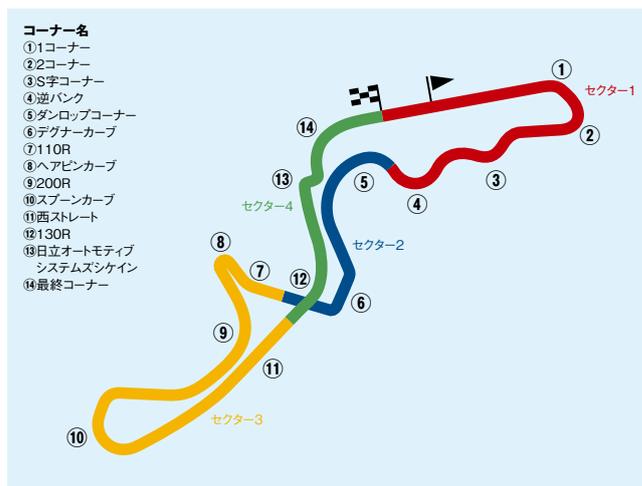
1962年、日本初の本格的サーキットとして誕生。世界的にも珍しい立体交差のある8の字型のレイアウトで低速から高速コーナーまでバランスよく配置されている。1987年にF1日本グランプリを開催してから海外でも広く知られるようになり、リズムカルでチャレンジングなレイアウトは世界でもベストコースのひとつと評価する関係者も多い。



#### アクセス

- 〔クルマ〕** 東名阪自動車道・鈴鹿ICより。東名阪自動車道・亀山ICより。
- 〔電車〕** 近鉄・白子駅よりバス20分、タクシー15分。近鉄・平田町駅よりタクシー15分。伊勢鉄道・鈴鹿サーキット稲生駅より徒歩30分。

株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット  
〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992  
TEL:059-378-1111 FAX:059-378-9181 <http://www.suzukacircuit.jp>



#### コースデータ

全長	5.807km
コース幅	10~16m
ストレート長	800m(メインストレート) 1000m(西ストレート)
コーナー数	18

#### コースレコード

<b>SF</b>	<b>1'35.907</b>	2017年4月22日(土)
中嶋一貴 / VANTELIN KOWA TOM'S SF14・TOYOTA R14A 2017年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第1戦 鈴鹿サーキット SUZUKA 2&4 RACE		
<b>F1</b>	<b>1'27.319</b>	2017年10月7日(土)
ルイス・ハミルトン / メルセデスAMG M08 2017年 F1日本グランプリ 鈴鹿		
<b>F3</b>	<b>1'50.999</b>	2017年4月22日(土)
高星明誠 / ダラーラF312・フォルクスワーゲン 2017年 全日本F3選手権 第4戦		

## オートポリス

### AUTOPOLIS

第2戦 5月18日(土)・19日(日)

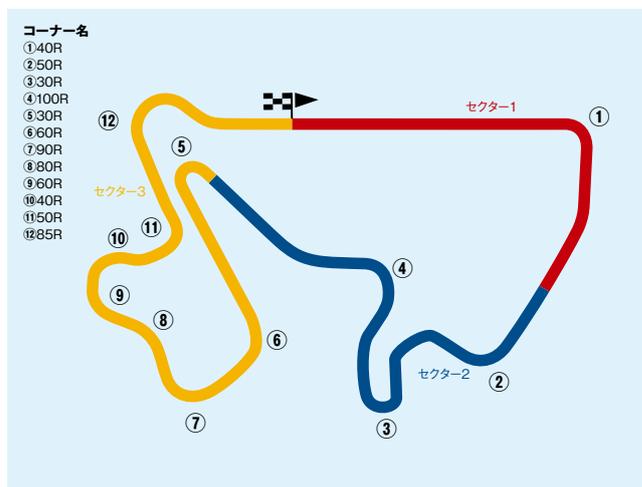
かつてスポーツカー世界選手権 (SWC) も開催された九州で初めての本格的国際格式のサーキット。阿蘇山の近くに位置し、アップダウンに富んだレイアウトが特徴で高低差は50mにも及ぶ。メインストレートは900mと長めだが、コース後半の下り坂からの右コーナー(右図⑥)をはじめ、全体的にテクニカル&チャレンジングなコースといえる。



#### アクセス

- 〔クルマ〕** 大分自動車道・日田ICより70分。大分自動車道・湯布院ICより70分。福岡自動車道・福岡ICより140分。熊本市内より70分。
- 〔飛行機〕** 熊本空港より車で40分。

株式会社オートポリス  
〒877-0312 大分県日田市上津江町上野田1112-8  
TEL:0973-55-1111 FAX:0973-55-1113 <http://www.autopolis.jp>



#### コースデータ

全長	4.674km
コース幅	12~15m
ストレート長	902m(メインストレート)
高低差	52m

#### コースレコード

<b>SF</b>	<b>1'25.799</b>	2018年5月2日(土)
小林可夢偉 / KCMG Elyse SF14・TOYOTA R14A 2018年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第2戦		
<b>グループC</b>	<b>1'27.188</b>	1991年10月26日(土)
テオ・ファビ / ジャガー-XJR-14 1991年 スポーツカー世界選手権第8戦		
<b>F3</b>	<b>1'37.412</b>	2017年9月9日(土)
坪井翔 / ダラーラF317・トヨタ 2017年 全日本F3選手権 第17戦		

# スポーツランドSUGO

## SPORTSLAND SUGO

第3戦 5月22日(土)・23日(日)

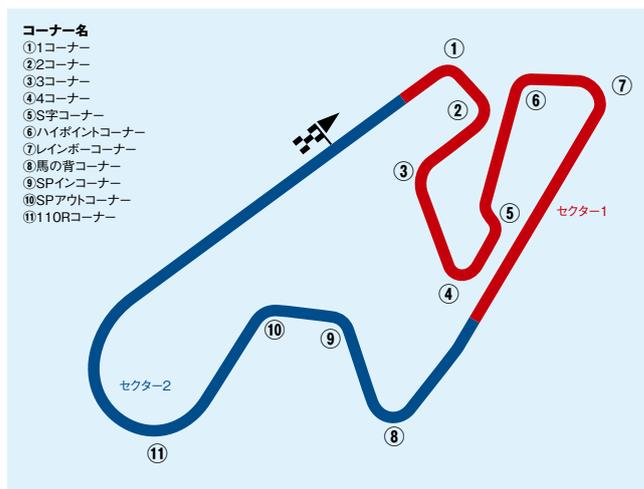
宮城県仙台郊外の山間にあり、地形を活かした高低差の大きなコース。最終コーナーからメインストレートにかけて10%という急勾配をマシンが駆け上ってくる姿はこのサーキットの特徴的なシーンとして知られる。前半はコーナーが連続するテクニカルなセクターで、後半は中高速のパートとなっている。



### アクセス

- 〔クルマ〕 東北自動車道・村田ICより10分。仙台ICより15分。
- 〔電車〕 東北新幹線・JR仙台駅よりバス60分。
- 〔飛行機〕 仙台空港より車で40分。

株式会社菅生  
〒989-1301 宮城県柴田郡村田町菅生6-1  
TEL:0224-83-3111 FAX:0224-83-3790 <http://www.sportsland-sugo.co.jp>



### コースデータ

全長	3.704km
コース幅	10~12.5m
ストレート	704m
高低差	69.83m

### コースレコード

- SF 1'04.694** 2018年5月26日(土)  
野尻智紀 / DOCOMO DANDELIONE M55 SF14・Honda HR-417E  
2018年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第3戦
- F3 1'11.871** 2018年9月29日(土)  
坪井翔 / ダララF317・トヨタ  
2018年 全日本F3選手権 第15戦

# 富士スピードウェイ

## FUJI SPEEDWAY

第4戦 7月13日(土)・14日(日)

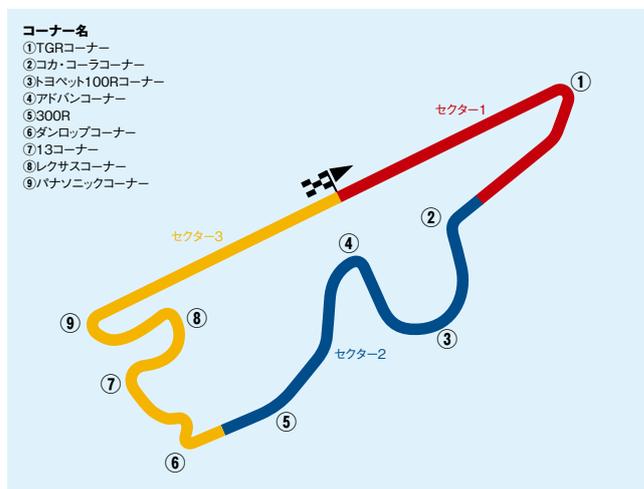
西の鈴鹿、東の富士と日本を代表する2大サーキットのひとつ。歴史も長く、日本のモータースポーツを育て、支えてきただけでなく、F1や世界耐久選手権などビッグイベントも開催してきた。約1.5kmにおよぶ世界屈指の長いストレートを持ち、高速コースとして知られたが、2005年に改修されコース後半はテクニカルなレイアウトとなった。



### アクセス

- 〔クルマ〕 東名高速道路・御殿場ICより15分。  
中央高速道路・河口湖IC~富士五湖道路・須走ICより10分。
- 〔電車〕 JR御殿場線 / 小田急・御殿場駅よりバス25分。

富士スピードウェイ株式会社  
〒410-1307 静岡県駿東郡小山町中日向694  
TEL:0550-78-1234 FAX:0550-78-0205 <http://www.fsw.tv>



### コースデータ

全長	4.563km
コース幅	15~25m
ストレート長	1,475m(メインストレート)
コーナー数	16

### コースレコード

- SF 1'22.572** 2014年5月17日(土)  
アンドレ・ロッター / ペトロナストムスSF14・トヨタR14A  
2014年 全日本選手権スーパーフォーミュラ第2戦
- F1 1'17.287** 2008年10月11日(土)  
フェリペ・マッサ / フェラーリF2008  
2008年 F1世界選手権 フジテレビジョン 日本グランプリレース
- F3 1'33.309** 2018年10月13日(土)  
坪井翔 / ダララF317・トヨタ  
2018年 全日本F3選手権 第18戦

# ツインリンクもてぎ

## TWINRING MOTEGI

第5戦 8月17日(土)・18日(日)

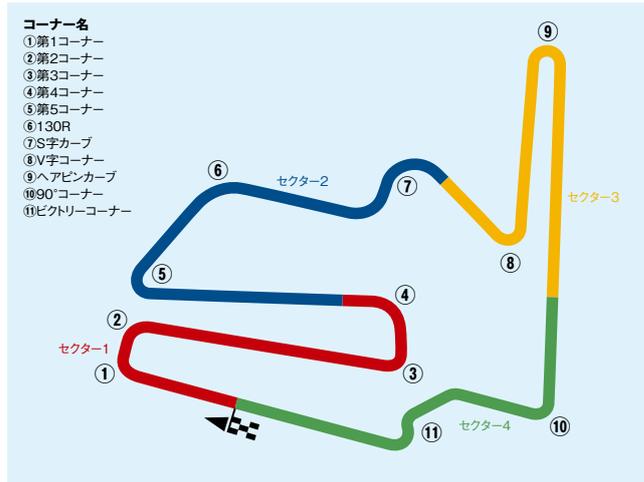
通常のロードコースと日本唯一のオーバル(楕円)コースと、ふたつの異なるタイプを持つ世界的にもまれなサーキット。スーパーフォーミュラで使うロードコースは比較的急なカーブと直線を結んだストップ(減速)&ゴー(加速)の多いレイアウトとなっている。そのため、ブレーキやタイヤの摩耗が厳しい。



### アクセス

- 〔クルマ〕** 北関東自動車道・真岡IC、友部ICより。常磐自動車道・水戸IC、那珂IC、水戸北スマートICより。東北自動車道・宇都宮ICより。
- 〔電車〕** 真岡鉄道・茂木駅よりバス20分。東北新幹線・JR宇都宮駅よりバス90分。常磐線・JR水戸駅よりバス90分。

株式会社モビリティランド ツインリンクもてぎ  
〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町松山120-1  
TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009 <http://www.twinring.jp>



### コースデータ

全長	4.801km
コース幅	14
ストレート長	762m(ダウンヒルストレート)
高低差	30.4m
コーナー数	14

### コースレコード

<b>SF</b>	<b>1'31.591</b>	2018年8月18日(土)
石浦宏明 / JMS.P.MU/CERUMO・INGING SF14・TOYOTA R14A 2018年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第5戦		
<b>F3</b>	<b>1'43.484</b>	2018年8月18日(土)
坪井翔 / ダラーラF317・トヨタ 2018年 全日本F3選手権 第10戦		

# 岡山国際サーキット

## OKAYAMA INTERNATIONAL CIRCUIT

第6戦 9月28日(土)・29日(日)

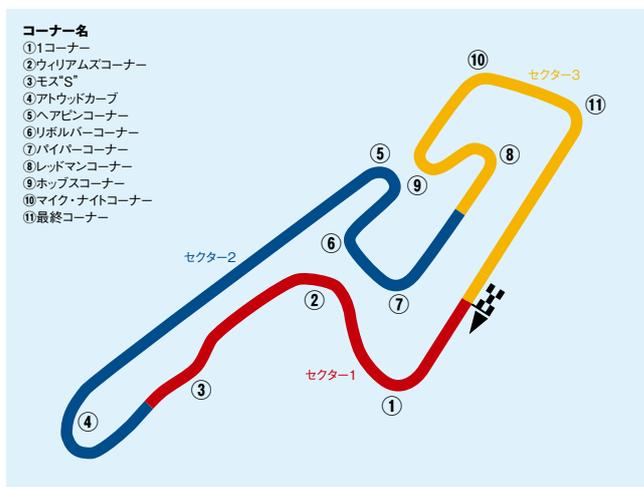
現在、中国地方で唯一のビッグレース開催サーキット。1994、95年にはF1を開催したこともある。コース長は3.7kmで、中低速コーナーの多いこぢんまりとしたテクニカルなレイアウトで観客席との距離が近い。各コーナーは往年のドライバーの名がつけられているのも特徴。一昨年より、2008年以来7年ぶりにスーパーフォーミュラが開催されるようになった。



### アクセス

- 〔クルマ〕** 山陽自動車道・備前IC / 和気ICより30分。中国自動車道・美作ICより30分、作東ICより20分
- 〔電車〕** 山陽新幹線・JR岡山駅よりバス+タクシーで80分。山陽本線JR吉永駅より車で20分。
- 〔飛行機〕** 岡山空港より車で60分。

株式会社岡山国際サーキット  
〒701-2612 岡山県美作市滝宮1210  
TEL:0868-74-3311 FAX:0868-74-2600 <http://www.okayama-international-circuit.jp>



### コースデータ

全長	3.703km
コース幅	12~15m
ストレート長	600m(メインストレート) 700m(バックストレート)
高低差	29m
コーナー数	13

### コースレコード

<b>SF</b>	<b>1'12.429</b>	2015年5月23日(土)
石浦宏明 / P.MU/CERUMO・INGING DF14・トヨタR14A 2015年 全日本選手権スーパーフォーミュラ 第2戦		
<b>F1</b>	<b>1'10.218</b>	1994年4月15日(金)
アイルトン・セナ / ウィリアムズFW16・ルノー 1994年 F1世界選手権第2戦 バジフィックGP		
<b>F3</b>	<b>1'20.990</b>	2016年5月28日(土)
ヤン・マーデンポロー / ダラーラF314・フォルクスワーゲン 2016年 全日本選手権F3選手権 第6戦		

# 2018 SUPER FORMULA RACE RESULT

## 第1戦 鈴鹿サーキット 4月22日 5.807km×51周=296.157km 天候:晴れ コース:ドライ

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Time	Delay	Best Time	Qualify Pos.	Qualify Time
1	16	山本 尚貴	TEAM MUGEN SF14	Honda HR-417E	51	1:29:25.365	198.71km/h	1:42.678	1	1:36.911
2	19	関口 雄飛	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	51	1:29:27.085	1:720	1:42.803	14	1:53.851
3	5	野尻 智紀	DOCOMO DANDELION M55 SF14	Honda HR-417E	51	1:29:39.082	13.717	1:43.197	3	1:37.040
4	1	石浦 宏明	JMS P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	51	1:29:41.246	15.881	1:42.543	6	1:38.342
5	65	伊沢 拓也	TCS NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-417E	51	1:29:56.272	30.907	1:43.890	4	1:37.935
6	17	塚越 広大	REAL SF14	Honda HR-417E	51	1:29:56.650	31.285	1:42.360	5	1:37.990
7	3	ニック・キャンディ	ORIENTALBIO KONDO SF14	TOYOTA R14A	51	1:29:57.940	32.575	1:43.797	15	1:38.703
8	36	中嶋 一貴	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	51	1:30:06.832	41.467	1:43.847	7	1:38.471
9	4	山下 健太	ORIENTALBIO KONDO SF14	TOYOTA R14A	51	1:30:10.792	45.427	1:43.261	13	1:46.650
10	18	小林 可夢偉	KCMG Elyse SF14	TOYOTA R14A	51	1:30:12.987	47.622	1:44.204	10	1:37.940
11	37	ジェームス・ロシター	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	51	1:30:14.725	49.360	1:42.235	18	1:39.143
12	6	松下 信治	DOCOMO DANDELION M6Y SF14	Honda HR-417E	51	1:30:15.535	50.170	1:44.182	12	1:38.238
13	2	国本 雄資	JMS P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	51	1:30:35.845	1:10.480	1:43.992	9	1:37.933
14	50	千代 勝正	B-Max Racing SF14	Honda HR-417E	51	1:30:38.552	1:13.187	1:44.408	17	1:39.133
15	8	大嶋 和也	UOMO SUNOCO SF14	TOYOTA R14A	51	1:30:54.702	1:29.337	1:44.429	16	1:38.941
16	7	ヒエトロ・フィッティパルディ	UOMO SUNOCO SF14	TOYOTA R14A	50	1:30:57.304	1Lap	1:44.944	19	1:39.671
17	64	ナレイン・カーティケヤン	TCS NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-417E	48	1:30:53.274	3Laps	1:43.702	11	1:37.982
18	15	福住 仁義	TEAM MUGEN SF14	Honda HR-417E	32	58:24.576	19Laps	1:43.011	2	1:36.991
20	平川 亮	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	24	42:41.258	27Laps	1:43.578	8	1:37.812	

●ファステストラップ:1'42.235(204.48km/h) No.37 ジェームス・ロシター VANTELIN KOWA TOM'S SF14 34周目 ●ポールポジション:1'36.911 No.16 山本尚貴 TEAM MUGEN SF14

\*No.20 次参加大会での3グリッド降格(全日本スーパーフォーミュラ選手権統一規則 第15条1.1)(危険なドライブ行為)

## 第2戦 オートポリス 5月13日 4.674km×54周=252.396km(天候不良のため決勝中止)

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Time	Delay	Best Time	Qualify Pos.	Qualify Time
20	平川 亮	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A						1	1'25.937
5	野尻 智紀	DOCOMO DANDELION M55 SF14	Honda HR-417E						2	1'26.038
6	松下 信治	DOCOMO DANDELION M6Y SF14	Honda HR-417E						3	1'26.226
3	ニック・キャンディ	ORIENTALBIO KONDO SF14	TOYOTA R14A						4	1'26.296
65	伊沢 拓也	TCS NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-417E						5	1'26.590
19	関口 雄飛	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A						6	1'26.625
16	山本 尚貴	TEAM MUGEN SF14	Honda HR-417E						7	1'26.714
18	小林 可夢偉	KCMG Elyse SF14	TOYOTA R14A						8	1'26.732
1	石浦 宏明	JMS P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A						9	1'26.476
4	山下 健太	ORIENTALBIO KONDO SF14	TOYOTA R14A						10	1'26.554
15	阪口 晴南	TEAM MUGEN SF14	Honda HR-417E						11	1'26.964
17	塚越 広大	REAL SF14	Honda HR-417E						12	1'36.021
36	中嶋 一貴	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A						13	1'38.963
50	千代 勝正	B-Max Racing SF14	Honda HR-417E						14	1'43.627
2	国本 雄資	JMS P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A						15	1'27.570
37	ジェームス・ロシター	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A						16	1'27.631
64	ナレイン・カーティケヤン	TCS NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-417E						17	1'27.645
8	大嶋 和也	UOMO SUNOCO SF14	TOYOTA R14A						18	1'28.647
7	トム・ディルマン	UOMO SUNOCO SF14	TOYOTA R14A						19	1'28.934

\*予選のみ実施。決勝は天候不良のため中止。

## 第3戦 スポーツランドSUGO 5月27日 3.704km×68周=251.88km 天候:晴れ コース:ドライ

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Time	Delay	Best Time	Qualify Pos.	Qualify Time
1	16	山本 尚貴	TEAM MUGEN SF14	Honda HR-417E	68	1:26:22.912	174.960km/h	1:08.449	6	1:05.313
2	3	ニック・キャンディ	ORIENTALBIO KONDO SF14	TOYOTA R14A	68	1:26:32.336	9.424	1:08.393	11	1:05.377
3	36	中嶋 一貴	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	68	1:26:33.023	10.111	1:08.525	7	1:05.498
4	7	トム・ディルマン	UOMO SUNOCO SF14	TOYOTA R14A	68	1:26:44.358	21.446	1:07.960	18	1:07.239
5	64	ナレイン・カーティケヤン	TCS NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-417E	68	1:26:44.968	22.056	1:08.625	14	1:05.584
6	18	小林 可夢偉	KCMG Elyse SF14	TOYOTA R14A	68	1:26:48.926	26.014	1:07.781	2	1:04.941
7	5	野尻 智紀	DOCOMO DANDELION M55 SF14	Honda HR-417E	68	1:26:51.849	28.937	1:08.441	1	1:04.694
8	4	山下 健太	ORIENTALBIO KONDO SF14	TOYOTA R14A	68	1:26:55.358	32.446	1:08.822	10	1:05.286
9	20	平川 亮	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	68	1:26:55.951	33.039	1:08.396	3	1:04.985
10	6	松下 信治	DOCOMO DANDELION M6Y SF14	Honda HR-417E	68	1:26:56.670	33.758	1:07.391	5	1:05.048
11	1	石浦 宏明	JMS P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	68	1:26:57.503	34.591	1:07.372	8	1:05.781
12	17	塚越 広大	REAL SF14	Honda HR-417E	68	1:27:03.366	40.454	1:07.894	12	1:05.497
13	19	関口 雄飛	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	68	1:27:03.473	40.561	1:06.300	16	1:06.063
14	65	伊沢 拓也	TCS NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-417E	67	1:26:36.690	1Lap	1:08.842		出走せず
15	8	大嶋 和也	UOMO SUNOCO SF14	TOYOTA R14A	67	1:27:13.987	1Lap	1:08.634	15	1:05.920
2	国本 雄資	JMS P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	46	1:01:21.573	22Laps	1:08.529	4	1:04.986	
50	千代 勝正	B-Max Racing SF14	Honda HR-417E	15	17:51.634	53Laps	1:09.442	13	1:05.562	
37	ジェームス・ロシター	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	15	17:52.157	53Laps	1:09.300	17	1:06.091	
15	ダニエル・ティクトゥム	TEAM MUGEN SF14	Honda HR-417E	14	18:16.397	54Laps	1:09.331	9	1:05.256	

●ファステストラップ:1'06.300(201.136km/h) No.19 関口雄飛 ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14 58周目 ●ポールポジション:1'04.694 No.5 野尻智紀 DOCOMO DANDELION M55 SF14

\*SC導入 14:42 ~ 14:56

\*No.65 ウォームアップ走行において、全日本スーパーフォーミュラ選手権統一規則 第21条12.(ピットアウト時の安全確認違反)により、罰金50,000円のペナルティ、及び罰戒とした。

## 第4戦 富士スピードウェイ 7月8日 4.563km×55周=250.965km 天候:曇り コース:ドライ

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Time	Delay	Best Time	Qualify Pos.	Qualify Time
1	3	ニック・キャンディ	ORIENTALBIO KONDO SF14	TOYOTA R14A	55	1:20:59.984	185.675km/h	1'25.682	1	1'38.098
2	1	石浦 宏明	JMS P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	55	1:21:04.270	4.286	1'25.810	3	1'38.786
3	2	国本 雄資	JMS P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	55	1:21:32.730	32.746	1'26.134	8	1'40.738
4	20	平川 亮	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	55	1:21:35.290	35.306	1'26.023	7	1'40.032
5	36	中嶋 一貴	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	55	1:21:43.496	43.512	1'26.903	4	1'38.840
6	19	関口 雄飛	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	55	1:21:48.553	48.569	1'26.401	6	1'39.049
7	8	大嶋 和也	UOMO SUNOCO SF14	TOYOTA R14A	55	1:21:48.981	48.997	1'26.844	13	1'25.237
8	16	山本 尚貴	TEAM MUGEN SF14	Honda HR-417E	55	1:21:53.798	53.814	1'26.797	2	1'38.289
9	6	松下 信治	DOCOMO DANDELION M6Y SF14	Honda HR-417E	55	1:21:57.424	57.440	1'27.006	10	1'24.346
10	7	トム・ディルマン	UOMO SUNOCO SF14	TOYOTA R14A	55	1:21:59.643	59.659	1'26.894	17	1'25.289
11	15	ダニエル・ティクトゥム	TEAM MUGEN SF14	Honda HR-417E	55	1:22:18.112	1'18.128	1'27.262	19	1'25.553
12	18	小林 可夢偉	KCMG Elyse SF14	TOYOTA R14A	55	1:22:25.649	1'25.665	1'27.125	14	1'31.798
13	17	塚越 広大	REAL SF14	Honda HR-417E	55	1:22:25.650	1'25.666	1'26.888	5	1'38.927
14	5	野尻 智紀	DOCOMO DANDELION M55 SF14	Honda HR-417E	55	1:22:26.337	1'26.353	1'26.818	15	1'25.001
15	65	伊沢 拓也	TCS NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-417E	54	1:21:16.401	1Lap	1'26.850	11	1'24.680
16	64	ナレイン・カーティケヤン	TCS NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-417E	54	1:21:17.797	1Lap	1'26.739	18	1'25.307
17	50	千代 勝正	B-Max Racing SF14	Honda HR-417E	54	1:21:18.930	1Lap	1'27.037	16	1'25.227
18	4	山下 健太	ORIENTALBIO KONDO SF14	TOYOTA R14A	53	1:18:57.307	2Laps	1'26.494	12	1'24.834
19	37	ジェームス・ロシター	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	53	(1:18:57.165+60秒)	2Laps	1'26.353	9	1'24.397

●ファステストラップ:1'25.682(191.718km/h) No.3 ニック・キャンディ ORIENTALBIO KONDO SF14 5周目 ●ポールポジション:1'38.098 No.3 ニック・キャンディ ORIENTALBIO KONDO SF14

\*No.37 全日本スーパーフォーミュラ選手権統一規則 第15条1.1)2.(衝突により他車のコースアウトを強いもの)違反により、競技結果に60秒加算及びペナルティポイント1を科す。

## 第5戦 ツインリンクもてぎ 8月19日 4.801km×52周=249.672km 天候:晴れ コース:ドライ

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Time	Delay	Best Time	Qualify Pos.	Qualify Time
1	1	石浦 宏明	JMS P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	52	1:24:19.998	177.63km/h	1'35.734	1	1'31.591
2	20	平川 亮	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	52	1:24:22.722	2.724	1'34.912	9	1'32.033
3	3	ニック・キャンディ	ORIENTALBIO KONDO SF14	TOYOTA R14A	52	1:24:46.452	26.454	1'34.849	5	1'31.853
4	6	松下 信治	DOCOMO DANDELION M6Y SF14	Honda HR-417E	52	1:24:49.573	29.575	1'35.709	3	1'31.761
5	8	大嶋 和也	UOMO SUNOCO SF14	TOYOTA R14A	52	1:24:58.816	38.818	1'35.015	15	1'33.773
6	4	山下 健太	ORIENTALBIO KONDO SF14	TOYOTA R14A	52	1:25:01.641	41.643	1'36.359	6	1'32.142
7	16	山本 尚貴	TEAM MUGEN SF14	Honda HR-417E	52	1:25:03.616	43.618	1'36.068	7	1'32.258
8	5	野尻 智紀	DOCOMO DANDELION M55 SF14	Honda HR-417E	52	1:25:10.751	50.753	1'36.231	2	1'31.642
9	37	ジェームス・ロシター	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	52	1:25:12.037	52.039	1'36.766	17	1'34.014
10	17	塚越 広大	REAL SF14	Honda HR-417E	52	1:25:24.528	1:04.530	1'36.076	8	1'32.413
11	64	ナレイン・カーティケヤン	TCS NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-417E	52	1:25:28.648	1:08.650	1'36.612	4	1'31.789
12	7	トム・ディルマン	UOMO SUNOCO SF14	TOYOTA R14A	52	1:25:29.147	1:09.149	1'35.389	11	1'32.125
13	18	中山 雄一	KCMG Elyse SF14	TOYOTA R14A	52	1:25:30.108	1:10.110	1'36.174	19	1'34.642
14	65	伊沢 拓也	TCS NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-417E	52	1:25:30.995	1:10.997	1'35.223	12	1'32.282
15	2	国本 雄資	JMS P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	52	1:25:39.078	1:19.080	1'35.731	10	1'32.095
16	19	関口 雄飛	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	52	1:25:39.673	1:19.675	1'36.704	16	1'33.814
17	15	福住 仁義	TEAM MUGEN SF14	Honda HR-417E</						

# 2018 SUPER FORMULA RACE RESULT

## 第6戦 岡山国際サーキット 9月9日 3.703km×68周=251.804km\* 天候:雨 コース:ウエット

\*悪天候のため、54周/最大70分に変更。

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Time	Delay	Best Time	Qualify Pos.	Qualify Time
1	19	関口 雄飛	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	34	1:11'57.682		1:29.558	1	1'24.446
2	18	小林 可夢偉	KCMG Elyse SF14	TOYOTA R14A	34	1:11'58.501	0.819	1:29.507	2	1'24.466
3	20	平川 亮	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	34	1:12'00.572	2.890	1:29.750	3	1'25.026
4	5	野尻 智紀	DOCOMO DANDELION M5S SF14	Honda HR-417E	34	1:12'01.680	3.998	1:30.359	4	1'25.095
5	3	ニック・キャシディ	ORIENTALBIO KONDO SF14	TOYOTA R14A	34	1:12'02.514	4.832	1:30.723	5	1'25.153
6	4	山下 健太	ORIENTALBIO KONDO SF14	TOYOTA R14A	34	1:12'04.537	6.855	1:30.933	6	1'25.340
7	1	石浦 宏明	JMS P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	34	1:12'05.690	8.008	1:31.142	9	1'26.718
8	2	国本 雄資	JMS P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	34	1:12'06.906	9.224	1:31.108	8	1'25.589
9	6	松下 信治	DOCOMO DANDELION M6Y SF14	Honda HR-417E	34	1:12'08.031	10.349	1:31.814	12	1'27.481
10	16	山本 尚貴	TEAM MUGEN SF14	Honda HR-417E	34	1:12'09.422	11.740	1:32.316	10	1'26.803
11	37	ジェームス・ロシター	TEAM MUGEN SF14	TOYOTA R14A	34	1:12'09.900	12.218	1:32.137	13	1'27.614
12	17	塚越 広大	REAL SF14	Honda HR-417E	34	1:12'14.066	16.384	1:31.858	7	1'25.429
13	64	ナレイン・カーティケヤン	TCS NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-417E	34	1:12'15.358	17.676	1:31.878	14	4'42.033
14	65	伊沢 拓也	TCS NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-417E	34	1:12'17.776	20.094	1:31.878	15	1'28.620
15	50	千代 勝正	B-Max Racing SF14	Honda HR-417E	34	1:12'18.934	21.252	1:33.032	17	1'29.939
16	8	大嶋 和也	UOMO SUNOCO SF14	TOYOTA R14A	34	1:12'21.071	23.389	1:31.858	11	1'26.811
17	36	中嶋 一貴	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	34	1:12'41.375	43.693	1:31.866	16	1'28.821
18	15	福住 仁嶺	TEAM MUGEN SF14	Honda HR-417E	30	1:03'12.523	4Laps	1:30.356	(18)	1'33.377
7		トム・ディルマン	UOMO SUNOCO SF14	TOYOTA R14A	21	45'58.422	13Laps	1:31.170	(19)	1'57.432

●ファステストラップ: 1'29.507(148.936km/h) No.18 小林可夢偉 KCMG Elyse SF14 14周目 ●ポールポジション: 1'24.446 No.19 関口雄飛 ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14

\*本決勝レースは、SCスタートとした(1~7周回まで)。 ※赤旗中断 15:13~16:10 ※SC導入 23~26周、32~34周

\*No.7 全日本スーパーフォーミュラ選手権統一規則 第15条1.(危険なドライブ行為)により、罰戒とする。 ※No.36 全日本スーパーフォーミュラ選手権統一規則 第15条1.(危険なドライブ行為)により、決勝結果に30秒を加算する。

\*No.15、7は予選不通過。全日本スーパーフォーミュラ選手権統一規則第27条9.決勝出走嘆願の受理により、決勝レースへの出走を認める。

## 第7戦 鈴鹿サーキット 10月28日 5.807km×43周=249.701km 天候:晴れ コース:ドライ

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Time	Delay	Best Time	Qualify Pos.	Qualify Time
1	16	山本 尚貴	TEAM MUGEN SF14	Honda HR-417E	43	1:14'40.652	200.62km/h	1:42.042	1	1'37.909
2	3	ニック・キャシディ	ORIENTALBIO KONDO SF14	TOYOTA R14A	43	1:14'41.306	0.654	1:41.668	4	1'38.435
3	4	山下 健太	ORIENTALBIO KONDO SF14	TOYOTA R14A	43	1:15'08.523	27.871	1:42.526	2	1'38.193
4	2	国本 雄資	JMS P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	43	1:15'08.874	28.222	1:42.297	9	1'38.597
5	36	中嶋 一貴	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	43	1:15'10.750	30.098	1:42.961	3	1'38.300
6	17	塚越 広大	REAL SF14	Honda HR-417E	43	1:15'15.634	34.982	1:42.943	5	1'38.524
7	6	松下 信治	DOCOMO DANDELION M6Y SF14	Honda HR-417E	43	1:15'16.196	35.544	1:42.934	10	1'38.680
8	19	関口 雄飛	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	43	1:15'17.198	36.546	1:41.205	17	1'39.717
9	5	野尻 智紀	DOCOMO DANDELION M5S SF14	Honda HR-417E	43	1:15'42.044	1'01.392	1:42.235	(19)	2'04.858
10	50	千代 勝正	B-Max Racing SF14	Honda HR-417E	43	1:15'42.448	1'01.796	1:43.215	18	1'39.717
11	1	石浦 宏明	JMS P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	43	1:15'44.517	1'03.865	1:43.832	11	1'38.761
12	15	福住 仁嶺	TEAM MUGEN SF14	Honda HR-417E	43	1:15'45.962	1'05.310	1:42.988	13	1'38.888
13	18	小林 可夢偉	KCMG Elyse SF14	TOYOTA R14A	43	1:15'56.380	1'15.728	1:42.989	7	1'42.751
14	8	大嶋 和也	UOMO SUNOCO SF14	TOYOTA R14A	43	1:15'57.305	1'16.653	1:43.552	12	1'38.786
15	7	トム・ディルマン	UOMO SUNOCO SF14	TOYOTA R14A	43	1:15'57.632	1'16.980	1:43.534	15	1'39.492
16	65	伊沢 拓也	TCS NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-417E	43	1:16'08.770	1'28.118	1:44.225	16	1'39.654
17	64	ナレイン・カーティケヤン	TCS NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-417E	43	1:16'14.683	1'34.031	1:43.661	8	1'58.156
37		ジェームス・ロシター	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	33	57'35.684	10Laps	1:43.086	14	1'39.220
20		平川 亮	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	32	56'02.576	11Laps	1:42.039	6	1'38.553

●ファステストラップ: 1'41.205(206.56km/h) No.19 関口雄飛 ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14 36周目 ●ポールポジション: 1'37.909 No.16 山本尚貴 TEAM MUGEN SF14

\*No. 64 ドライビングスルー(全日本スーパーフォーミュラ選手権最終戦特別規則書第31条(ピットレーンの速度制限))

# 1996-2018 DRIVER & TEAM POINT RANKING

# 1996

TEAM  
DRIVER

## 1996 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	X-JAPAN Racing Team LeMans	78	6	ANABUKI 童夢無限 / avex 童夢無限	21
2	かもめサービスIMPUL/カルソニックIMPUL	38	7	神奈川クリニック STELLAR	9
3	PIAA NAKAJIMA RACING	35	8	ADVAN/バルチェッカーズ / バルチェッカーズ	8
4	SHIONOGI TEAM NOVA	35	9	NAVI CONNECTION RACING TEAM	5
5	FUNAI SUPER AGURI	28	10	TEAM 5ZIGEN	3

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台が得点対象となる。

## 1996 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Car	Engine	Tire	Rd.01 鈴鹿 4/28	Rd.02 MINE 5/12	Rd.03 富士 5/26	Rd.04 十勝 6/23	Rd.05 鈴鹿 7/7	Rd.06 SUGO 8/4	Rd.07 富士 9/1	Rd.08 MINE 9/15	Rd.09 鈴鹿 9/29	Rd.10 富士 10/20	Total	
1	25	R.シューマッハー	X-JAPAN Racing Team LeMans	レイナード96D	無限MF308	BS	4	10	(19)*	10	3	(R)	(R)	10	3*	(R)	40	
2	24	服部 尚貴	X-JAPAN Racing Team LeMans	レイナード96D	無限MF308	BS	(8)	(R)	6	4	4	(8)	10*	4	10	(R)	38	
3	19	星野 一義	カルソニック RACING TEAM with IMPUL	ローラT96/52	無限MF308	BS	10	(R)	4	3	2	6	(R)	(R)	6	(R)*	31	
4	64	高木 虎之介	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード96D	無限MF308	BS	(R)*	4	(R)	(R)*	10*	10*	(R)	(R)	1	(R)	25	
5	10	N.フォンタナ	SHIONOGI TEAM NOVA	ローラT96/51	無限MF308	BS	(14)	6	10	(R)	(8)	(R)	6	(R)	(11)	(R)	22	
6	8	中野 信治	TEAM avex 童夢 with 無限	童夢F104i	無限MF308	BS	6	(13)	(R)	(9)	1	(7)	4	6	(9)	3	20	
7	55	金石 勝智	FUNAI SUPER AGURI	レイナード95D、96D	無限MF308	BS	1	(R)	3	2	(7)	(R)	3	(R)	(R)	(R)	10	19
8	9	P.デ・ラ・ロサ	SHIONOGI TEAM NOVA	ローラT96/51	無限MF308	BS	2	(7)	1	1	(R)	(11)	1	(R)	2	6	13	
9	65	黒澤 琢弥	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード96D	無限MF308	BS	(R)	(8)	(15)	(7)	6	2	(8)	2	(8)	(R)	10	
10	56	本山 哲	FUNAI SUPER AGURI	レイナード95D、94D	無限MF308	BS	(7)	(R)	2	(17)	(12)	4	2	1	(R)	(R)	9	
11	7	影山 正美	ADVAN/バルチェッカーズ	ローラT95/50 レイナード96D	無限MF308	YH	(10)	2	(R)	6	(17)	(15)	(9)	(11)	(R)	(R)	8	
12	1	鈴木 利男	かもめサービス RACING TEAM with IMPUL	ローラT96/52、T94/50	無限MF308	BS	(18)	(R)	(12)	(11)	(9)	(10)	(7)	3*	4	(R)	7	
13	20	A.ギルバートスコット	神奈川クリニック STELLAR	レイナード96D	無限MF308	BS	(R)	(R)	(7)	(15)	(R)	3	(R)	(7)	(R)	2	5	
14	27	影山 正彦	NAVI CONNECTION RACING TEAM	レイナード95D、96D	無限MF308	BS	(R)	(R)	(R)	(R)	(16)	(12)	(R)	(9)	(7)	4	4	
15	21	M.クルム	神奈川クリニック STELLAR	レイナード96D、95D	無限MF308	BS	3	1*	(11)	(16)	(11)	(9)	(R)	(R)	(R)	(R)	4	
16	5	M.アピチュラ	TEAM 5ZIGEN	レイナード95D、96D	ジャッドKV-II	YH	(12)	3	(8)	(8)	(14)	(13)	(12)	(R)	(10)	(R)	3	
17	28	近藤 真彦	NAVI CONNECTION RACING TEAM	レイナード94D、95D	無限MF308	BS	(R)	(9)	(16)	(14)	(R)	(R)	(14)	—	(R)	1	1	
17	2	山本 勝巳	TEAM ANABUKI 童夢 with 無限	童夢F104i	無限MF308	BS	(9)	(R)	(10)	(R)	(R)	1	(R)	(14)	(R)	(R)	1	
72	川本 篤	ASAHI KIKO SPORTS	ローラT93/50	コスワースDFV	BS	(R)	(11)	(R)	(13)	(19)	(16)	(13)	(R)	(R)	(7)	0	0	
28	T.クリステンセン	NAVI CONNECTION RACING TEAM	レイナード95D	無限MF308	BS	—	—	—	—	—	—	—	(8)	—	—	—	0	
6	光貞 秀俊	TEAM 5ZIGEN	ローラT94/50 レイナード95D	ジャッドKV-II	YH	(R)	(R)	(9)	(R)	(10)	(14)	(10)	(12)	(R)	(R)	(R)	0	
31	岡田 秀樹	チーム ガルウイング	ローラT95/50	無限MF308	BS	(11)	(R)	(17)	(10)	(20)	(R)	(11)	(10)	(R)	(R)	(R)	0	
17	大西 太一郎	バルチェッカーズ	ローラT94/50	無限MF308	YH	(15)	(10)	(14)	(18)	(15)	(R)	(R)	(R)	(14)	(R)	(R)	0	
30	田嶋 栄一	チーム ガルウイング	ローラT94/50	無限MF308	BS	(13)	(12)	(13)	(12)	(18)	(R)	(R)	(R)	(R)	(R)	(NS)	0	
12	羽根 幸浩	スラムビュティハウス CERUMO	ローラT94/50	無限MF308	BS	(16)	(R)	(R)	(R)	(13)	(R)	(16)	(13)	(12)	(R)	(R)	0	
15	田中 哲也	ニホンロード ヤマダ	ローラT93/50	無限MF308	YH	—	—	—	—	—	(R)	—	—	(13)	—	—	0	
73	玉中 哲二	ASAHI KIKO SPORTS	ローラT93/50	コスワースDFV	BS	(17)	(R)	(R)	(R)	(R)	(R)	(R)	(15)	(R)	(R)	(R)	0	
15	山田 政夫	ニホンロード ヤマダ	ローラT93/50	無限MF308	YH	(落)	(落)	(18)	(落)	(落)	—	(15)	(落)	—	(R)	0		

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、落=予選不通過、—は不出場。●\*はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。  
●タイヤ略号:BS=ブリヂストン、YH=ヨコハマ。

# 1997

TEAM  
DRIVER

## 1997 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	SHIONOGI TEAM NOVA	89	7	FUNAI SUPER AGURI	17
2	TEAM IMPUL	44	8	TEAM TMS	12
3	Team LeMans	23	9	オートテック STELLAR/STP STELLAR	6
4	PIAA NAKAJIMA RACING	20	10	かもめサービスMIRAI/スーパーノヴァMIRAI	5
5	TEAM CERUMO	20	11	TEAM ANABUKI 童夢 with 無限	4
6	NAVI CONNECTION RACING TEAM	19	12	エースケー アスカ	1

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台が得点対象となる。

## 1997 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Car	Engine	Tire	Rd.01 鈴鹿 4/27	Rd.02 MINE 5/18	Rd.03 富士 6/1	Rd.04 鈴鹿 7/6	Rd.05 SUGO 8/3	Rd.06 富士 8/31	Rd.07 MINE 9/14	Rd.08 もてぎ 9/28	Rd.09 富士 10/19	Rd.10 鈴鹿 11/9	Total
1	9	P.デ・ラ・ロサ	SHIONOGI TEAM NOVA	ローラT97/51	無限MF308	BS	10	10	6	4	10*	10*	6	10*	6	10*	82
2	19	黒澤 琢弥	TEAM IMPUL	ローラT96/52	無限MF308	BS	6	6	10*	(R)	(R)	(R)	(R)	(R)	(R)	6	28
3	1	N.フォンタナ	Team LeMans	レイナード96D、97D	無限MF308	BS	(9)	(8)	1	(R)	(7)	6	10	4	(R)	(R)	21
4	11	光貞 秀俊	TEAM CERUMO	ローラT96/52	無限MF308	BS	4	(7)	3	3	(R)	4	4	(9)	2	—	20
5	27	影山 正美	NAVI CONNECTION RACING TEAM	レイナード96D、97D	無限MF308	BS	(11)	(9)	(11)	2	1	3	(7)	6	4	3	19
6	64	高木 虎之介	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード97D	無限MF308	BS	(R)*	(R)*	4	10*	(R)	(R)	2*	(R)	(R)	2	18
7	20	影山 正彦	TEAM IMPUL	レイナード96D ローラT95/50	無限MF308	BS	(R)	(R)	2	6	4	(R)	(15)	(R)	(12)	4	16
8	18	R.ファーマン	TEAM TMS	レイナード97D	無限MF308	BS	(R)	3	(15)	1	6	(13)	(R)	2	(R)	(11)	12
9	55	金石 勝智	FUNAI SUPER AGURI	レイナード96D	無限MF308	BS	(7)	(R)	(R)	(10)	(R)	(18)	(8)	(R)	10*	(R)	10
10	10	飯田 章	SHIONOGI TEAM NOVA	ローラT97/51	無限MF308	BS	1	4	(R)	(7)	(R)	2	(10)	(11)	(R)	(13)	7
11	56	本山 哲	FUNAI SUPER AGURI	レイナード94D、97D	無限MF308	BS	3	(R)	(R)	(R)	(R)	1	(R)	3	—	—	7
12	35	M.アピチュラ	オートテック STELLAR	レイナード96D	無限MF308	BS	—	—	—	(8)	2	(8)	3	(R)	1	(8)	6
13	33	鈴木 利男	かもめサービス with MIRAI	レイナード97D、96D	無限MF308	BS	(8)	2	(7)	(R)	3	(16)	(9)	(8)	(R)	(9)	5
14	8	脇阪 寿一	TEAM ANABUKI 童夢 with 無限	童夢F104R	無限MF308	BS	(12)	1	(R)	(R)	3	(7)	(11)	3	(NS)	(R)	4
15	65	山西 康司	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード97D	無限MF308	BS	2	(R)	(8)	(R)	(R)	(R)	(R)	(17)	(R)	(7)	2
16	2	E.トゥエロ	Team LeMans	レイナード96D、97D	無限MF308	BS	(R)	(R)	(9)	(11)	(R)	1	—	—	—	—	1
16	21	田中 哲也	エースケー アスカ	ローラT95/50	無限MF308	BS	(R)	—	—	—	(R)	(11)	(14)	(R)	(13)	1	1
35	11	M.クルム	オートテック STELLAR Team LeMans TEAM CERUMO	レイナード96D レイナード97D ローラT96/52	無限MF308	BS	(R)	(13)	(R)	—	—	—	—	1	—	(10)	1
28	山本 勝巳	NAVI CONNECTION RACING TEAM	レイナード95D、97D、96D	無限MF308	BS	(10)	(R)	(R)	(9)	(R)	(12)	(R)	(14)	(7)	(R)	(R)	0
34	A.ボルドリーニ	STP STELLAR	ローラT96/51	無限MF308	BS	—	—	—	—	—	—	(13)	(7)	—	(R)	0	
3	川本 篤	ASAHI KIKO SPORTS	レイナード96D	無限MF308	BS	(R)	(10)	(16)	(15)	(9)	(R)	(12)	(15)	(8)	(14)	(R)	0
17	近藤 真彦	TEAM TMS	レイナード97D	無限MF308	BS	(15)	(R)	(12)	(14)	(8)	(14)	(R)	(13)	(11)	(R)	(R)	0
6	田嶋 栄一	TEAM 5ZIGEN	レイナード96D	ジャッドKV-II	YH	—	—	—	(13)	(R)	(9)	(R)	(R)	(R)	(12)	(R)	0
2	立川 祐隆	Team LeMans	レイナード96D、97D	無限MF308	BS	—	—	—	—	—	—	—	—	(9)	(R)	(R)	0
5	M.グーセン	TEAM 5ZIGEN	レイナード96D	ジャッドKV-II 無限MF308	YH	(R)	(R)	(R)	(R)	(R)	(10)	(R)	(10)	(R)	(R)	(R)	0
63	D.マラガム	SRI LANKA with TEAM LEYJUN	レイナード96D	無限MF308	BS	(R)	(11)	(14)	(R)	(10)	—	—	—	—	—	—	0
12	柴原 真介	TEAM CERUMO	ローラT94/50	無限MF308	BS	—	—	—	—	—	—	—	(12)	(10)	(R)	0	
6	R.ヴァルタネン	TEAM 5ZIGEN	レイナード95D	ジャッドKV-II	YH	(R)	(R)	(10)	—	—	—	—	—	—	—	—	0
34	A.ギルバートスコット	オートテック STELLAR	ローラT96/51	無限MF308	BS	—	—	—	(12)	—	(R)	—	—	(14)	—	—	0
37	山田 政夫	タカギB-1 RACING TEAM	ローラT94/50	無限MF308	BS	(R)	(12)	(R)	(R)	(失)	—	(落)	(落)	(落)	(落)	(落)	0
36	玉中 哲二	タカギB-1 RACING TEAM	ローラT95/50	無限MF308	BS	(13)	(R)	(13)	(16)	(R)	(R)	(R)	(R)	(落)	(落)	(落)	0
12	S.カヴァナ	TEAM CERUMO	レイナード95D	コスワースAC	BS	(14)	(R)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
63	OSAMU	TEAM LEYJUN	レイナード96D、95D	無限MF308	BS	—	—	—	—	—	(15)	(16)	(16)	(R)	(16)	(R)	0
32	V.ンスピリ	スーパーノヴァ with MIRAI	レイナード97D	無限MF308	BS	—	—	—	—	—	—	—	—	(R)	(15)	(R)	0
62	戸田 哲史	SRI LANKA with TEAM LEYJUN	レイナード94D	無限MF308	BS	—	—	(17)	(R)	(17)	(17)	(17)	(17)	—	—	—	0
34	M.マルティネーニ	オートテック STELLAR	ローラT96/51	無限MF308	BS	—	—	(R)	—	—	—	—	—	—	—	—	0
56	道上 龍	FUNAI SUPER AGURI	レイナード95D	無限MF308	BS	—	—	—									

# 1996-2018 DRIVER & TEAM POINT RANKING

# 1998

TEAM

---

DRIVER

## 1998 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	LEMONEd Racing Team LeMans	66	6	JACCS MOONCRAFT M.S.P	11
2	SHIONOGI TEAM NOVA	51	7	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	11
3	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	38	8	PIAA NAKAJIMA RACING	10
4	MAZIORA TEAM IMPUL	27	9	TEAM TMS	2
5	TEAM SZIGEN	17	10	BE BRIDES RACING	1

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

## 1998 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Car	Rd.01 鈴鹿 4/19	Rd.02 MINE 5/17	Rd.03 富士 5/31	Rd.04 もてぎ 6/14	Rd.05 鈴鹿 7/5	Rd.06 SUGO 8/2	Rd.07 富士 8/30	Rd.08 MINE 9/20	Rd.09 富士 10/18	Rd.10 鈴鹿 11/29	Total
1	8	本山 哲	LEMONEd Racing Team LeMans	レイナード97D	(R)	10	10*	6	(R)	3		10	6	(R)*	45
2	1	影山 正美	SHIONOGI TEAM NOVA	ローラT97/51	6	(10)	(R)	4	4	10*		1	3*	10	38
3	56	脇阪 寿一	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ローラT97/51	(R)	6*	(R)	10	3	(R)		(R)	(R)	6	25
4	20	影山 正彦	MAZIORA TEAM IMPUL	ローラT96/52	10	(R)	(R)	(8)	10*	(R)		(R)	(R)	1	21
5	7	N.フォンタナ	LEMONEd Racing Team LeMans	レイナード97D	4	(R)	1	(R)*	(8)	(R)		6	10	(8)	21
6	5	M.ゲーセン	TEAM SZIGEN	レイナード97D	1	3	(R)	(R)	6	(R)		4	(R)	3	17
7	2	R.ファーマン	SHIONOGI TEAM NOVA	ローラT96/51, T97/51 Gフォース98N	(12)*	(R)	(R)	(14)	(R)	6		3	4	(7)	13
8	55	金石 勝智	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ローラT98/51	3	2	6	(R)	(R)	(7)		2	(10)	(R)	13
9	14	道上 龍	JACCS MOONCRAFT M.S.P	レイナード96D	(7)	4	3	(9)	(R)	(R)		(R)	(R)	4	11
10	11	野田 英樹	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	ローラT98/51	2	(R)	2	1	(R)	4		(R)*	(9)	(R)	9
11	65	T.コロネル	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード97D	(8)	1	(R)	3	2	2		(R)	(R)	(14)	8
12	19	黒澤 琢弥	MAZIORA TEAM IMPUL	ローラT98/51	(R)	(R)	4	(R)	(R)	(R)	*	(R)	(R)	2	6
13	12	飯田 章	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	ローラT96/52	-	-	(8)	(R)	(R)	(9)		(R)	2	(12)	2
13	18	立川 祐路	TEAM TMS	レイナード97D	-	-	(9)	2	(R)	(R)		(R)	(R)	(9)	2
15	64	松田 次生	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード97D	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
15	64	山西 康司	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード97D	(R)	(7)	(R)	(R)	-	1	-	(R)	(R)	(11)	1
15	21	田中 哲也	BE BRIDES RACING	ローラT95/50	(R)	(R)	(7)	(R)	(R)	(11)		(R)	1	(16)	1
17	近藤 真彦	TEAM TMS	レイナード97D	(9)	(8)	(11)	(10)	(7)	(8)		(7)	(7)	(R)	0	0
6	脇阪 薫一	TEAM SZIGEN	レイナード96D	(10)	(R)	(10)	(7)	(R)	(12)	(R)		(R)	(R)	(10)	0
22	石川 朗	BE BRIDES RACING	レイナード94D	(R)	(R)	(R)	(11)	(9)	(10)	(R)		(R)	(8)	(15)	0
36	玉中 哲二	タカギ B-1 RACING TEAM	ローラT96/51	(R)	(11)	(14)	(13)	(R)	(R)		(8)	(R)	(R)	(17)	0
63	OSAMU	TEAM LEYJUN	レイナード95D, 97D	(13)	-	-	(R)	(NS)	(13)		(9)	(R)	(R)	(18)	0
3	川本 篤	ASAHI KIKO SPORTS	レイナード96D	(R)	(9)	(R)	(R)	(R)	(R)		(R)	(R)	(R)	(13)	0
62	柴原 真介	TEAM LEYJUN	レイナード95D, 96D	(11)	(R)	(12)	(12)	(R)	(R)		(10)	(11)	(R)	0	0
35	D.マラカムワ	STELLAR INTERNATIONAL	レイナード96D	-	-	-	-	-	-	(落)		(R)	(12)	-	0
63	大西 太一郎	TEAM LEYJUN	レイナード95D	-	(R)	(13)	-	-	-	-		-	-	-	0
18	高橋 毅	TEAM TMS	レイナード97D	(14)	(R)	-	-	-	-	-		-	-	-	0
37	山田 政夫	タカギ B-1 RACING TEAM	ローラT94/50, T95/50	-	(R)	-	(15)	(R)	(落)	-	-	-	-	-	0
35	徳田 季晴	KYOETSU STELLAR	レイナード96D	(R)	-	-	-	-	-	-		-	-	-	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、落=予選不通過、-は不出場。●\*はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。  
●第7戦富士は悪天候のため決勝は中止。●エンジンは全車無限MF308を使用。タイヤはブリヂストンのワンメイク。

# 1999

TEAM

---

DRIVER

## 1999 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	PIAA NAKAJIMA RACING	81	6	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	17
2	UNLIMITED RACING Team LeMans	52	7	TEAM LEYJUN	16
3	BE BRIDES IMPUL	24	8	TEAM TMS	11
4	SHIONOGI TEAM NOVA	22	9	SPEEDMASTER MOONCRAFT	10
5	TEAM SZIGEN	21	10	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	6

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

## 1999 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Car	Rd.01 鈴鹿 4/18	Rd.02 もてぎ 5/9	Rd.03 MINE 5/23	Rd.04 富士 6/6	Rd.05 鈴鹿 7/4	Rd.06 SUGO 8/1	Rd.07 富士 9/5	Rd.08 MINE 9/19	Rd.09 もてぎ 10/3	Rd.10 鈴鹿(東) 11/14	Total
1	64	T.コロネル	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード99L	6	(R)*	4	10	6	10*	(R)*	4	(R)	4	50
2	1	本山 哲	UNLIMITED RACING Team LeMans	レイナード99L	10	6	10*	(R)	(R)*	6	4	(R)	10*	(R)	46
3	65	光貞 秀俊	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード99L	4*	10	(8)	(10)	2	(11)	3	10	2	(9)	31
4	9	R.ファーマン	SHIONOGI TEAM NOVA	GフォースGF03	(R)	4	6	(9)	(R)	1	(10)	(9)	(8)	10*	21
5	6	M.クルム	TEAM SZIGEN	レイナード99L	-	2	(R)	4	(11)	3	(9)	3	(R)	6	18
6	19	影山 正美	BE BRIDES IMPUL	ローラB99/51 レイナード99L	(R)	(R)	1	(12)	10	(R)	(R)	(R)	3	3	17
7	56	脇阪 寿一	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ローラB99/51 レイナード99L	(R)	(15)	(10)	(NS)	(9)	2	6	4	(11)	4	16
8	62	P.ダンブレック	TEAM LEYJUN	レイナード99L	3	1	2	6*	(R)	(R)	2	2	(10)	(10)	16
9	18	黒澤 琢弥	TEAM TMS	レイナード99L	(R)	(R)	(12)	2	4	4	-	-	-	-	10
10	14	道上 龍	SPEEDMASTER MOONCRAFT	ローラB99/51	1	(8)	(7)	(8)	(NS)	(R)	(7)	(R)	6	2	9
11	20	野田 英樹	BE BRIDES IMPUL	ローラB99/51 レイナード99L	(R)	(16)	(13)	(14)	1	(R)	(R)	6	(9)	(11)	7
12	2	山西 康司	UNLIMITED RACING Team LeMans	レイナード99L	(NS)	(NS)	3	3	(8)	(9)	(8)	(R)	(16)	(R)	6
13	11	立川 祐路	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	レイナード99L	2	3	(R)	(7)	(7)	(R)	(R)	1	(8)	6	6
14	6,5	田中 哲也	TEAM SZIGEN	レイナード99L	(R)	-	-	-	3	(R)	(11)	(R)	(14)	(18)	3
15	55	金石 勝智	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ローラB99/51 レイナード99L	(9)	(R)	(R)	(11)	(R)	(8)	1	(R)	(R)	(7)	1
15	15	影山 正彦	SPEEDMASTER MOONCRAFT	ローラB99/51	(R)	(12)	(R)	(13)	(R)	(13)	(R)	1	(12)	(13)	1
15	10	加藤 寛規	SHIONOGI TEAM NOVA	GフォースGF03	(R)	(10)	(R)	(15)	(10)	(12)	(12)	(R)	(7)	1	1
15	17	D.シュワガー	TEAM TMS	レイナード99L	(R)	(7)	(R)	1	(R)	(7)	-	-	-	-	1
3	川本 篤	ASAHI KIKO SPORTS	レイナード99L	(8)	(R)	(11)	(18)	(13)	(R)	(13)	(7)	(R)	(R)	(16)	0
12	飯田 章	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	レイナード99L	(7)	(R)	(R)	(16)	(R)	(10)	(14)	(R)	(13)	(12)	0	0
63	柴原 真介	TEAM LEYJUN	ローラB99/51	-	-	-	-	-	-	(R)	(8)	(15)	(14)	0	0
68	R.デルフラ	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	ローラB99/51	(R)	(11)	(9)	(17)	(12)	(14)	(R)	(NS)	(R)	(15)	0	0
5	脇阪 薫一	TEAM SZIGEN	レイナード99L	(R)	(9)	(R)	-	-	-	-	-	-	-	0	0
36	玉中 哲二	TAKAGI B-1 RACING TEAM	ローラB99/51 レイナード99L	(R)	-	(14)	(19)	(14)	(R)	(R)	(10)	(R)	(17)	0	0
32	近藤 真彦	MIRAI	ローラB99/51	(R)	(13)	(R)	-	-	-	-	-	-	-	0	0
63	OSAMU	TEAM LEYJUN	レイナード99L	(R)	(14)	(R)	-	-	-	-	-	-	-	0	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、-は不出場。●\*はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。  
●エンジンは全車無限MF308を使用。タイヤはブリヂストンのワンメイク。

# 1996-2018 DRIVER & TEAM POINT RANKING

# 2000

TEAM

---

DRIVER

## 2000 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	PIAA NAKAJIMA RACING	113	6	Team Morinaga NOVA	9
2	TEAM SZIGEN	45	7	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	9
3	TEAM IMPUL	34	8	TEAM LEYJUN	5
4	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	27	9	MOONCRAFT	2
5	Team LeMans	16			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

## 2000 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Car	Rd.01 鈴鹿 3/26	Rd.02 もてぎ 4/16	Rd.03 MINE 5/21	Rd.04 富士 6/4	Rd.05 鈴鹿SP 7/2	Rd.06 SUGO 7/30	Rd.07 もてぎ 8/20	Rd.08 富士 9/3	Rd.09 MINE 9/17	Rd.10 鈴鹿 11/5	Total
1	0	高木 虎之介	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード2KL	10	10*	(R)*	10	10*	10*	10*	10	10*	6	86
2	6	M.クルム	TEAM SZIGEN	レイナード99L	6	6	6	(NS)*	4	2	6	2	(R)	3	35
3	19	本山 哲	TEAM IMPUL	レイナード99L	1	3	(R)	(8)	1	3	4	6*	6	10*	34
4	2	松田 次生	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード99L	(12)	4	10	(16)	2	(11)	3	(R)	4	4	27
5	7	野田 英樹	Team LeMans	レイナード99L	(R)	(10)	4	(15)	6	(R)	2	1	(17)	2	15
6	55	金石 勝智	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	レイナード99L	3	1	2	4	(R)	4	(11)	(R)	—	—	14
7	56	脇阪 寿一	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	レイナード99L	(11)	2	3	6	(8)	(R)	(9)	(R)	1	1	13
8	5	服部 尚貴	TEAM SZIGEN	レイナード99L	4	(7)	1	2	3	(R)	(7)	(8)	(8)	(9)	10
9	9	R.ファーマン	Team Morinaga NOVA	GフォースGF03B	(R)*	(11)	(R)	1	(7)	6	(10)	(13)	2	(R)	9
10	11	立川 祐路	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	レイナード99L	(8)	(R)	(R)	3	(R)	(R)	(R)	3	3	(12)	9
11	62	柴原 真介	TEAM LEYJUN	レイナード2KL	(9)	(12)	(9)	(7)	(9)	1	(R)	4	(13)	(14)	5
12	14	脇阪 薫一	MOONCRAFT	レイナード99L	2	(8)	(R)	(R)	(R)	(8)	(13)	(9)	(R)	(8)	2
13	8	五十嵐 勇大	Team LeMans	レイナード99L	(R)	(15)	(R)	(12)	(12)	(R)	1	(10)	(16)	(R)	1
10	10	山西 康司	Team Morinaga NOVA	GフォースGF03B	(R)	(9)	(7)	(11)	(14)	(R)	(R)	(R)	(7)	(7)	0
3	近藤 真彦	Olympic KONDO Racing Team	レイナード99L	(7)	(14)	(R)	(13)	(13)	(7)	(R)	(R)	(11)	(10)	0	0
68	道上 龍	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	レイナード2KL	(R)	(13)	(R)	(R)	(10)	(R)	(8)	(7)	(9)	(R)	0	0
12	J.ヴェルチュール	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	レイナード99L	(13)	(R)	(8)	(R)	(R)	(R)	(12)	(11)	(12)	(11)	0	0
21	A.ユーン	TEAM MALAYSIA	レイナード99L	(NS)	(R)	(R)	(9)	(11)	(9)	(R)	(12)	(R)	(R)	0	0
36	玉中 哲二	TAKAGI B-1 RACING TEAM	レイナード99L	(R)	(R)	(10)	(10)	(15)	(10)	(R)	(R)	(14)	(R)	0	0
63	OSAMU	TEAM LEYJUN	レイナード99L GフォースGF03	(10)	(R)	(11)	(14)	(R)	—	(14)	(14)	(15)	(13)	0	0
4	土屋 武士	Olympic KONDO Racing Team	GフォースGF03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(10)	—	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、—は不出場。●\*はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。  
●エンジンは全車無限MF308を使用。タイヤはブリヂストンのワンメイク。

# 2001

TEAM

---

DRIVER

## 2001 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	TEAM SZIGEN	53	6	MOONCRAFT	22
2	excite TEAM IMPUL	51	7	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	16
3	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	40	8	Team Morinaga NOVA	5
4	PIAA NAKAJIMA RACING	37	9	Team LeMans	2
5	Olympic KONDO Racing Team	34			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

## 2001 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Car	Rd.01 鈴鹿 3/25	Rd.02 もてぎ 4/22	Rd.03 MINE 5/20	Rd.04 富士 6/3	Rd.05 鈴鹿SP 7/1	Rd.06 SUGO 7/29	Rd.07 富士 9/2	Rd.08 MINE 9/23	Rd.09 もてぎ 10/21	Rd.10 鈴鹿 11/18	Total
1	19	本山 哲	excite TEAM IMPUL	レイナード01L	(R)	(9)*	10*	(R)*	10	10	3	10	6	(R)	49
2	5	服部 尚貴	TEAM SZIGEN	レイナード99L	10*	10	2	10	(8)	(7)	(12)	1	(18)	(10)	33
3	3	立川 祐路	Olympic KONDO Racing Team	レイナード01L	(13)	6	(11)	(R)	3	3	6	4	2	6	30
4	2	R.ファーマン	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード99L	2	(R)	6	1	(R)	(R)	(7)	(8)	10*	10	29
5	55	脇阪 寿一	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	レイナード99L	6	(10)	(12)	(14)	1	6*	10*	(失*)	(16)	(R)	23
6	14	道上 龍	MOONCRAFT	レイナード01L	—	(R)	(10)	4	6*	4	(R)	(R)	4	4	22
7	6	M.クルム	TEAM SZIGEN	レイナード99L、01L	(R)	3	3	6	(R)	1	4	(R)	(7)	3	20
8	56	土屋 武士	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	レイナード99L	(10)	(11)	4	(R)	4	(R)	(14)	6	1	2	17
9	11	影山 正美	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	レイナード99L	3	2	1	2	(R)	(11)	1	3	(8)	(7)	12
10	1	松田 次生	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード2KL	(R)	4	(8)	(R)	2	2	(R)	(R)	(9)	(9)*	8
11	10	A.クート	Team Morinaga NOVA	GフォースGF03C レイナード99L	(R)	(R)	(R)	(12)	(R)	(R)	2	(R)	3	(14)	5
12	12	荒 聖治	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	レイナード99L	4	(R)	(R)	(R)	(9)	(10)	(8)	(R)	(12)	(R)	4
12	4	金石 勝智	Olympic KONDO Racing Team	レイナード99L	(7)	1	(15)	3	(R)	(9)	(11)	(R)	(11)	(13)	4
14	7	山西 康司	Team LeMans	レイナード99L	—	—	—	—	—	—	(10)	2	(10)	(R)	2
14	20	N.カーテイヤン	excite TEAM IMPUL	レイナード99L	1	(7)	(9)	(R)	(R)	(13)	(9)	(R)	(14)	1	2
7	A.ユーン	Team LeMans	レイナード99L	(11)	(R)	(7)	(7)	(10)	(R)	—	—	—	—	0	0
8	五十嵐 勇大	Team LeMans	レイナード99L	(9)	(R)	(R)	(11)	(7)	(8)	(17)	(R)	(17)	(8)	0	0
36	玉中 哲二	TAKAGI B-1 CAR倶楽部	レイナード2KL、99L	(15)	(NS)	(14)	(8)	(R)	(15)	(15)	(7)	(15)	(R)	0	0
9	R.ライアン	Team Morinaga NOVA	GフォースGF03	(8)	(8)	(R)	(9)	(11)	(12)	(R)	(R)	(13)	(12)	0	0
37	影山 正彦	TAKAGI B-1 CAR倶楽部	レイナード99L	(12)	(R)	(R)	(10)	(NS)	(14)	(16)	(R)	(R)	(R)	0	0
68	野田 英樹	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	レイナード2KL	(R)	(R)	(R)	(13)	(12)	(R)	(13)	(R)	(R)	(11)	0	0
69	J.ヴェルチュール	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	レイナード99L	(14)	(R)	(13)	(NS)	—	—	—	—	—	—	0	0
69	光良 秀俊	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	レイナード99L	—	—	—	—	(13)	—	—	—	—	—	0	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、失=失格、—は不出場。●\*はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。  
●エンジンは全車無限MF308を使用。タイヤはブリヂストンのワンメイク。

# 1996-2018 DRIVER & TEAM POINT RANKING

# 2002

TEAM

---

DRIVER

## 2002 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	PIAA NAKAJIMA RACING	81	6	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	6
2	XBOX TEAM IMPUL	60	7	Olympic KONDO Racing Team	3
3	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	44	8	FORWARD NOVA	2
4	TEAM 5ZIGEN	34	9	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	1
5	Team LeMans	29			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

## 2002 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Rd.01 鈴鹿 3/24	Rd.02 富士 4/7	Rd.03 MINE 5/19	Rd.04 鈴鹿(東SP) 7/7	Rd.05 もてぎ 7/21	Rd.06 SUGO 8/4	Rd.07 富士 9/1	Rd.08 MINE 9/22	Rd.09 もてぎ 10/20	Rd.10 鈴鹿 11/3	Total
1	31	R.ファーマン	PIAA NAKAJIMA RACING	10*	6	(R)*	10	(9)	10	6	6	10	4	62
2	1	本山 哲	XBOX TEAM IMPUL	(R)	10*	10	2	10	(R)	4	10	4	10	60
3	55	脇阪 寿一	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	2	4	(R)	4	4*	(R)	10	(8)	6*	3*	33
4	8	土屋 武士	Team LeMans	6	1	4	(NS)*	6	3*	(R)*	(7)*	1	6	27
5	32	松田 次生	PIAA NAKAJIMA RACING	4	(10)	6	(R)	(13)	2	(R)	3	3	1	19
6	6	道上 龍	TEAM 5ZIGEN	3	(NS)	-	-	3	4	3	4	(12)	(11)	17
7	56	金石 年弘	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	(R)	(R)	3	1	2	1	2	2	(R)	(7)	11
8	5	服部 尚貴	TEAM 5ZIGEN	1	(R)	(R)	3	1	(12)	1	1	(8)	2	9
9	6	光貞 秀俊	TEAM 5ZIGEN	-	-	2	6	-	-	-	-	-	-	8
10	68	R.ライアン	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	-	-	(7)	(8)	(11)	6	(7)	(R)	(7)	(R)	6
11	3	荒 聖治	Olympic KONDO Racing Team	(8)	3	(9)	(10)	(NS)	(R)	(R)	(9)	(11)	(10)	3
12	7	D.シュワガー	Team LeMans	-	-	(R)	(11)	(R)	(8)	(9)	(10)	2	(R)	2
12	10	黒澤 治樹	FORWARD NOVA	(9)	2	(R)	(14)	(12)	(10)	(12)	(R)	(R)	(12)	2
14	11	B.トレレイエ	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	(11)	(R)	1	(7)	(7)	-	-	-	-	-	1
2	M.クルム	XBOX TEAM IMPUL	(7)	(7)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
14	五十嵐 勇大	MOONCRAFT	(R)	(R)	(11)	(13)	(10)	(7)	(R)	(R)	(13)	(R)	(R)	0
22	伊藤 大輔	Team 22	(10)	(9)	(10)	(9)	(8)	(9)	(8)	(11)	(10)	(8)	(8)	0
4	金石 勝智	Olympic KONDO Racing Team	(12)	(R)	(8)	(12)	(R)	(11)	(10)	(12)	(14)	(9)	(9)	0
68	J.コンエ	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	(13)	(8)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
11	立川 祐路	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	-	-	-	-	-	(R)	(11)	(R)	(9)	(R)	(R)	0
9	山本 清大	ソノ・オン・デマンド NOVA	(15)	(11)	(12)	(R)	(R)	(R)	(13)	(NS)	(15)	(13)	(13)	0
7	影山 正美	Team LeMans	(14)	(R)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、-は不出場。●\*はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。  
●マシンはレイナード99L~2KL~01L、エンジンは無限MF308を全車が使用。タイヤはブリヂストンのワンメイク。

# 2003

TEAM

---

DRIVER

## 2003 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	TEAM IMPUL	91	6	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	23
2	Forum eng. ARTA Team LeMans	38	7	TEAM 5ZIGEN	17
3	PIAA NAKAJIMA RACING	33	8	CARROZZERIA Team MOHN	1
4	TEAM 22	31			
5	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	26			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

## 2003 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Rd.01 鈴鹿 3/23	Rd.02 富士 4/6	Rd.03 MINE 4/27	Rd.04 もてぎ 6/8	Rd.05 鈴鹿 7/6	Rd.06 SUGO 7/27	Rd.07 富士 8/31	Rd.08 MINE 9/21	Rd.09 もてぎ 10/19	Rd.10 鈴鹿 11/2	Total
1	19	本山 哲	TEAM IMPUL	10	10*	10*	(9)	(14)	10	6*	(13)*	6	4*	56
2	20	B.トレレイエ	TEAM IMPUL	(R)	6	(R)	(R)	6	3	10	10	(9)	(R)	35
3	22	脇阪 寿一	TEAM 22	(R)	2	(R)	10*	4	4	(R)	1	(R)	10	31
4	7	金石 年弘	Forum eng. ARTA Team LeMans	4	(8)	2	(7)	(R)	(8)	(R)	6	10*	(R)	22
4	2	A.ロッテラー	PIAA NAKAJIMA RACING	6	3	(7)	1	(R)	6*	4	(9)	2	(R)	22
6	40	R.ライアン	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	(9)	(R)	(R)	4	10	2	(R)	(R)	4	(9)	20
7	12	井出 有治	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	3	(7)	4	6	(7)	(10)	(R)	4	(12)	2	19
8	8	土屋 武士	Forum eng. ARTA Team LeMans	(R)	(R)	6	3	2*	(7)	1	(12)	1	3	16
9	5	道上 龍	TEAM 5ZIGEN	(R)*	4	3	2	3	(R)	(R)	(R)	(13)	1	13
10	1	小暮 卓史	PIAA NAKAJIMA RACING	(12)	1	(R)	(R)	1	(R)	(R)	(14)	3	6	11
11	11	松田 次生	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	2	(9)	(R)	(R)	(15)	1	2	2	(14)	(R)	7
12	41	服部 尚貴	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	(8)	(R)	(R)	(11)	(8)	(9)	(9)	3	(7)	(11)	3
12	6	J.コートニー	TEAM 5ZIGEN	-	-	-	-	-	-	3	(7)	(R)	(R)	3
14	28	野田 英樹	CARROZZERIA Team MOHN	1	(10)	(8)	(R)	(12)	(R)	(R)	(10)	(R)	(10)	1
14	6	福田 良	TEAM 5ZIGEN	(7)	(R)	1	(R)	(13)	-	-	-	-	-	1
4	D.シュワガー	Olympic KONDO Racing Team	(R)	(R)	(R)	(R)	(8)	(9)	(11)	(7)	(8)	(10)	(8)	0
10	加藤 寛規	OIZUMI TEAM NOVA	-	-	-	-	-	-	-	-	(R)	(11)	(7)	0
3	立川 祐路	Olympic KONDO Racing Team	(10)	(12)	(10)	(R)	(R)	(R)	(R)	(R)	(8)	(R)	(R)	0
10	五十嵐 勇大	TEAM NOVA	-	-	-	-	(10)	(12)	(8)	-	-	-	-	0
9	黒澤 治樹	PLANEX EBRO NOVA	(R)	(R)	(9)	(10)	(11)	(R)	(R)	(R)	(11)	(R)	(12)	0
10	藤澤 哲也	カッチャオ TCPRO NOVA	(11)	(11)	(R)	(12)	-	-	-	-	-	-	-	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、-は不出場。●\*はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。  
●マシンはローバB351、タイヤはブリヂストンのワンメイク。エンジンは全車無限MF308を使用。

# 1996-2018 DRIVER & TEAM POINT RANKING

# 2004

DRIVER

TEAM

## 2004 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	mobilecast TEAM IMPUL	62	6	Yellow Hat KONDO Racing Team	10
2	PIAA NAKAJIMA RACING	50	7	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	7
3	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	40			
4	Team LeMans/Team LeMans Spirit	37			
5	TEAM ADIRECT 5ZIGEN	26			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

## 2004 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Rd.01 鈴鹿 3/28	Rd.02 SUGO 5/2	Rd.03 もてぎ 6/6	Rd.04 鈴鹿 7/4	Rd.05 SUGO 8/1	Rd.06 MINE 8/29	Rd.07 セブン 9/19	Rd.08 もてぎ 10/24	Rd.09 鈴鹿 11/7	Total
1	40	R.ライアン	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	(8)	10*	(8)*	10*	3*	(8)	(9)	6	4*	33
2	31	A.ロッテラー	PIAA NAKAJIMA RACING	6	3	10	(8)	(R)	(R)	10	4	(7)	33
3	20	井出 有治	mobilecast TEAM IMPUL	(12)*	6	6	4	(7)	(7)	(10)	10	6	32
4	19	B.トレルイエ	mobilecast TEAM IMPUL	(R)	1	3	6	(10)	10*	(7)	(R)	10	30
5	7	脇阪 寿一	Team LeMans	(13)	4	(R)	2	4	6	4	(R)*	3	23
6	1	本山 哲	TEAM ADIRECT 5ZIGEN	2	(12)	2	3	10	1	(R)	2	1	21
7	32	小暮 卓史	PIAA NAKAJIMA RACING	10	(9)	(9)	(7)	6	(R)	1	(9)	(8)	17
8	25	片岡 龍也	Team LeMans Spirit	(10)	(11)	4	(13)	(R)	3	2	3	(12)	12
9	41	服部 尚貴	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	(7)	(7)	(R)	(10)	1	(10)	6*	(R)	(10)	7
10	3	道上 龍	Yellow Hat KONDO Racing Team	4	2	1	(R)	(R)	(11)	(8)	(10)	(13)	7
11	11	松田 次生	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	3	(R)	(12)	(9)	(失)	(12)	3	1	(R)	7
12	2	金石 年弘	TEAM ADIRECT 5ZIGEN	1	(13)	(10)	(R)	(12)	4	(R)	(R)	(11)	5
13	8	土屋 武士	Team LeMans	(11)	(10)	(7)	(11)	(8)	2	(R)	(R)	2	4
14	4	立川 祐路	Yellow Hat KONDO Racing Team	(R)	(R)	(R)	1	2	(9)	(R)	(7)	(9)	3
28		野田 英樹	CARROZZERIA Team MOHN	(9)	(8)	(11)	(R)	(11)	(R)	(R)	(11)	(14)	0
27		山西 康司	CARROZZERIA Team MOHN	—	—	—	(12)	(9)	—	—	(8)	—	0
12		影山 正美	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	—	—	—	—	—	(R)	(11)	(R)	(15)	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、失=失格、—は不出場。●\*はポールポジション ●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。  
●マシンはローラB351、タイヤはブリヂストンのワンメイク。エンジンは全車が無限MF308を使用。

# 2005

DRIVER

TEAM

## 2005 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	mobilecast IMPUL/arting IMPUL	101	6	TEAM 5ZIGEN	14
2	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	37	7	TEAM CERUMO	2
3	PIAA NAKAJIMA RACING	35			
4	KONDO Racing Team	21			
5	Forum Engineering Team LeMans	20			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

## 2005 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Rd.01 もてぎ 4/3	Rd.02 鈴鹿 4/17	Rd.03 SUGO 5/15	Rd.04 富士 6/5	Rd.05 鈴鹿 7/3	Rd.06 MINE 7/31	Rd.07 富士 8/28	Rd.08 もてぎ 10/23	Rd.09 鈴鹿 11/27	Total
1	23	本山 哲	arting RACING TEAM with IMPUL	3	3	10	6	10*	4	(13)	10*	6	52
2	20	井出 有治	mobilecast TEAM IMPUL	6*	10	2	(7)	(8)	10	4	3	4	39
3	1	R.ライアン	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	10	2	6	3*	4	(R)	3*	(13)	2	30
4	31	A.ロッテラー	PIAA NAKAJIMA RACING	(11)	(R)	(9)	(R)	(R)	(10)	10	(R)	10	20
5	32	小暮 卓史	PIAA NAKAJIMA RACING	(R)	4	4*	(8)	6	(R)	(11)	(9)	1	15
6	19	B.トレルイエ	mobilecast TEAM IMPUL	1	(9)*	(R)	10	(R)	(失)*	(12)	(11)	3	14
7	5	松田 次生	TEAM 5ZIGEN	(10)	6	(R)	4	1	3	(9)	(10)	(8)*	14
8	8	土屋 武士	Forum Engineering Team LeMans	2	(R)	3	(R)	(R)	2	2	4	(R)	13
9	4	R.クインレルリ	KONDO Racing Team	—	—	—	2	2	6	(R)	2	(10)	12
10	3	山本 左近	KONDO Racing Team	(14)	(R)	(R)	(R)	3	(8)	(R)	6	(11)	9
11	7	片岡 龍也	Forum Engineering Team LeMans	(7)	(8)	(8)	(R)	(R)	(7)	6	1	(7)	7
12	2	服部 尚貴	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	4	1	1	(10)	(7)	1	(7)	(7)	(14)	7
13	11	平中 克幸	TEAM CERUMO	(8)	(R)	(R)	1	(R)	(R)	1	(12)	(9)	2
4		J.ヤニス	KONDO Racing Team	(12)	(7)	(7)	—	—	—	—	—	—	0
12		高木 虎之介	TAKAGI PLANNING with CERUMO	(9)	(R)	(11)	(9)	(10)	(9)	(8)	(R)	(12)	0
28		野田 英樹	CARROZZERIA Team MOHN	(R)	(R)	(10)	(R)	(9)	(R)	(10)	(8)	(13)	0
27		加藤 正将	CARROZZERIA Team MOHN	(13)	—	—	—	—	—	—	—	—	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、失=失格、—は不出場。●\*はポールポジション ●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。  
●マシンはローラB351、タイヤはブリヂストンのワンメイク。エンジンは全車が無限MF308を使用。

# 1996-2018 DRIVER & TEAM POINT RANKING

# 2006

TEAM  
DRIVER

## 2006 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	mobilecast TEAM IMPUL	88	6	Team LeMans	13
2	DHG TOM'S RACING	32	7	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	12
3	PIAA NAKAJIMA RACING	26	8	TEAM CERUMO	10
4	arting RACING TEAM with IMPUL	16	9	Team BOSS INGING Formula Nippon	6
5	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	13.5	10	KONDO RACING	4.5

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

## 2006 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 富士 4/2	Rd.02 鈴鹿 4/16	Rd.03 もてぎ 5/28	Rd.04 鈴鹿 7/9	Rd.05 オートポリス 8/6	Rd.06 富士 8/27	Rd.07 SUGO 9/17	Rd.08 もてぎ 10/22	Rd.09 鈴鹿 11/19	Total
1	19	B.トレルレイ	mobilecast TEAM IMPUL	トヨタRV8J	5*	4*	6	10*	(7)	10	6	10	(R)	51
2	20	松田 次生	mobilecast TEAM IMPUL	トヨタRV8J	3	(9)	2	6	10	(7)	4	6	6*	37
3	36	A.ロッテラー	DHG TOM'S RACING	トヨタRV8J	(8)	2	10	2	(8)	6	(R)	(R)	10	30
4	31	L.デュバル	PIAA NAKAJIMA RACING	ホンダHF386E	(11)	10	1	(R)	(18)	(9)	10	3	1	25
5	1	本山 哲	arting RACING TEAM with IMPUL	トヨタRV8J	2	(8)	4	4	(R)	4	2	(R)	(R)	16
6	40	B.ビルドハイム	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	ホンダHF386E	1.5	6	3	(R)	1	1	1	(11)	(9)	13.5
7	7	片岡 龍也	Team LeMans	トヨタRV8J	(13)	(7)	(R)	1	4	(R)	(9)	4	4	13
8	11	立川 祐路	TEAM CERUMO	トヨタRV8J	(12)	(R)	(10)	3	3	2	(7)	2	(R)	10
9	55	金石 年弘	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ホンダHF386E	(16)	(R)	(R)	(R)	6	3	(R)	(R)	(7)	9
10	33	R.クイントレリ	Team BOSS INGING Formula Nippon	トヨタRV8J	1	(R)	(R)	(R)	2	(10)	3	(9)	(12)	6
11	3	山本 左近	KONDO RACING	トヨタRV8J	0.5	3	(14)	—	—	—	—	—	—	3.5
12	56	小暮 卓史	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ホンダHF386E	(10)	(17)	(R)*	(9)	(19)*	(NS)*	(失)*	(R)*	3	3
13	37	土屋 武士	DHG TOM'S RACING	トヨタRV8J	(9)	(10)	(R)	(7)	(9)	(R)	(8)	(8)	2	2
14	32	武藤 英紀	PIAA NAKAJIMA RACING	ホンダHF386E	(19)	1	(8)	(R)	(17)	(16)	(10)	(10)	(R)	1
14	4	柳田 真孝	KONDO RACING	トヨタRV8J	(7)	(R)	(9)	(13)	(13)	(12)	(R)	1	(13)	1
5	道土 龍	TEAM RECKLESS 5ZIGEN	ホンダHF386E	(20)	(18)	(7)	(R)	(11)	(15)	(12)	(R)	(11)	0	0
34	横溝 直輝	Team BOSS INGING Formula Nippon	トヨタRV8J	(14)	(13)	(R)	(11)	(R)	(R)	(11)	(7)	(R)	0	0
8	高木 虎之介	Team LeMans	トヨタRV8J	(22)	(16)	(11)	(8)	(16)	(8)	(R)	(R)	(R)	0	0
6	J.P.デ・オリベラ	TEAM 5ZIGEN	ホンダHF386E	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(8)	0
3	荒 聖治	KONDO RACING	トヨタRV8J	—	—	—	(10)	(10)	(18)	(13)	(R)	(R)	0	0
41	井出 有治	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	ホンダHF386E	—	—	—	(12)	(12)	(11)	(R)	(R)	(10)	0	0
41,17	平中 克幸	DoCoMo TEAM DANDELION RACING EMS Racing	ホンダHF386E	(17)	(11)	(R)	—	(15)	(14)	(R)	(R)	(R)	0	0
6	折目 遼	M&O with TEAM 5ZIGEN	ホンダHF386E	(21)	(15)	(12)	(R)	(R)	(17)	(失)	(12)	—	0	0
27	密山 祥吾	DPR Direxiv	ホンダHF386E	(15)	(12)	(13)	(R)	—	—	—	—	—	0	0
2	星野 一樹	arting RACING TEAM with IMPUL	トヨタRV8J	(18)	(14)	(R)	(R)	(14)	(13)	(R)	(R)	(14)	0	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、失=失格、—は不出場。●\*はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。

●第1戦富士は雨によるレース途中中止のため、規定により通常得点の半分。●マシンはFN06、タイヤはブリヂストンのワンメイク。

# 2007

TEAM  
DRIVER

## 2007 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	mobilecast TEAM IMPUL	91	7	CARCHS KONDO RACING	18
2	PIAA NAKAJIMA RACING	72	8	Forum Engineering Team LeMans	8
3	Arabian Oasis TEAM IMPUL	50	9	TEAM CERUMO	7
4	DHG TOM'S RACING	48	10	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	6
5	INGING MOTORSPORT	27	11	TEAM RECKLESS CERUMO	4
6	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	20			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

## 2007 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 富士 4/1	Rd.02 鈴鹿 4/15	Rd.03 もてぎ 5/20	Rd.04 岡山 6/10	Rd.05 鈴鹿 7/8	Rd.06 富士 8/26	Rd.07 SUGO 9/16	Rd.08 もてぎ 10/21	Rd.09 鈴鹿 11/18	Total
1	2	松田 次生	mobilecast TEAM IMPUL	トヨタRV8J	8	8*	6*	6	5*	(13)	4	4	5	46
2	1	B.トレルレイ	mobilecast TEAM IMPUL	トヨタRV8J	10*	(R)	5*	8	(R)	8	8	6	(R)	45
3	32	小暮 卓史	PIAA NAKAJIMA RACING	ホンダHF386E	1	6	10	4*	(17)	(R)	10*	10*	(失)*	41
4	19	本山 哲	Arabian Oasis TEAM IMPUL	トヨタRV8J	(R)	10	3	(10)	10	(R)*	5	(11)	10	38
5	36	A.ロッテラー	DHG TOM'S RACING	トヨタRV8J	(R)	4	8	(R)	(13)	10	2	5	8	37
6	31	L.デュバル	PIAA NAKAJIMA RACING	ホンダHF386E	6	5	(R)	(19)	(11)	6	6	8	(R)	31
7	33	R.クイントレリ	INGING MOTORSPORT	トヨタRV8J	4	3	4	10	(R)	2	1	3	(14)	27
8	4	J.P.デ・オリベラ	CARCHS KONDO RACING	トヨタRV8J	(失)	(14)	1	5	2	3	(R)	1	6	18
9	40	B.ビルドハイム	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	ホンダHF386E	5	(13)	(11)	(11)	8	1	(R)	2	1	17
10	20	M.クルム	Arabian Oasis TEAM IMPUL	トヨタRV8J	3	2	2	1	4	(R)	(R)	(15)	(R)	12
11	37	荒 聖治	DHG TOM'S RACING	トヨタRV8J	(11)	(R)	(15)	2	(10)	5	(R)	(13)	4	11
12	11	立川 祐路	TEAM RECKLESS CERUMO	トヨタRV8J	(16)	1	(12)	3	(12)	4	3	(9)	(13)	11
13	55	井出 有治	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ホンダHF386E	(14)	(10)	(16)	(R)	6	(16)	(R)	(R)	(10)	6
14	7	片岡 龍也	Forum Engineering Team LeMans	トヨタRV8J	2	(R)	(R)	(9)	(R)	(R)	(10)	3	5	5
15	41	F.カルボーン	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	ホンダHF386E	(15)	(15)	(R)	(13)	3	(15)	(9)	(18)	(R)	3
16	8	高木 虎之介	Forum Engineering Team LeMans	トヨタRV8J	(R)	(12)	(9)	(16)	1	(9)	(10)	(12)	2	3
34	横溝 直輝	INGING MOTORSPORT	トヨタRV8J	(10)	(9)	(13)	(12)	(19)	(10)	(13)	(R)	(14)	(12)	0
56	金石 年弘	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ホンダHF386E	(12)	(17)	(10)	(R)	(9)	(11)	(R)	(14)	(R)	0	0
3	柳田 真孝	CARCHS KONDO RACING	トヨタRV8J	(9)	(18)	(R)	(15)	(14)	(12)	(12)	(16)	(R)	0	0
5	平中 克幸	SG team 5ZIGEN	ホンダHF386E	(R)	(11)	(17)	(14)	(18)	(14)	(11)	(17)	(11)	0	0
6	吉本 大樹	SG team 5ZIGEN	ホンダHF386E	(13)	(19)	(18)	(17)	(15)	(17)	(R)	(R)	(15)	0	0
12	佐々木 孝太	TEAM RECKLESS CERUMO	トヨタRV8J	(17)	(16)	(14)	(18)	(16)	—	—	—	—	0	0
27	T.カーナン	KANAAN RACING	ホンダHF386E	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(6)	—

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、失=失格、—は不出場。●\*はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。

●第9戦鈴鹿のNo.27 T.カーナンは特別参加のためポイント対象外。●マシンはFN06、タイヤはブリヂストンのワンメイク。

# 1996-2018 DRIVER & TEAM POINT RANKING

# 2008

TEAM  
DRIVER

## 2008 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	LAWSON TEAM IMPUL	114.5	7	Team LeMans	22
2	PIAA NAKAJIMA RACING	103	8	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	21
3	PETRONAS TEAM TOM'S	58	9	STONEMARKET-BLAAK CERUMO/INGING	11
4	CERUMO/INGING	52.5	10	SG team 5ZIGEN	9
5	KONDO RACING	44	11	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	7.5
6	TP Checker TEAM IMPUL	42			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。  
●チームポイントにはポールポジションの得点は加算されない。

## 2008 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 富士 4/6	Rd.02 鈴鹿 5/11	Rd.03 もてぎ 5/25	Rd.04 岡山 6/8	Rd.05 鈴鹿 7/13	Rd.06 もてぎ 8/10	Rd.07 富士 8/31	Rd.08 SUGO 9/21	Total			
1	1	松田 次生	LAWSON TEAM IMPUL	トヨタRV8J	16*	16*	16*	1(R)*	11*	(8)	9*	4	5	0.5	15	93.5
2	31	レデュバル	PIAA NAKAJIMA RACING	ホンダHF386E	1	1	10	15	3	4	10	(R)	8	(7)	10	62
3	36	A.ロッチェラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8J	(R)	10	12	12	8	2	(11)	(7)	4	1	(12)	49
4	20	平手 晃平	TP Checker TEAM IMPUL	トヨタRV8J	(R)	12	5	10	4	5	(R)	(NS)	—	—	6	42
5	32	小暮 卓史	PIAA NAKAJIMA RACING	ホンダHF386E	5	6	(R)	2	6	(7)	4	(R)	6	(6)	12	41
6	4	J.P.デ・オリベラ	KONDO RACING	トヨタRV8J	(R)	(R)	2	(11)	5	1	6	3	11*	(8)	5	33
7	48	立川 祐路	CERUMO/INGING	トヨタRV8J	12	(17)	4	8	(17)	(12)	5	2	(9)	(9)	(15)	31
8	2	B.トレルイエ	LAWSON TEAM IMPUL	トヨタRV8J	8	4	(R)	3	(R)	(13)	(15)	(R)	2	2	8	27
9	47	R.クインテッリ	CERUMO/INGING	トヨタRV8J	6	3	(R)	4	(10)	(9)	(R)	(13)	3	1.5	4	21.5
10	56	伊沢 拓也	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ホンダHF386E	(R)	2	8	6	(12)	(R)	(R)	(12)	(18)	(17)	3	19
11	7	本山 哲	Team LeMans	トヨタRV8J	(R)	8	(16)	(R)	1	3	(9)	1	(14)	(14)	1(R)*	14
12	3	横溝 直輝	KONDO RACING	トヨタRV8J	(R)	5	(11)	5	2	(6)	(R)	(11)	(12)	(12)	(R)	12
13	67	R.ストレイト	STONEMARKET-BLAAK CERUMO/INGING	トヨタRV8J	10	(15)	(R)	(R)	(11)	(10)	(R)	(9)	(19)	(18)	1	11
14	5	金石 年弘	SG team 5ZIGEN	ホンダHF386E	(11)	(R)	6	(14)	(R)	(14)	3	(R)	(16)	(20)	(11)	9
15	37	荒 聖治	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8J	(R)	(11)	1	1	(13)	(11)	2	5	(10)	(10)	(16)	9
16	8	石浦 宏明	Team LeMans	トヨタRV8J	4	(13)	3	(R)	(14)	(R)	(13)	(8)	(17)	(16)	2	9
17	41	土屋 武士	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	ホンダHF386E	3	(14)	(14)	(12)	(16)	(R)	1	(14)	(11)	(11)	(14)	4
18	40	松浦 孝亮	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	ホンダHF386E	(12)	(16)	(12)	(13)	(9)	(R)	(10)	(6)	1	2.5	(13)	3.5
19	55	井出 有治	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ホンダHF386E	2	(18)	(15)	(R)	(15)	(R)	(12)	(R)	(R)	(19)	(17)	2
6		吉本 大樹	SG team 5ZIGEN	ホンダHF386E	—	—	—	—	(18)	(15)	(14)	(10)	—	—	—	0
6		平中 克幸	SG team 5ZIGEN	ホンダHF386E	(R)	(12)	(13)	(15)	—	—	—	—	(15)	(15)	(R)	0
20	R.ライアン	TP Checker TEAM IMPUL	トヨタRV8J	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(13)	(13)	—	0

●数字は得点。太字は優勝。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず。—は不出場。●\*はポールポジション。●得点は各レース1~10位まで15-12-10-8-6-5-4-3-2-1点。予選ポールポジションにも1点。  
●1大会2レースの場合、第1レースの得点は1~8位に10-8-6-5-4-3-2-1点。第2レースは1~5位に5-4-3-2-1点。●1大会2レースの第2レースは、第1レースの結果でスターティンググリッドが決まるため、ポールポジションの得点はなし。  
●第7戦富士の第2レースは雨によるレース途中中止のため、規定により通常得点の半分。●マシンはFN06、タイヤはブリヂストンのワンメイク。

# 2009

TEAM  
DRIVER

## 2009 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	NAKAJIMA RACING	93	6	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	25
2	PETRONAS TEAM TOM'S	52	7	HFDP RACING	20
3	LAWSON TEAM IMPUL	50	8	CERUMO/INGING	9
4	ahead TEAM IMPUL	31			
5	Team LeMans	31			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。  
●チームポイントにはポールポジションの得点は加算されない。

## 2009 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 富士 4/5	Rd.02 鈴鹿 5/17	Rd.03 もてぎ 5/31	Rd.04 富士 6/28	Rd.05 鈴鹿 7/12	Rd.06 もてぎ 8/9	Rd.07 オートポリス 8/30	Rd.08 SUGO 9/27	Total
1	31	レデュバル	NAKAJIMA RACING	ホンダHR09E	5	10	(R)	11*	11*	8	6	11*	62
2	2	B.トレルイエ	LAWSON TEAM IMPUL	トヨタRV8K	10	9*	8	(R)	6	6	1	(9)	40
3	36	A.ロッチェラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	(10)	6	4	1	2	10	8	8	39
4	32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING	ホンダHR09E	1	(R)	11*	2	8	4*	11*	(10)	37
5	20	平手 晃平	ahead TEAM IMPUL	トヨタRV8K	7*	5	(R)	4	4	1	5	6	32
6	8	石浦 宏明	Team LeMans	トヨタRV8K	(11)	1	6	5	5	5	4	4	30
7	10	塚越 広大	HFDP RACING	ホンダHR09E	3	4	5	3	(9)	(10)	(R)	5	20
8	41	伊沢 拓也	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR09E	8	2	(NS)	(R)	1	(9)	3	(11)	14
9	37	大嶋 和也	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	2	(R)	(R)	8	(10)	(11)	(9)	3	13
10	40	R.ライアン	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR09E	(R)	3	2	6	(13)	(R)	(10)	(13)	11
11	1	松田 次生	LAWSON TEAM IMPUL	トヨタRV8K	(R)	(R)	3	(R)	(12)	4	2	2	11
12	48	立川 祐路	CERUMO/INGING	トヨタRV8K	4	(R)	(R)	(9)	3	2	(R)	(12)	9
13	7	国本 京佑	Team LeMans	トヨタRV8K	(9)	(9)	(NS)	(10)	(11)	(R)	(11)	1	1

●数字は得点。太字は優勝。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず。—は不出場。●\*はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。  
●マシンはFN09、タイヤはブリヂストンのワンメイク。

# 1996-2018 DRIVER & TEAM POINT RANKING

# 2010

TEAM

---

DRIVER

## 2010 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	Mobil 1 TEAM IMPUL	68	6	HFDP RACING	9
2	PETRONAS TEAM TOM'S	66	7	KCMG	4
3	NAKAJIMA RACING	56.5	8	DELIZIEFOLLIE/CERUMO-INGING	3
4	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	40.5	9	KONDO RACING	1
5	Team LeMans	24	10	MOTUL TEAM 無限	1

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。  
●チームポイントにはポールポジションの得点および2レース制の勝者に与えられる別ポイントは加算されない。

## 2010 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 4/18	Rd.02 もてぎ 5/23	Rd.03 富士 7/18	Rd.04 もてぎ 8/8	Rd.05 SUGO 9/26	Rd.06 オートポリス 10/17	Rd.07 鈴鹿 11/7	Total	
1	19	J.P.デ・オリベラ	Mobil 1 TEAM IMPUL	トヨタRV8K	8	11*	6	3	(11)	8	2.5	9*	47.5
2	36	A.ロッテラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	6	6	8	(R)	6	10	3	4	43
3	1	L.デュバル	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR10E	3	5	1(14)*	10	9*	(R)	9*	2.5	39.5
4	32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING	ホンダHR10E	11*	3	4	9*	4	(R)	4	3	38
5	20	平手 晃平	Mobil 1 TEAM IMPUL	トヨタRV8K	5	2	10	6	(12)	1	(9)	1.5	25.5
6	37	大嶋 和也	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	(12)	1	5	4	10	1(R)*	2	1	24
7	31	山本 尚貴	NAKAJIMA RACING	ホンダHR10E	2	4	2	5	(R)	4	1.5	2	20.5
8	8	石浦 宏明	Team LeMans	トヨタRV8K	(10)	(R)	3	1	5	6	1	(10)	16
9	10	塚越 広大	HFDP RACING	ホンダHR10E	1	8	(11)	(10)	(R)	(失)	(10)	(12)	9
10	7	K.コッツォリーノ	Team LeMans	トヨタRV8K	(R)	(10)	1	(13)	2	5	(13)	(14)	8
11	2	伊沢 拓也	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR10E	4	(11)	(9)	(11)	3	(R)	(11)	(11)	7
12	18	平中 克幸	KCMG	トヨタRV8K	(R)	(R)	(13)	2	(R)	2	(12)	(13)	4
13	29	井口 卓人	DELIZIEFOLLIE/CERUMO-INGING	トヨタRV8K	(11)	(R)	(12)	(12)	(10)	3	(R)	(R)	3
14	3	松田 次生	KONDO RACING	トヨタRV8K	-	-	-	(R)	1	(R)	(14)	(9)	1
15	16	井出 有治	MOTUL TEAM 無限	ホンダHR10E	(9)	(9)	(10)	(9)	(9)	(R)	0.5	0.5	1

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、失=失格、-は不出場。●\*はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。  
●1大会2レース制は、各レース1~8位まで5-4-3-2-1.5-1-0.5点。但し、優勝者には別に3点が与えられる。●マシンはFN09、タイヤはブリヂストンのワンメイク。

# 2011

TEAM

---

DRIVER

## 2011 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	PETRONAS TEAM TOM'S	90	6	Project μ/cerumo-INGING	6.5
2	TEAM IMPUL	41	7	TEAM 無限	4
3	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	36.5	8	Team KYGNUS SUNOCO	3
4	Team LeMans	32	9	SGC by KCMG	2.5
5	NAKAJIMA RACING	18.5			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。  
●チームポイントにはポールポジションの得点および2レース制の勝者に与えられる別ポイントは加算されない。

## 2011 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 5/15	Rd.02 オートポリス 6/5	Rd.03 富士 7/17	Rd.04 もてぎ 8/7	Rd.05 鈴鹿 9/4	Rd.06 SUGO 9/25	Rd.07 もてぎ 11/6	Total	
1	36	A.ロッテラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	10	-	10	8		10	9*	9*	56
2	37	中嶋 一貴	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	6	10	6	6		6	4	4	42
3	1	J.P.デ・オリベラ	TEAM IMPUL	トヨタRV8K	3	5	6*	11*		(失)	(9)	3	28
4	41	塚越 広大	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR10E	2	7*	4	5		5	3	0.5	26.5
5	7	大嶋 和也	Team LeMans	トヨタRV8K	4	8	(12)	1		4*	(R)	2	19
6	8	石浦 宏明	Team KYGNUS SUNOCO	トヨタRV8K	1	(10)	3	2		8	1.5	1.5	17
7	32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING	ホンダHR10E	8	(R)	2	(R)		2	2	2.5	16.5
8	2	平手 晃平	TEAM IMPUL	トヨタRV8K	(9)	1	8	4		1	1	(R)	15
9	40	伊沢 拓也	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR10E	5	3	(10)	3		(失)	(R)	(10)	11
10	33	国本 雄資	Project μ/cerumo-INGING	トヨタRV8K	(13)	(11)	(15)	(12)		4	2.5	(失)	6.5
11	16	山本 尚貴	TEAM 無限	ホンダHR10E	1(R)*	4	(9)	(14)		(11)	(12)	(R)	5
12	18	A.インベトリー	SGC by KCMG	トヨタRV8K	(10)	2	(R)	(11)		(12)	0.5	(R)	2.5
13	31	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING	ホンダHR10E	(11)	(R)	1	(9)		(10)	(11)	1	2
	10	小林 崇志	HP REAL RACING	ホンダHR10E	(R)	(9)	(11)	(15)		(R)	(10)	(11)	0
	11	武藤 英紀	HP REAL RACING	ホンダHR10E	-	-	-	(10)		-	(R)	(9)	0
	3	A.カルダレリ	KONDO RACING	トヨタRV8K	(R)	(R)	(13)	(13)		(9)	(R)	(R)	0
	62	嵯峨 宏紀	Le Beausset Motorsports	トヨタRV8K	(12)	(R)	(14)	(16)		(13)	(13)	(R)	0
	36	井口 卓人	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	-	(12)	-	-		-	-	-	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、失=失格、-は不出場。●\*はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。  
●1大会2レース制は、各レース1~8位まで5-4-3-2-1.5-1-0.5点。但し、優勝者には別に3点が与えられる。●第5戦鈴鹿は悪天候のため中止。●マシンはFN09、タイヤはブリヂストンのワンメイク。

# 1996-2018 DRIVER & TEAM POINT RANKING

# 2012

TEAM

---

DRIVER

## 2012 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	78.5	6	Project μ/cerumo・INGING	10
2	PETRONAS TEAM TOM'S	76.5	7	NAKAJIMA RACING	4
3	TEAM IMPUL	51.5	8	TEAM 無限	4
4	Team KYGNUS SUNOCO	25	9	HP REAL RACING	2
5	Team LeMans	21.5			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイント合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。  
●チームポイントにはポールポジションの得点および2レースの勝者に与えられる別ポイントは加算されない。

## 2012 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 4/15	Rd.02 もてぎ 5/13	Rd.03 オートボリス 5/27	Rd.04 富士 7/15	Rd.05 もてぎ 8/5	Rd.06 SUGO 9/23	Rd.07 鈴鹿 11/4	Total	
1	2	中嶋 一貴	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	10	6	4	9*	5	4	(12)	8	46
2	41	塚越 広大	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR12E	8	4	11*	(9)	6	8	3	3	43
3	40	伊沢 拓也	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR12E	4*	5	8	(13)	4	11*	8	1.5	41.5
4	1	A.ロッチェラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	4	11*	(R)	10	8	(10)	2	0.5	35.5
5	19	J.P.デ・オリベラ	TEAM IMPUL	トヨタRV8K	6	8	(R)	3	11*	3	2.5	1(R)*	34.5
6	8	L.デュバル	Team KYGNUS SUNOCO	トヨタRV8K	(9)	(11)	6	5	3	6	1	4	25
7	7	大嶋 和也	Team LeMans	トヨタRV8K	5	1	3	6	(R)	5	0.5	1	21.5
8	20	松田 次生	TEAM IMPUL	トヨタRV8K	1	3	5	4	2	(R)	5*	(R)	20
9	38	平手 晃平	Project μ/cerumo・INGING	トヨタRV8K	(10)	(R)	2	2	1	1	(9)	2	8
10	32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING	ホンダHR12E	(15)	(R)	(10)	(10)	(13)	(R)	1.5	2.5	4
11	16	山本 尚貴	TEAM 無限	ホンダHR12E	2	2	(9)	(12)	(R)	(14)	(15)	(R)	4
12	10	金石 年弘	HP REAL RACING	ホンダHR12E	(12)	(13)	(12)	(R)	(11)	2	(14)	(14)	2
13	39	国本 雄資	Project μ/cerumo・INGING	トヨタRV8K	(14)	(9)	1	1	(10)	(13)	(11)	(12)	2
3	安田 裕信	KONDO RACING	トヨタRV8K	(11)	(12)	(13)	(16)	(9)	(11)	(13)	(9)	0	
15	佐藤 琢磨	TEAM 無限	ホンダHR12E	—	—	—	—	—	(9)	(17)	(10)	0	
31	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING	ホンダHR12E	(16)	(10)	(11)	(11)	(12)	(12)	(10)	(11)	0	
62	嵯峨 宏紀	TOCHIGI Le Beausset Motorsports	トヨタRV8K	(13)	(14)	(R)	(14)	(R)	(15)	(16)	(13)	0	
11	中山 友貴	HP REAL RACING	ホンダHR12E	—	—	—	(15)	(14)	—	—	—	0	
18	折目 遼	SGC by KCMG	トヨタRV8K	(17)	(15)	(R)	(R)	(R)	(R)	(18)	(15)	0	

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、—は不出場。●\*はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。  
●1大会2レース制は、各レース1~8位まで5-4-3-2.5-2-1.5-1-0.5点。但し、優勝者には別に3点が与えられる。●マシンはFN09、タイヤはブリヂストンのワンメイク。

# 2013

TEAM

---

DRIVER

## 2013 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	PETRONAS TEAM TOM'S	58.5	6	NAKAJIMA RACING	21
2	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	42	7	DANDELION RACING	14
3	TEAM IMPUL	37.5	8	REAL RACING	4
4	MUGEN	32.5	9	KONDO RACING	3.5
5	INGING MOTORSPORT	21			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイント合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。  
●チームポイントにはポールポジションの得点は加算されない。

## 2013 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 4/14	Rd.02 オートボリス 6/2	Rd.03 富士 7/14	Rd.04 もてぎ 8/4	Rd.05 韓国 8/25	Rd.06 SUGO 9/29	Rd.07 鈴鹿 11/10	Total	
1	16	山本 尚貴	TEAM 無限	ホンダHR12E	5	6	6	1		6	9*	4*	37
2	2	A.ロッチェラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	—	11*	10	8		8	—	—	37
3	8	L.デュバル	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	トヨタRV8K	—	8	6*	6		11*	—	—	31
4	1	中嶋 一貴	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	4	(12)	1	11*		(R)	(R)	8	24
5	19	J.P.デ・オリベラ	Lenovo TEAM IMPUL	トヨタRV8K	3	5	3	5		(R)	3	(17)	19
6	20	松田 次生	Lenovo TEAM IMPUL	トヨタRV8K	8	4	(16)	(13)		4	2.5	(16)	18.5
7	40	伊沢 拓也	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR12E	11*	(R)	4	(R)		(R)	(10)	(9)	15
8	32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING	ホンダHR12E	6	(R)	(14)	4		1	(R)	4	15
9	38	平手 晃平	P.MU/CERUMO・INGING	トヨタRV8K	(12)	(R)	8	(15)		(R)	2	1	11
10	39	国本 雄資	P.MU/CERUMO・INGING	トヨタRV8K	(10)	(10)	2	3		5	(R)	(15)	10
11	7	平川 亮	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	トヨタRV8K	1	2	(11)	2		(R)	1.5	2.5	9
12	31	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING	ホンダHR12E	(16)	(R)	(10)	(10)		2	4	(11)	6
13	8	A.カルダレッリ	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	トヨタRV8K	2	—	—	—		—	(R)	2	4
14	3	安田 裕信	KONDO RACING	トヨタRV8K	(14)	(9)	(12)	(R)		3	0.5	(13)	3.5
15	10	塚越 広大	HP REAL RACING	ホンダHR12E	(9)	3	(9)	(9)		(R)	(R)	(R)	3
16	2	J.ロンター	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	(11)	—	—	—		—	1	1.5	2.5
17	11	中山 友貴	HP REAL RACING	ホンダHR12E	(18)	1	(R)	(11)		(R)	(11)	(12)	1
18	15	佐藤 琢磨	TEAM 無限	ホンダHR12E	(15)	—	—	—		(11)	(9)	0.5	0.5
41	武藤 英紀	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR12E	(13)	(R)	(13)	(12)	(12)		(10)	(12)	(10)	0
62	嵯峨 宏紀	TOCHIGI Le Beausset Motorsports	トヨタRV8K	(17)	(11)	(R)	(16)	(16)		(9)	(14)	(14)	0
18	R.ブラッドレー	KCMG	トヨタRV8K	(19)	(R)	(R)	(14)	(14)		(R)	(13)	(18)	0
15	小林 崇志	TEAM 無限	ホンダHR12E	—	(R)	(15)	(R)	(R)		—	—	—	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、—は不出場。●\*はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。  
●1大会2レース制は、各レース1~8位まで5-4-3-2.5-2-1.5-1-0.5点。●Rd.7鈴鹿大会に限り、各レースの勝者には別に3点が与えられる。●マシンはSF13、タイヤはブリヂストンのワンメイク。

# 1996-2018 DRIVER & TEAM POINT RANKING

# 2014

TEAM  
DRIVER

## 2014 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	PETRONAS TEAM TOM'S	79.5	6	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	14
2	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	46	7	TEAM 無限	12.5
3	P.MU/CERUMO-INGING	45.5	8	HP REAL RACING	10
4	Lenovo TEAM IMPUL	39.5	9	NAKAJIMA RACING	4
5	KONDO RACING	22			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイント合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。  
●チームポイントにはポールポジションの得点は加算されない。

## 2014 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 4/13	Rd.02 富士 5/18	Rd.03 富士 7/13	Rd.04 もてぎ 8/24	Rd.05 オートポリス 9/14	Rd.06 SUGO 9/28	Rd.07 鈴鹿 11/9	Total		
1	37	中嶋 一貴	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRI4A	3	4	3	10	2	3	8	4	9*	46
2	19	J.P.デ・オバイ	Lenovo TEAM IMPUL	トヨタRI4A	2	6*	4	(R)	11*	6	(R)	8	2.5	39.5
3	36	A.ロッテラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRI4A	5*	2.5	6*	3	—	10	(R)	4*	4	34.5
4	8	L.デュバル	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	トヨタRI4A	10	3	2.5	—	5	(15)	6	(11)	3	29.5
5	38	石浦 宏明	P.MU/CERUMO-INGING	トヨタRI4A	6	(R)	(11)	5	8	1	3	2	1	26
6	3	J.ロシター	KONDO RACING	トヨタRI4A	8	1.5	(17)	1	1	4	5	1.5	(10)	22
7	39	国本 雄資	P.MU/CERUMO-INGING	トヨタRI4A	(13)	2	1	6	(13)	8	(9)	2.5	(R)	19.5
8	7	平川 亮	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	トヨタRI4A	5	(R)	0.5	8	(10)	(13)	1	(16)	2	16.5
9	1	山本 尚貴	TEAM 無限	ホンダHR-414E	(11)	(R)	2	4	(15)	3*	3*	1	1.5	14.5
10	40	野尻 智紀	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR-414E	(9)	(R)	(15)	(12)	(9)	(9)	10	(12)	(9)	10
11	10	塚越 広大	HP REAL RACING	ホンダHR-414E	(14)	(NS)	(9)	(R)	3	5	(R)	0.5	(13)	8.5
12	36*	A.カルダレリ	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRI4A	—	—	—	1(R)*	6	—	—	—	—	7
13	20	N.カーティケヤン	Lenovo TEAM IMPUL	トヨタRI4A	(R)	1	1.5	2	(R)	(17)	(11)	(10)	0.5	5
14	41	武藤 英紀	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR-414E	(10)	(10)	(12)	(11)	4	(10)	(12)	(13)	(12)	4
15	31	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING	ホンダHR-414E	(R)	(9)	(14)	(9)	(16)	(12)	4	(9)	(15)	4
16	11	V.リウツツ	HP REAL RACING	ホンダHR-414E	1	0.5	(10)	(R)	(14)	(R)	(R)	(15)	(11)	1.5
34	伊沢 拓也	DRAGO CORSE	ホンダHR-414E	—	—	—	—	—	—	(R)	(14)	(14)	0	
32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING	ホンダHR-414E	(R)	(R)	(NS)	(R)	(11)	(R)	(10)	(R)	(16)	0	
2	中山 友貴	TEAM 無限	ホンダHR-414E	(12)	(12)	(18)	(13)	(12)	(14)	(14)	(R)	(17)	0	
18	中山 雄一	KCMG	トヨタRI4A	(R)	(13)	(16)	(10)	(R)	(16)	(13)	(R)	(18)	0	
62	嵯峨 宏紀	TOCHIGI Le Beausset Motorsports	トヨタRI4A	(R)	(11)	(13)	(R)	(17)	(11)	(R)	(R)	(19)	0	

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●( )は入賞以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、—は不出場。●\*はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。  
●2レース制は、各レース1~8位まで5-4-3-2-5-2-1-5-1-0.5点。●Rd.7鈴鹿大会に限り、各レースの勝者に別に3点が与えられる。●マシンはSF14、タイヤはブリヂストンのファンメイク。  
\*A.カルダレリはRd.3にNo.8 KYGNUS SUNOCO Team LeMansで出場。

# 2015

TEAM  
DRIVER

## 2015 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	PETRONAS TEAM TOM'S	80.5	7	NAKAJIMA RACING	7
2	P.MU/CERUMO-INGING	56	8	KONDO RACING	5
3	LENOVO TEAM IMPUL	37	9	REAL RACING	4.5
4	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	33	10	DRAGO CORSE	2.5
5	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	25	11	KCMG	1.5
6	TEAM 無限	21			

●得点は各チームに所属するドライバーポイントの合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。  
●チームポイントにはポールポジションの得点は加算されない。

## 2015 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 4/19	Rd.02 岡山 5/24	Rd.03 富士 7/19	Rd.04 もてぎ 8/23	Rd.05 オートポリス 9/13	Rd.06 SUGO 10/18	Rd.07 鈴鹿 11/8	Total	
1	38	石浦 宏明	P.MU/CERUMO-INGING	トヨタRI4A	4	11*	6	11*	9*	4	4	2.5	51.5
2	1	中嶋 一貴	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRI4A	8	—	8	8	10	5	2.5	4	45.5
3	2	A.ロッテラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRI4A	10	1	4	5	(11)	11*	9*	(R)	40
4	19	J.P.デ・オバイ	LENOVO TEAM IMPUL	トヨタRI4A	5	4	10	6	4	2	(R)	3	34
5	16	山本 尚貴	TEAM 無限	ホンダHR-414E	1(15)*	5	(12)	1	2	8	(14)	9*	26
6	8	小林 可夢偉	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	トヨタRI4A	(9)	8	(10)	(17)	6	3	3	(9)	20
7	40	野尻 智紀	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR-414E	1	6	1	3	(10)	6	2	(R)	19
8	7	平川 亮	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	トヨタRI4A	(12)	(9)	3	2	5	1	(10)	2	13
9	39	国本 雄資	P.MU/CERUMO-INGING	トヨタRI4A	(17)	(R)	5	(18)	1	(17)	1	0.5	7.5
10	64	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING	ホンダHR-414E	3	(12)	(R)	4	(9)	(12)	(R)	(10)	7
11	41	N.カーティケヤン	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR-414E	6	(10)	(R)	(9)	(14)	(13)	(12)	(14)	6
12	3	J.ロシター	KONDO RACING	トヨタRI4A	(16)	(R)	2	(12)	3	(14)	(R)	(R)	5
13	11	伊沢 拓也	REAL RACING	ホンダHR-414E	2	2	(11)	(10)	(12)	(R)	0.5	(15)	4.5
14	20	A.カルダレリ	LENOVO TEAM IMPUL	トヨタRI4A	(11)	3	19*	(11)	(15)	(16)	(R)	(12)	4
15	34	小暮 卓史	DRAGO CORSE	ホンダHR-414E	(R)	(R)	(16)	(14)	(13)	(11)	1.5	1	2.5
16	18	中山 雄一	KCMG	トヨタRI4A	(13)	(R)	(15)	(16)	(19)	(10)	(R)	1.5	1.5
10	塚越 広大	REAL RACING	ホンダHR-414E	(NS)	(14)	(13)	(R)	(17)	(9)	(9)	(11)	0	
4	W.ブラー	KONDO RACING	トヨタRI4A	(14)	(13)	(14)	(13)	(18)	(15)	(13)	(13)	0	
65	B.バゲット	NAKAJIMA RACING	ホンダHR-414E	(10)	(11)	(R)	(15)	(16)	(18)	(11)	(R)	0	
1	大嶋 和也	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRI4A	—	(15)	—	—	—	—	—	—	0	

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●( )は入賞以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=スタートできず、—は不出場。●\*はポールポジション。●得点は各レース1位~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。  
●2レース制は、各レース1位~8位まで5-4-3-2-5-2-1-5-1-0.5点。ポールポジションにも1点。●Rd.7鈴鹿大会に限り、各レースの勝者に別に3点が与えられる。●マシンはSF14、タイヤはブリヂストンのファンメイク。

# 1996-2018 DRIVER & TEAM POINT RANKING

# 2016

TEAM

---

DRIVER

## 2016 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	P.MU/CERUMO・INGING	54	6	TEAM 無限	14.5
2	VANTELIN TEAM TOM'S	51	7	REAL RACING	14.5
3	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	42	8	KONDO RACING	12
4	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	36.5	9	DRAGO CORSE	8
5	NAKAJIMA RACING	15	10	SUNOCO TEAM LEMANS	6

●得点は各チームに所属するドライバーのポイント合計。 ●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。  
●チームポイントにはポールポジションの得点は加算されない。

## 2016 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 4/24	Rd.02 岡山 5/29	Rd.03 富士 7/17	Rd.04 筑波 8/21	Rd.05 岡山 9/10	Rd.06 SUGO 9/25	Rd.07 鈴鹿 10/30	Total		
1	2	国本 雄資	P.MU/CERUMO・INGING	トヨタRi4A	8	1.5	(R)	5	4	5	(15)	8	1.5	33
2	36	A.ロッテラー	VANTELIN TEAM TOM'S	トヨタRi4A	2	0.5	5	8	(12)	2.5	4	4	4	30
3	20	関口 雄飛	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	トヨタRi4A	(14)	(13)	6	11*	(13)	(9)	11*	(18)	0.5	28.5
4	41	S.バンドーン	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR-414E	6	(12)	1*	3	5	1	3	(17)	8	27
5	1	石浦 宏明	P.MU/CERUMO・INGING	トヨタRi4A	(11)	6*	3	6	1	3	(16)	4*	4*	27
6	37	中嶋 一貴	VANTELIN TEAM TOM'S	トヨタRi4A	(12)	(17)	8	2	1(R)*	4	5	2	(16)	22
7	16	山本 尚貴	TEAM 無限	ホンダHR-414E	11*	2	(R)	1	(10)	1.5	(14)	(19)	(R)	15.5
8	19	J.P.デ・オバイヤ	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	トヨタRi4A	(10)	(19)	10	(R)	0.5	2	(R)	0.5	2.5	15.5
9	40	野尻 智紀	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR-414E	(9)	2.5	(13)	(R)	2.5	1(16)*	6	2.5	(R)	14.5
10	3	J.ロスター	KONDO RACING	トヨタRi4A	3	(9)	4	4	(9)	(10)	1	(12)	(15)	12
11	10	塚越 広大	REAL RACING	ホンダHR-414E	4	4	1	(12)	2	(11)	(11)	(11)	(12)	11
12	64	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING	ホンダHR-414E	(R)	1	(R)	(10)	1.5	(12)	8	(10)	(10)	10.5
13	34	小暮 卓史	DRAGO CORSE	ホンダHR-414E	5	(15)	(12)	(11)	(11)	(14)	2	1	(9)	8
14	7	Nカーテケヤン	SUNOCO TEAM LEMANS	トヨタRi4A	(R)	(16)	2	(R)	3	(R)	(12)	(15)	(14)	5
15	65	B.バグット	NAKAJIMA RACING	ホンダHR-414E	1	(14)	(14)	(R)	(14)	(18)	(9)	1.5	2	4.5
16	11	伊沢 拓也	REAL RACING	ホンダHR-414E	(8)	3	(11)	(14)	(16)	0.5	(13)	(16)	(R)	3.5
17	8	小林 可夢偉	SUNOCO TEAM LEMANS	トヨタRi4A	(16)	(18)	(10)	(9)	(18)	(17)	(17)	(9)	1	1
18	中山 雄一	KCMG	トヨタRi4A	(13)	(10)	(9)	(15)	(17)	(13)	(R)	(14)	(11)	0	0
4	W.ブラー	KONDO RACING	トヨタRi4A	(15)	(11)	(R)	(13)	(15)	(15)	(10)	(13)	(13)	0	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず。-は不出場。●\*はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。  
●2レース制は、各レース1~8位まで5-4-3-2.5-2-1.5-1-0.5点。●Rd.7鈴鹿大会に限り、各レースの勝者には別に3点が与えられる。●マシンはSF14、タイヤは横浜ゴムのワンメイク。

# 2017

TEAM

---

DRIVER

## 2017 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	P.MU/CERUMO・INGING	47.5	6	KCMG	16.5
2	TEAM MUGEN	43.5	7	KONDO RACING	12.5
3	VANTELIN TEAM TOM'S	41	8	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	6
4	SUNOCO TEAM LEMANS	34.5	9	REAL RACING	3
5	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	27.5	10	TCS NAKAJIMA RACING	2

●得点は各チームに所属するドライバーのポイント合計。 ●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。  
●チームポイントにはポールポジションの得点は加算されない。

## 2017 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 4/23	Rd.02 岡山 5/28	Rd.03 富士 7/9	Rd.04 もてぎ 8/20	Rd.05 オートポリス 9/10	Rd.06 SUGO 9/24	Rd.07 鈴鹿 10/22	Total	
1	2	石浦 宏明	P.MU / CERUMO・INGING	TOYOTA Ri4A	5	0.5	5*	10	5	3		33.5	
2	15	P.ガスリー	TEAM MUGEN	Honda HR-417E	(10)	(19)	1	4	10	8		33	
3	7	F.ローゼンクワイスト	SUNOCO TEAM LEMANS	TOYOTA Ri4A	(11)	(12)	2.5	8	6	4		28.5	
4	19	関口 雄飛	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	TOYOTA Ri4A	(12)	5*	5	5	(16)	(10)	10	25	
5	37	中嶋 一貴	VANTELIN TEAM TOMS	TOYOTA Ri4A	11*	(9)	(18)	2	(11)	3	6	22	
6	36	A.ロッテラー	VANTELIN TEAM TOMS	TOYOTA Ri4A	4	5	3	6	2	(R)	(10)	1*	21
7	18	小林 可夢偉	KCMG	TOYOTA Ri4A	(9)	2.5	2	(15)	8	2	2	16.5	
8	1	国本 雄資	P.MU / CERUMO・INGING	TOYOTA Ri4A	6	(10)	(9)	1(R)*	(15)	4	5	16	
9	16	山本 尚貴	TEAM MUGEN	Honda HR-417E	8	2	0.5	(R)	(13)	(R)	(18)	10.5	
10	3	N.キャンディ	KONDO RACING	TOYOTA Ri4A	(17)	3	(11)	(R)	4	(R)	1(19)*	8	
11	4	山下 健太	KONDO RACING	TOYOTA Ri4A	(14)	1	1.5	(R)	4*	(13)	(11)	6.5	
12	8	大嶋 和也	SUNOCO TEAM LEMANS	TOYOTA Ri4A	(R)	(15)	(12)	(12)	(10)	6	(15)	6	
13	41	伊沢 拓也	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	Honda HR-417E	1	(14)	(R)	3	(R)	(15)	1	5	
14	20	J.マーデンボロー	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	TOYOTA Ri4A	(18)	1.5	(17)	1	(14)	1	(9)	4.5	
15	10	塚越 広大	REAL RACING	Honda HR-417E	3	(11)	(16)	(9)	(9)	(9)	(16)	3	
16	64	中嶋 大祐	TCS NAKAJIMA RACING	Honda HR-417E	2	(16)	(14)	(11)	(12)	(11)	(17)	2	
17	40	野尻 智紀	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	Honda HR-417E	(16)	(13)	(10)	(10)	1	1(14)*	(12)	2	
50		小暮 卓史	B-Max Racing team	Honda HR-417E	(15)	(18)	(15)	(13)	(17)	(12)	(14)	0	
65		Nカーテケヤン	TCS NAKAJIMA RACING	Honda HR-417E	(13)	(17)	(13)	(14)	(R)	(R)	(13)	0	

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア。●\*はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。  
●2レース制は各レース1~8位まで5-4-3-2.5-2-1.5-1-0.5点。●Rd.7鈴鹿大会に限り、各レースの勝者には別に3点が与えられる。●マシンはSF14、タイヤは横浜ゴムのワンメイク。  
※Rd.7鈴鹿大会は予選のみ実施、決勝は雨の影響で中止。

# 1996-2018 DRIVER & TEAM POINT RANKING

# 2018

TEAM  
DRIVER

## 2018 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	KONDO RACING	47.5	7	UOMO SUNOCO TEAM LEMANS	11
2	JMS P.MU/CERUMO・INGING	35.5	8	TCS NAKAJIMA RACING	8
3	TEAM MUGEN	33	9	carrozzeria Team KCMG	7
4	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	33	10	REAL RACING	6
5	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	18.5		B-Max Racing team	0
6	VANTELIN TEAM TOM'S	15			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイント合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。  
●チームポイントにはポールポジションの得点は加算されない。

## 2018 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 4/22	Rd.02 オートボリス 5/13	Rd.03 SUGO 5/27	Rd.04 富士 7/8	Rd.05 もてぎ 8/19	Rd.06 岡山 9/9	Rd.07 鈴鹿 10/28	Total
1	16	山本 尚貴	TEAM MUGEN	Honda HR-417E	11*		10	1	2	(10)	14*	38
2	3	N.キャンディ	KONDO RACING	TOYOTA RI4A	2		8	11*	6	2	8	37
3	1	石浦 宏明	JMS P.MU/CERUMO・INGING	TOYOTA RI4A	5		(11)	8	11*	1	(11)	25
4	19	関口 雄飛	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	TOYOTA RI4A	8		(13)	3	(16)	6*	1	18
5	20	平川 亮	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	TOYOTA RI4A	(R)	1*	(9)	5	8	3	(R)	17
6	36	中嶋 一貴	VANTELIN TEAM TOM'S	TOYOTA RI4A	1		6	4	-	(17)	4	15
7	5	野尻 智紀	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	Honda HR-417E	6		3*	(14)	1	2.5	(9)	12.5
8	4	山下 健太	KONDO RACING	TOYOTA RI4A	(9)		1	(18)	3	1.5	6	11.5
9	2	国本 雄資	JMS P.MU/CERUMO・INGING	TOYOTA RI4A	(13)		(R)	6	(15)	0.5	5	11.5
10	6	松下 信治	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	Honda HR-417E	(12)		(10)	(9)	5	(9)	2	7
11	18	小林 可夢偉	carrozzeria Team KCMG	TOYOTA RI4A	(10)		3	(12)	-	4	(13)	7
12	8	大嶋 和也	UOMO SUNOCO TEAM LEMANS	TOYOTA RI4A	(15)		(15)	2	4	(16)	(14)	6
13	17	塚越 広大	REAL RACING	Honda HR-417E	3		(12)	(13)	(10)	(12)	3	6
14	7	T.ディルマン	UOMO SUNOCO TEAM LEMANS	TOYOTA RI4A	-		5	(10)	(12)	(R)	(15)	5
15	65	伊沢 拓也	TCS NAKAJIMA RACING	Honda HR-417E	4		(14)	(15)	(14)	(14)	(16)	4
16	64	Nカーテイクヤン	TCS NAKAJIMA RACING	Honda HR-417E	(17)		4	(16)	(11)	(13)	(17)	4
50		千代 勝正	B-Max Racing team	Honda HR-417E	(14)		(R)	(17)	(19)	(15)	(10)	0
15		福住 仁嶺	TEAM MUGEN	Honda HR-417E	(R)	-	-	-	(17)	(18)	(12)	0
37		J.ロシター	VANTELIN TEAM TOM'S	TOYOTA RI4A	(11)		(R)	(19)	(9)	(11)	(R)	0
15		D.ティクトゥム	TEAM MUGEN	Honda HR-417E	-	-	(R)	(11)	-	-	-	0
18		中山 雄一	carrozzeria Team KCMG	TOYOTA RI4A	-	-	-	-	(13)	-	-	0
7		P.フィッティガリディ	UOMO SUNOCO TEAM LEMANS	TOYOTA RI4A	(16)	-	-	-	-	-	-	0
36		J.P.デ・オリベラ	VANTELIN TEAM TOM'S	TOYOTA RI4A	-	-	-	-	(18)	-	-	0
15		阪口 晴南	TEAM MUGEN	Honda HR-417E	-	-	-	-	-	-	-	-

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず。-は不出場。●\*はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。  
●最終戦に限り、レースの勝者には別に3点が与えられる。●マシンはSF14、タイヤは横浜ゴムのワンメイク。  
●Rd.2オートボリスは予選のみ実施。決勝は雨の影響で中止。  
●Rd.6は当初予定されていた周回数75%に達しなかったため、選手権ポイントは半分となった。

# 1996-2018 CHAMPIONS

Formula Nippon  
SUPER FORMULA

## 歴代チャンピオン

[ドライバー／チーム]

1996

ドライバー



ラルフ・シューマッハー (ドイツ)  
X-JAPAN Racing Team LeMans

チーム



X-JAPAN Racing Team LeMans  
ラルフ・シューマッハー / 服部 尚貴

1997

ドライバー



ペドロ・デ・ロサ (スペイン)  
SHIONOGI TEAM NOVA

チーム



SHIONOGI TEAM NOVA  
ペドロ・デ・ロサ / 飯田 章

1998

ドライバー



本山 哲 (日本)  
LEMONed Racing Team LeMans

チーム



LEMONed Racing Team LeMans  
N.フォンタナ / 本山 哲

1999

ドライバー



トム・コロネル (オランダ)  
PIAA NAKAJIMA RACING

チーム



PIAA NAKAJIMA RACING  
トム・コロネル / 光貞 秀徳

2000

ドライバー



高木 虎之介 (日本)  
PIAA NAKAJIMA RACING

チーム



PIAA NAKAJIMA RACING  
高木 虎之介 / 松田 次生

2001

ドライバー



本山 哲 (日本)  
excite TEAM IMPUL

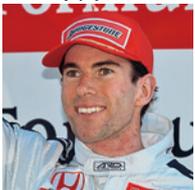
チーム



TEAM 5ZIGEN  
服部 尚貴 / ミハエル・クルム

2002

ドライバー



ラルフ・ファーマン (イギリス)  
PIAA NAKAJIMA RACING

チーム



PIAA NAKAJIMA RACING  
ラルフ・ファーマン / 松田 次生

2003

ドライバー



本山 哲 (日本)  
TEAM IMPUL

チーム



TEAM IMPUL  
本山 哲 / フノワ・トレルイエ

2004

ドライバー



リチャード・ドリアン (イギリス)  
DoCoMo TEAM DANDELION RACING

チーム



mobilecast TEAM IMPUL  
フノワ・トレルイエ / 井出 有治

2005

ドライバー



本山 哲 (日本)  
mobilecast IMPUL/arting IMPUL

チーム



mobilecast IMPUL/arting IMPUL  
フノワ・トレルイエ / 井出 有治 / 本山 哲

2006

ドライバー



フノワ・トレルイエ (フランス)  
mobilecast TEAM IMPUL

チーム



mobilecast TEAM IMPUL  
フノワ・トレルイエ / 松田 次生

2007

ドライバー



松田 次生 (日本)  
mobilecast TEAM IMPUL

チーム



mobilecast TEAM IMPUL  
フノワ・トレルイエ / 松田 次生

Formula Nippon  
SUPER FORMULA

## 歴代チャンピオン

[ドライバー／チーム]

**2008**

ドライバー  
  
松田 次生(日本)  
LAWSON TEAM IMPUL

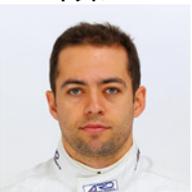
チーム  
  
LAWSON TEAM IMPUL  
松田次生 / フノ・トトレイエ

**2009**

ドライバー  
  
ロイック・デュバル(フランス)  
NAKAJIMA RACING

チーム  
  
NAKAJIMA RACING  
ロイック・デュバル / 小暮 卓史

**2010**

ドライバー  
  
ジョアオパロ・オリベイラ(ブラジル)  
Mobil 1 TEAM IMPUL

チーム  
  
Mobil 1 TEAM IMPUL  
ジャン・パオロ・オリベイラ / 平手晃平

**2011**

ドライバー  
  
アンドレ・ロッターラー(ドイツ)  
PETRONAS TEAM TOM'S

チーム  
  
PETRONAS TEAM TOM'S  
アンドレ・ロッターラー(井口 卓人) / 中嶋 一貴

**2012**

ドライバー  
  
中嶋 一貴(日本)  
PETRONAS TEAM TOM'S

チーム  
  
DOCOMO TEAM DANDELION RACING  
伊沢拓也 / 塚越広大

**2013**

ドライバー  
  
山本 尚貴(日本)  
TEAM MUGEN

チーム  
  
PETRONAS TEAM TOM'S  
中嶋 一貴 / アンドレ・ロッターラー(ジェームス・ロシター)

**2014**

ドライバー  
  
中嶋 一貴(日本)  
PETRONAS TEAM TOM'S

チーム  
  
PETRONAS TEAM TOM'S  
アンドレ・ロッターラー(アンドレア・カルダレッリ) / 中嶋 一貴

**2015**

ドライバー  
  
石浦 宏明(日本)  
P.MU/CERUMO-INGING

チーム  
  
PETRONAS TEAM TOM'S  
中嶋 一貴(大嶋 和也) / アンドレ・ロッターラー

**2016**

ドライバー  
  
国本 雄資(日本)  
P.MU/CERUMO-INGING

チーム  
  
P.MU/CERUMO-INGING  
石浦 宏明 / 国本 雄資

**2017**

ドライバー  
  
石浦 宏明(日本)  
P.MU/CERUMO-INGING

チーム  
  
P.MU/CERUMO-INGING  
国本 雄資 / 石浦 宏明

**2018**

ドライバー  
  
山本 尚貴(日本)  
TEAM MUGEN

チーム  
  
KONDO RACING  
ニック・キャンディ / 山下 健太

# Formula NIPPON 1996-2012 SUPER FORMULA 2013-2018

- ★シリーズ戦のみを対象とし、10～13年のJAF GP 富士スプリントカップの成績は含まない。
- ★FN時代のシリーズ戦の大会数は、96～03年＝各10大会、04～07年＝各9大会、08～09年＝各8大会、10～12年＝各7大会で、全153大会。
- ★SF時代のシリーズ戦の大会数は、各年とも全7大会だが、13年第5戦韓国大会は開催予定時期の約1カ月前に中止となっているため、統計から完全に除外。よって13～18年のSFの総大会数は41。
- ★96～18年の計23シーズンにおけるシリーズ戦の総大会数は194とする。
- ★98年第7戦と17年最終戦（2レース制）、18年第2戦は決勝中止、11年第5戦は予選・決勝とも中止。
- ★08年第5～7戦と10～16年の各最終戦、14年第2戦、16年第5戦、17年第2戦が2レース制で実施されたため、決勝レースの実施総数は203（決勝中止の98年第7戦、17年最終戦＝2レース制、18年第2戦、そして予選・決勝とも中止の11年第5戦は含まず）。決勝出走等の統計に関しては、第1レースを原則として個別同等に扱う。
- ★08年第5～7戦の第2レースのグリッドは、第1レースの決勝結果による上位8台リバーシブルのため、「予選」としては取り扱わない（ポールポジションやポール・トゥ・ウイン、連続ポール等の統計対象とはしない）。10～17年各最終戦と14年第2戦、16年第5戦、17年第2戦の予選に関しては、第1レース、第2レースを個別に統計対象とする。予選の実施総数は204（予選中止の1戦含まず。決勝中止の場合の予選は統計に含む）。
- ★通常予選の実施後にスペシャルステージ（SS：上位、あるいは全車による単独アタック方式）を実施した場合は、SS1位がポールポジション。Q1～Q3ノックアウト方式の場合は、Q3の1位がポールポジションとなるが、10～16年最終戦と14年第2戦ではQ1結果が第1レースの予選結果、Q3まで経た結果が第2レースの予選結果となっているため、それぞれ個別同等にポールポジションとして扱う。17年最終戦も当初は同様の規則で実施される予定だったが、荒天への対応でいくつかの状況を想定した細則を採用しての予選遂行となり、結果的にはQ1のみの実施で、各自のベストタイム＝第1レースの予選順位、セカンドタイム＝第2レースの予選順位となっている（いずれも統計対象）。
- ★16年第5戦と17年第2戦は第1レース（初日）、第2レース（2日目）に対しての予選がそれぞれ当日に実施されたので、これも統計上、個別同等にポールポジションとして扱う（第2レースの予選はQ1～Q2ノックアウト方式）。
- ★03年第5戦と04年第2、4、7戦は2ヒート制の実施（赤旗によるものではなく、あらかじめの2ヒート制）。いずれかのヒートに出走していれば「決勝出走」と判断する。ポールポジション、ポール・トゥ・ウイン等に関しては、予選セッションの1位を統計対象とする（第1ヒート＝実質的な予選レースの1位は統計対象としない）。ファステストラップは、原則として第2ヒート＝実質的な決勝レースを統計対象とする。
- ★06年第1戦、08年第7戦第2レース、16年第2戦はセーフティカー先導走行のみで決勝レースが決着したため、ファステストラップに関しては統計対象としない。なお06年第1戦と16年第2戦に関してはポール・トゥ・ウインの対象とする（08年第7戦第2レースはリバーシブルのため、ポール・トゥ・ウインの対象とはしない）。
- ★決勝失格者のファステストラップの有効性に関しては年代によって記録削除の方法等異なるが、ここでは原則無効とする。
- ★この記録を統計するにあたっては、JAF、JRP、タイヤメーカーの各サイトおよび、オートスポーツ誌、レーシングオン誌等を参考にした。解釈に関しての相違点等がそれぞれにあるため、必ずしもそれらの統計とは数字等が一致しない場合もある。

優勝回数

1	本山 哲	27回
2	A.ロッチャー	24回
3	L.デュバル	12回
4	高木虎之介	11回
	B.トレルイエ	11回
6	J.P.デ・オリベイラ	10回
7	中嶋一貴	9回
8	R.ファーマン	7回
	松田次生	7回
	小暮卓史	7回
11	P.デ・ラ・ロサ	6回
	山本尚貴	6回
13	服部尚貴	5回
	脇阪寿一	5回
	石浦宏明	5回
	関口雄飛	5回
17	R.ライアン	4回
18	R.シューマッハー	3回
	N.フォンタナ	3回
	影山正美	3回
	T.コロネル	3回
	井出有治	3回
	伊沢拓也	3回
24	金石勝智	2回
	影山正彦	2回
	光貞秀俊	2回
	平手晃平	2回
	国本雄資	2回
	S.バンドーン	2回
	P.ガスリー	2回
31	星野一義	1回
	黒澤琢弥	1回
	金石年弘	1回
	R.クインタレッリ	1回
	荒 聖治	1回
	松浦孝亮	1回
	大嶋和也	1回
	塚越広大	1回
	野尻智紀	1回
	N.キャンディ	1回

インバル：本山 哲

ドライバーズチャンピオン獲得回数

1	本山 哲	4回(98、01、03、05年)
2	松田次生	2回(07、08年)
	中嶋一貴	2回(12、14年)
	石浦宏明	2回(15、17年)
	山本尚貴	2回(13、18年)
6	R.シューマッハー	1回(96年)
	P.デ・ラ・ロサ	1回(97年)
	T.コロネル	1回(99年)
	高木虎之介	1回(00年)
	R.ファーマン	1回(02年)
	R.ライアン	1回(04年)
	B.トレルイエ	1回(06年)
	L.デュバル	1回(09年)
	J.P.デ・オリベイラ	1回(10年)
	A.ロッチャー	1回(11年)
	国本雄資	1回(16年)



◀23シーズンで16人の王者が生まれている。日本人7名、外国人9名だが、タイトル総数は日本勢14：来日勢9と日本勢が優位。もちろんこれには、外国人勢にF1参戦等による卒業が多かった影響もあるだろう。最多4度を誇る本山には連覇がなく、07～08年の松田がFN～SFにおける現状唯一の連覇。最年少王者はシューマッハーで、戴冠時21歳4カ月弱。最年長での王座獲得は17年の石浦で、戴冠決定時36歳6カ月。

ナカジマ：小暮卓史



決勝出走回数

1	小暮卓史	126回
2	本山 哲	125回
3	A.ロッチャー	123回
4	松田次生	116回
5	立川祐路	100回

▲決勝出走というのは記録として最も曖昧な部分が多く、統計誤差が生じやすい部門であることをご承知おきいただきたい。赤旗再スタートに不参加の場合、最初のスタートに参加していれば「出走」と判断。また、フォーメーションラップ中や発進前のマシントラブル発生、スピン等による離脱に関しては、正式スタート後にコースインしていない限り「不出走」。それらを基準に可能な範囲の確認をしたなかでの上位5人となる。

インバル：本山 哲



▲40人が優勝者リストに名を刻んでおり、現状は7勝でトップ10という位置づけになっている（なお星野、服部、黒澤、高木については全日本F3000での優勝経験があり、星野に関してはF3000以前のF2等でも優勝経験があるが、それらは統計に含まれていない）。

## ポールポジション獲得回数

1 本山 哲	20回
2 小暮卓史	15回
3 高木虎之介	14回
4 松田次生	13回
5 A.ロッテラー	11回
6 山本尚貴	10回
7 脇阪寿一	9回
J-P.デ・オリベイラ	9回
9 B.トレルイエ	8回
L.デュバル	8回
石浦宏明	8回
12 R.ライアン	7回
13 R.ファーマン	6回
14 土屋武士	5回
中嶋一貴	5回
16 P.デ・ラ・ロサ	4回
T.コロネル	4回
関口雄飛	4回
19 服部尚貴	3回
伊沢拓也	3回
野尻智紀	3回
22 M.クルム	2回
R.シューマッハー	2回
黒澤琢弥	2回
影山正美	2回
道上 龍	2回
井出有治	2回
大嶋和也	2回
塚越広大	2回
A.カルダレリ	2回
N.キャッシュ	2回
32 鈴木利男	1回
星野一義	1回
金石勝智	1回
N.フォンタナ	1回
影山正彦	1回
野田英樹	1回
光貞秀俊	1回
P.ダンブレック	1回
金石年弘	1回
平手晃平	1回
S.バンドーン	1回
国本雄資	1回
山下健太	1回
J.マーデンポロー	1回
平川 亮	1回

インバル：本山 哲



▲46人がFN～SFで予選1位という栄誉に輝いている。統計対象は予選1位という意味でのポールポジションなので、03～04年の一部レース、2ヒート制の場合の第1ヒート1位はカウントされない（予選1位の方をカウント）。決勝中止となった昨年（18年）の第2戦では平川が初ポールを獲得したが、決勝が実施された場合、彼は前戦で受けた3グリッド降格ペナルティにより4番グリッド発進になる予定だった。



インバル：本山 哲

## 決勝ファステストラップ獲得回数

1 本山 哲	20回
2 J-P.デ・オリベイラ	15回
3 脇阪寿一	10回
小暮卓史	10回
A.ロッテラー	10回
6 L.デュバル	9回
7 野田英樹	6回
松田次生	6回
9 R.ライアン	5回
B.トレルイエ	5回
中嶋一貴	5回
石浦宏明	5回

▲上位12人（5回以上）。優勝よりもポールやファステストの数が多く傾向の脇阪、小暮がチャンピオンにはなれず、3部門とも首位だが、なかでも優勝数が最も多い本山は4度王座に就いていることが象徴的ではある。レース後半に追いついて出ることが多い原則のファステストは、優勝数より多くならない方が理想的といえるのだろう。本山の記録傾向は見事な王者型。

## ポール・トゥ・ウイン達成回数

1 本山 哲	10回
2 高木虎之介	8回
3 J-P.デ・オリベイラ	7回
A.ロッテラー	7回
5 小暮卓史	5回
L.デュバル	5回
山本尚貴	5回
8 P.デ・ラ・ロサ	4回
B.トレルイエ	4回
松田次生	4回
石浦宏明	4回
12 R.ファーマン	3回
中嶋一貴	3回
関口雄飛	3回

▲上位14人（3回以上）。レース中の順位変動には関係なく、ポールポジション＝予選1位と優勝を同時に記録した、という解釈になる（第1ヒート＝予選レースの結果は無視）。高木はチャンピオンとなった00年にこれを5回も達成。97年のデ・ラ・ロサ、08年の松田も各4回と圧倒的な強さを誇った。なお、トレルイエ（06年第1戦）と石浦（16年第2戦）には、セーフティカー先導走行のみのレースが含まれる。昨年（18年）初優勝したニック・キャッシュは同年終了時点で通算1勝だが、その1勝がポール・トゥ・ウインかつハットトリック。



インバル：本山 哲



ナカジマ：高木虎之介

## 連続優勝

1 高木虎之介	6連勝（00年第4～9戦）
2 本山 哲	4連勝（02年第10戦～03年第3戦）
3 R.ファーマン	3連勝（01年第9戦～02年第1戦）
松田次生	3連勝（08年第1～3戦）
A.ロッテラー	3連勝（11年第6戦～第7戦第2レース）

▲3連勝以上。本山とファーマンの記録はシーズン跨ぎのもの。あまり連勝はできない接戦のシリーズだけに、ここでも00年の高木のケタ外れの強さが光る。

## 連続ポールポジション

1 松田次生	6回（08年第1～6戦）
2 R.ライアン	4回（04年第2～5戦）
小暮卓史	4回（06年第5～8戦）
4 高木虎之介	3回（96年第4～6戦／00年第5～7戦）
T.コロネル	3回（99年第6～8戦）
本山 哲	3回（01年第2～4戦）
脇阪寿一	3回（01年第6～8戦）
土屋武士	3回（02年第6～8戦）
小暮卓史	3回（07年第7～9戦）

▲予選1位という意味での連続ポール（リバースポールは除外して考える）。3連続以上を記載しているが、該当10例はいずれも同一シーズン内の記録。08年の松田は、あと2戦というところで全戦ポール達成を阻まれた。高木は3回連続を96年と00年に2度マークしている。



インバル：松田次生



インバル：ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ

## PP+WIN+FL＝ハットトリック達成回数

1 J-P.デ・オリベイラ	4回
2 L.デュバル	3回
3 高木虎之介	2回
本山 哲	2回
B.トレルイエ	2回
A.ロッテラー	2回

▲上位6人（複数回記録者）。ポール・トゥ・ウインに加えて決勝ファステストラップも記録した完全勝利である。全体として少ない印象だが、初期のフォーミュラ・ニッポンには決勝ファステストラップ樹立者に高級腕時計が贈呈されていた時期もあったため、上位圏外でもそれを狙いにいったドライバーがいたことも影響しているか？ 1回達成者は10人で、黒澤琢弥、P.デ・ラ・ロサ、影山正美、脇阪寿一、R.ファーマン、小暮卓史、松田次生、石浦宏明、関口雄飛、N.キャッシュ。

## 年少初優勝

1	R.シューマッハー	20歳10月12日(96年第2戦)
2	松田次生	20歳11月3日(00年第3戦)
3	N.フォンタナ	21歳4月6日(96年第3戦)
4	P.ガスリー	21歳6月13日(17年第4戦)
5	平手晃平	22歳3月19日(08年第5戦第2レース)



チームルマン：ラルフ・シューマッハー

▲各自の初優勝のみを対象とした5傑。シューマッハーと松田は実に僅差だった。高木虎之介は95年の全日本F3000でトップフォーミュラ初優勝を果たしており、当時21歳と6カ月弱。実質的にはガスリー、平手より上位になる。なお、日数の端数の数え方は、月毎の誕生日を基点にした決勝日までの日数で、決勝日を含むものとした(冊子「History of Formula NIPPON 1996-2012」の作成時は、決勝日を含まない「完全経過日数」で記載したため、1日ずつの違いが生じる。その後、より一般的な記載法に準じて変更した)。



インバル：星野一義

▼各自の最終優勝のみを対象とした5傑。近年は高齢優勝が目立つ傾向にあり、昨年(18年)は石浦がこの部門で歴代2番目となる記録をマーク、本山の上に出た。星野の偉業には、最大限の敬意を払いたい(日数の端数については「年少初優勝」部門と同じ)。

## 年長最終優勝

1	星野一義	48歳9月27日(96年第1戦)
2	石浦宏明	37歳3月27日(18年第5戦)
3	本山 哲	36歳8月14日(07年第9戦)
4	A.ロッテラー	35歳6月8日(17年第2戦第1レース)
5	J-P.デ・オリベイラ	35歳0月4日(16年第3戦)

## チーム別優勝回数

1	インバル	61回
2	ナカジマ	42回
3	トムス	31回
4	チームルマン	16回
5	ダンディライアン	14回
6	ノバ	10回
7	無限	8回
8	セルモ・インギング	7回
9	スーパーアグリ~ARTA	5回
10	5ZIGEN	4回
11	TEAM22	2回
	KONDO	2回
13	インギング	1回

▲「チーム」という定義付けは実に難しく、エントリー名と実質的なチーム母体が異なる場合をどうするか、などの問題がある。ARTAの一時期の勝利、およびTEAM22の全2勝は、チームルマンがメンテナンスを実行していた時期のものだが、それらはARTA、TEAM22の勝利としてカウントしている。03年の金石年弘(Forum eng, ARTA Team LeMans)の勝利はチームルマンとしてカウント。また、セルモとの合併以前のインギングの勝利は別扱いとした。セルモ・インギングとしては15年が初優勝。インバルは96年から毎年1勝以上を継続していたが、13年に途切れた(17年連続でストップ)。トムスは06年からの参戦でありながらすでに31勝を挙げて歴代3位となっている。



インバルの星野一義監督(左)

## チームタイトル獲得回数

1	インバル	7回(03、04、05、06、07、08、10年)
2	ナカジマ	4回(99、00、02、09年)
	トムス	4回(11、13、14、15年)
4	チームルマン	2回(96、98年)
	セルモ・インギング	2回(16、17年)
6	ノバ	1回(97年)
	5ZIGEN	1回(01年)
	ダンディライアン	1回(12年)
	KONDO	1回(18年)

▲インバルは03~08年に6連覇を達成。23シーズン中、17シーズンがドライバー&チームの2冠達成というかたちになっている。

## チーム別ドライバーズチャンピオン輩出回数

1	インバル	7回(01、03、05、06、07、08、10年)
2	ナカジマ	4回(99、00、02、09年)
3	トムス	3回(11、12、14年)
	セルモ・インギング	3回(15、16、17年)
5	チームルマン	2回(96、98年)
	無限	2回(13年、18年)
7	ノバ	1回(97年)
	ダンディライアン	1回(04年)

◀タイトルが「割れた」のは01年、04年、12年、13年、15年、18年の6シーズン。ダンディライアンは現状各1回のタイトル獲得がそれぞれ別の年だった。

## 肖像権および知的所有権、著作物制作権について

SUPER FORMULA のエンタラントに帰属するすべての者（エンタラント代表、チーム監督、ドライバー、チームスタッフ、レースクイーンほか）はエンタラントの管理下に置かれ、SUPER FORMULA に参加することで発生する肖像権および知的所有権はすべてエンタラントに帰属します。但し、それらを用いて著作物を制作する、又は制作させる権利（著作物制作権）は全てその用途に関わらず全て株式会社日本レースプロモーション（JRP）に帰属します。詳しくは JRP までお問い合わせください。

## SUPER FORMULAのロゴ使用について

SUPER FORMULA のロゴ使用に際しては、『SUPER FORMULA VISUAL IDENTITY Regulation (V.I. 規定)』を参照してください。SUPER FORMULA の各ロゴの使用権利はすべて JRP にあり、許可なくこれを使用することを禁止します。詳しくは JRP にお問い合わせください。

### 会社概要

会社名	株式会社日本レースプロモーション（JAPAN RACE PROMOTION INC.）
設立	1995年
資本金	6000万円
所在地	東京都千代田区九段南 2-3-25 平安堂ビル
電話番号	03-3237-0131
FAX 番号	03-3237-0135
公式サイト	<a href="http://www.superformula.net/">http://www.superformula.net/</a>

主な事業内容：自動車競技会の運営に関する業務、自動車競技会のプロモーション、自動車競技会のスポンサー営業に関する業務、自動車競技会の PR に関する代理業務、自動車競技会／同映像のデータベース制作・管理・販売、モータースポーツに関連する調査、マーケティング業務、報道写真・ビデオ・フィルム等の制作、配信及び販売

### 沿革

1995年	株式会社日本レースプロモーション設立。
1996年	「全日本F3000選手権シリーズ」にかわり、「全日本選手権フォーミュラ・ニッポン」シリーズがスタート。フジテレビ地上波放送がスタート。（～2009年）
1997年	タイヤを株式会社ブリヂストンのワンメイクとする。J SPORTSでレースの生中継放送がスタート。
1998年	株式会社フジテレビジョンが資本参加。
2003年	ワンメイクシャシー“LOLA B351”を導入。
2006年	シャシーを“FN06 (LOLA B06/51)”に変更。 本田技研工業株式会社、トヨタ自動車株式会社がV型8気筒3ℓの専用エンジン供給を開始。 若手育成事業として「Formula Challenge Japan (FCJ)」の運営・プロモートを開始。（～2013年6月）
2009年	シャシーを“FN09 (SWIFT 017.n)”に変更。 エンジンをV型8気筒3.4ℓに変更すると同時に、オーバーテイクシステムを採用。
2010年	BSフジでレースダイジェスト番組の放送スタート。（2015年、「スーパーフォーミュラGo On!」に改名）
2011年	ファミリー層を対象としたプロモーションイベント「Enjoy Kids」を、9月に宮城県名取市、11月に栃木県宇都宮市で開催。 名取市でのイベントは東日本大震災の復興を願って開催。（2012年、「Smile Kids」に改名）
2013年	シリーズ名称を「全日本選手権スーパーフォーミュラ」に変更。（“スーパーフォーミュラ”の名称はファンからの公募）
2014年	ダラーラ社製シャシーを使用した新マシン“SF14”を導入。 パワーユニットをターボ過給・直列4気筒2ℓダイレクトインジェクションエンジンとする。 エンジンの開発・供給は本田技研工業株式会社とトヨタ自動車株式会社が担当。 日立オートモティブシステムズ株式会社、スカパーJSAT株式会社が新たにプロモーションパートナーとなる。
2016年	横浜ゴム株式会社がオフィシャルタイヤサプライヤーとなり、ヨコハマタイヤのワンメイクとなる。 選手権名称を「全日本スーパーフォーミュラ選手権」に改称。 スカパーJSAT株式会社に代わり、ソニー株式会社が新たなプロモーションパートナーとなる。 4月、フジテレビでドライバーがMCを務めるバラエティ番組「超速GO音」の放送がスタート。（～2016年10月）
2017年	4月、BSフジで日曜決勝レースの生中継放送がスタート。